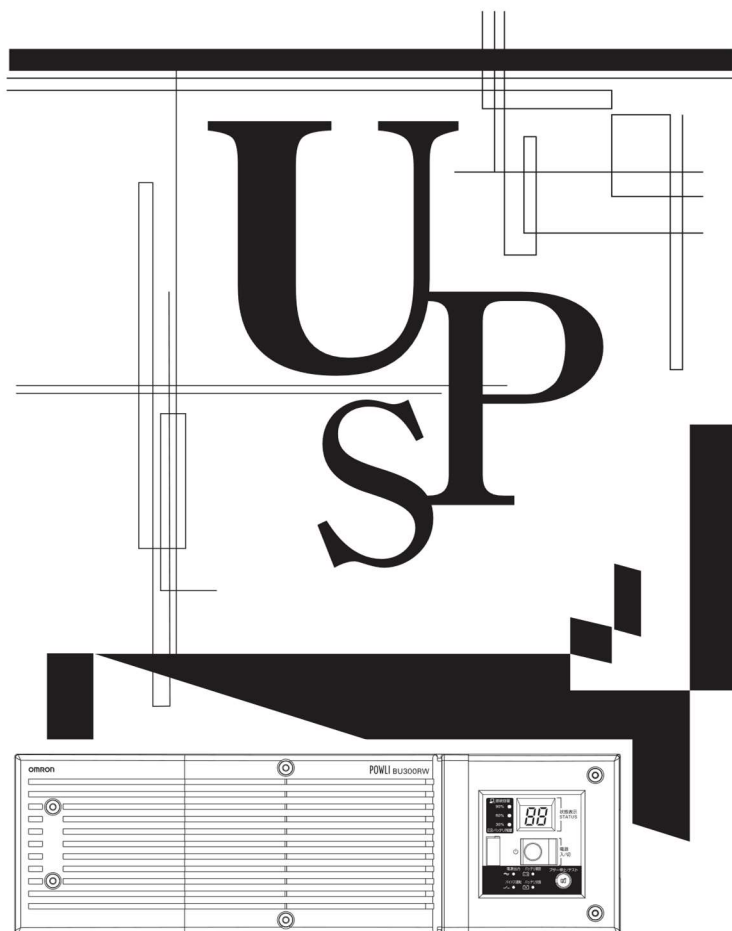


無停電電源装置 (UPS)

BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW

取扱説明書



BU300RW

- 本取扱説明書には本機を安全に使用するための重要なことが書かれていますので、設置や使用する前に必ずお読みください。
- 当社ホームページよりダウンロードした取扱説明書をいつでも読むことができるようお手元に保管しご使用ください。
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 保証書は本製品に同梱されています。

はじめに

このたびはオムロン「無停電電源装置（以下 UPS）」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本取扱説明書は、オムロン UPS を使用する上で、必要な情報を記載しています。
お使いになる前に本取扱説明書をよく読んで、機能・性能などを十分に理解し、使用してください。
また、お読みになった後も本取扱説明書は大切に保管して、いつも手元に置いてお使いください。

対象となる読者の方々

本取扱説明書は、次の方を対象に記述しています。

- ・ 電気の知識（電気工事士あるいは同等の知識）を有し、UPS の導入/運用を担当される方。

本製品の特長

- ・ UPS は停電や電圧変動、瞬時の電圧低下、雷などによるサージ電圧（異常に大きな電圧が瞬間的に発生する現象）からコンピュータなどの機器を保護するための装置です。
- ・ 本機は電源入力が AC100～120V、電源出力が AC100～120V 仕様の UPS です。
- ・ 通常時は商用電源を直流に変換し、安定した正弦波の交流電圧に再変換して出力します。停電、電圧変動など商用電源の異常を検出したときは、バッテリーからの給電に切り替えて、正弦波出力を継続する、常時インバータ給電方式を採用しています。
特に電圧変動が大きいなど、電源環境の悪い場所での使用に適しています。
- ・ 最大出力容量は、BU300RW は 2400VA/1920W、BU200RW は 1100VA/880W、BU100RW は 1000VA/800W、BU75RW は 750VA/600W です。

UPS の用途について

- ・ 本機はコンピュータなどの FA、OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。以下のような、極めて高い信頼性や安全性が要求される用途には使用しないでください。
 - ・ 人命に直接関わる医療用機器。
 - ・ 人身の損傷に至る可能性のある用途。
(航空機、船舶、鉄道などの運行、運転、制御などに直接関連する用途)
 - ・ 車載、船舶など常に振動が加わる可能性がある用途。
 - ・ 故障すると社会的、公共的に重大な損害や影響を与える可能性のある用途。
(主要な電子計算機システム、幹線通信機器、公共の交通システムなど)
 - ・ これらに準ずる機器。
- ・ 人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置などについては、システムの多重化、非常用発電設備など、運用維持、管理について特別な配慮が必要となります。
- ・ 本取扱説明書記載の使用条件・環境などを遵守してください。
UPS が故障または発煙、発火、けがなどの事故に至るおそれがあります。
- ・ 特に信頼性の要求される重要なシステムなどへの使用に際しては、オムロン電子機器カスタマサポートセンターへご相談ください。
- ・ 装置の改造・加工は行わないでください。
- ・ 本機は、日本国内専用品です。
 - ・ 日本国外の電源には対応しておらず、日本国外での使用は故障、火災の原因になることがあります。また、日本国外の法規制には対応しておりません。
 - ・ 日本国外への輸出および日本国外での使用は、お客様の判断と責任の下で行われるものとし、当社は一切の責任を負いません。
 - ・ お客様の判断により本製品を輸出(個人による携行を含む)される場合は、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出されると同法により罰せられます。

免責事項について

取扱説明書に記載の安全上のご注意を含む設置から運転までの手順を守らなかったことによって生じた損害、当社製品に起因する他の装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障その他の二次的な損害、その他の当社製品によって生じた損害(事業利益の損失、事業中断、情報の損失またはその他の金銭的損害を含む)の賠償および補償には応じかねます。

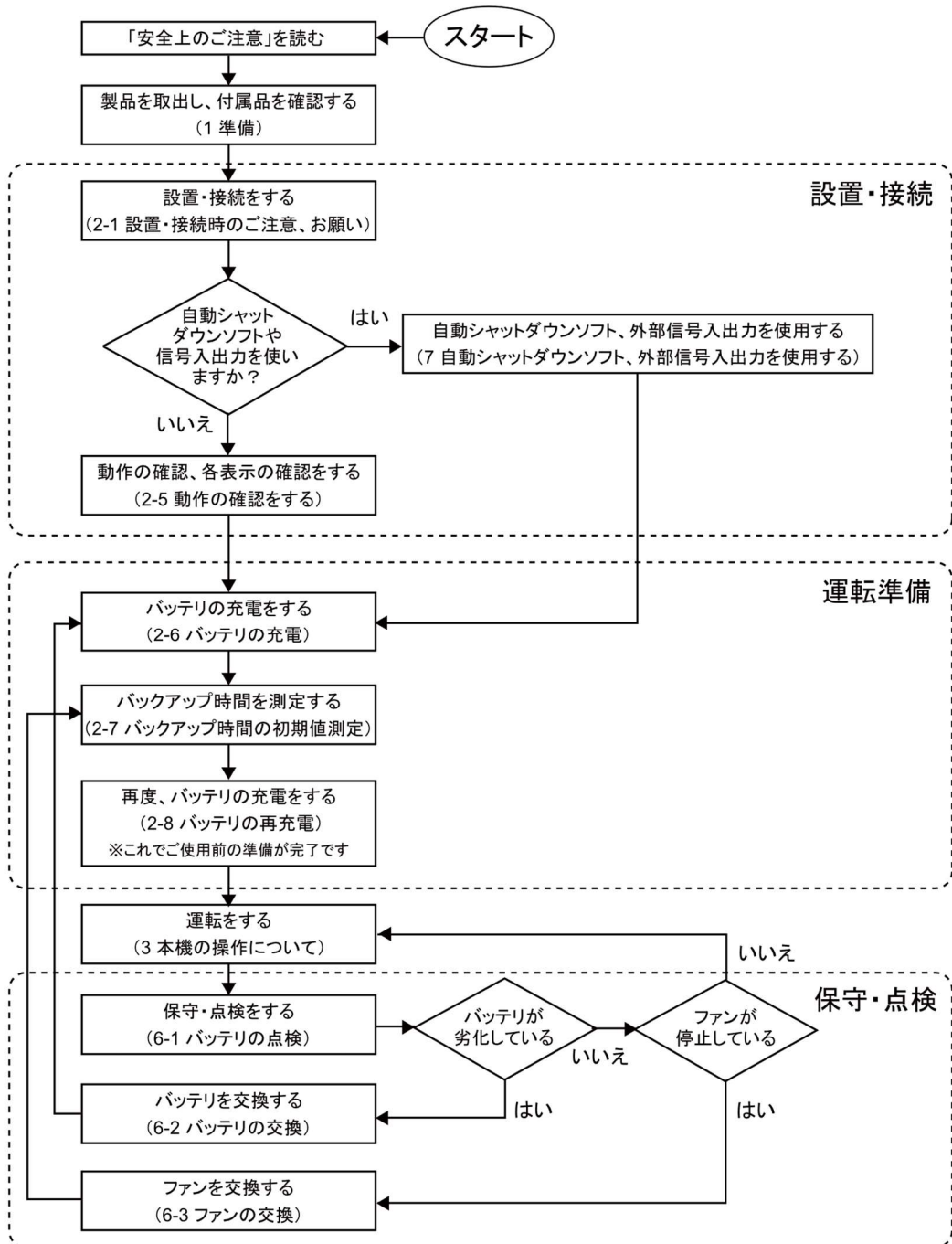
- 最初に安全上のご注意について記載していますので、必ずお読みになり、正しくご使用ください。
- 本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付の上、譲渡してください。
本機は添付書類など記載の条件に従うものとします。

- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、各会社名、各社製品名は各社の商標または登録商標です。

©OMRON SOCIAL SOLUTIONS CO.,LTD. 2008-2021 All Rights Reserved.

設置から運転までの手順

設置から運転までの手順を示しています。



目次



はじめに	2
設置から運転までの手順	5
安全上のご注意	8
1 準備	16
1-1 製品を取り出す	16
1-2 付属品を確認する	17
1-3 各部の名称	18
2 設置・接続をする	20
2-1 設置・接続時のご注意、お願い	20
2-2 設置する	24
2-3 機器の接続方法	30
2-4 AC 入力 of 接続	33
2-5 動作の確認をする	37
2-6 バッテリの充電	39
2-7 バックアップ時間の初期値測定	39
2-8 バッテリの再充電	39
3 本機の操作について	40
3-1 運転時のご注意、お願い	40
3-2 運転・停止方法と基本的な動作	43
3-3 ブザー音・表示の見方	46
4 本機の機能について	49
4-1 ブザー音を一時停止する	49
4-2 自己診断テストの説明	49
4-3 バッテリ自動テストの説明	50
4-4 機能の設定変更	51
5 バックアップ時間を測定する	59
5-1 バックアップ時間の測定方法	59
5-2 バックアップ時間の目安	59
6 保守・点検について	61
6-1 バッテリの点検	61
6-2 バッテリの交換	62
6-3 ファンの交換	70
6-4 本体のお手入れ方法	72
7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する	73
7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合	76
7-2 Windows Server2003/XP/2000 の UPS サービス+UPS サービスドライバによる自動退避処理をする場合	79
7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合	80
7-4 接点信号入出力の詳細	86

8 SNMP/Web カードを使用する	91
8-1 SNMP/Web カードの増設	91
8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Web カード(SC20G2)の概要	92
9 バックアップ時間を延長する	94
9-1 増設用バッテリーユニットの接続	94
10 おかしいな?と思ったら	96
参考資料	98
A. 仕様	98
B. 外形寸法図	99
C. 回路ブロック図	101
D. 関連商品	101





安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

●この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

-  : 禁止(してはいけないこと)を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。
-  : 強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば  はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

本機を、下記のような極めて高い信頼性や安全性が求められる用途に使用しないこと。

※本機は、パソコンなどの FA、OA 機器に使用することを目的に設計・製造されています。

- 人命に直接関わる医療機器やシステム。
- 人身の安全に直接関連する用途。(例:車両などの運行、運転、制御など)
- 故障すると社会的、公共的に重大な損害を与える可能性のある用途。
(例:主要なコンピュータシステム、幹線通信機器など)
- 上記に準ずる用途。



ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

- 本機が故障または発煙、発火のおそれがあります。



アース接続(接地)を確実に実施すること。

- 電源コンセントのプラグの形状を確認の上、本機の「AC入力」プラグをそのまま差し込んでください。
- アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。



分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。





警告

使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。

次のような場所で設置や保管をしないこと。

- a. 温度が-15℃よりも低い／温度が50℃よりも高い場所、湿度が10%RHよりも低い／湿度が90%RHよりも高い場所で保管しないこと。
 - b. 温度が0℃よりも低い／温度が40℃よりも高い場所、湿度が25%RHよりも低い／湿度が85%RHよりも高い場所で使用しないこと。
 - c. 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／塩分、水滴がある場所／極端にほこりの多い場所／導電性のほこりがある場所／直射日光が当たる場所／振動や衝撃が加わる場所／屋外など。
- 発煙、発火のおそれがあります。



ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。

束ねた状態で使用しないこと。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷がある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



吸排気口は塞がないこと。(前面および背面)

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリー劣化の原因となります。
- 壁から5cm以上離して設置してください。



本機には設計上の標準使用期間があるため、計画的に本機を交換し、設計上の標準使用期間を超えて使用しないこと。

- 設計上の標準使用期間を超えてそのまま使用を続けた場合、経年劣化により、正常にバックアップできなくなる、または突然運転を停止するなどの誤動作や故障の原因になります。また、発煙・発火が生じ、火災などの事故に至るおそれがあります。
- 本機の設計上の標準使用期間は、周囲温度が25℃の場合で7年、40℃の場合で5年です。ただし、設計上の標準使用期間は周囲環境(温度、塵埃)によっても異なるため、保証値ではなく目安となります。



本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤作動により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。

- 前面パネルの表示がすべて消えていても出力は継続します。
- 前面の電源スイッチで出力のON/OFF操作はできなくなります。
- 出力を停止したい場合は、商用電源の供給元を停止するか、AC入力プラグを電源コンセントから抜く、またはBU200RW/BU300RWの場合は本体背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。



接続機器の保守を行う場合は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにした状態で行うこと。)

- 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき商用電源を停止しても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。



警告

バッテリー接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。
コネクタの端子間をショートしないこと。

- 感電するおそれがあります。



当社指定の交換バッテリー以外は使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式： BU75RW/BU100RW 交換用バッテリーパック：BUB100R 1個
BU200RW/BU300RW 交換用バッテリーパック：BUB300R 1個



コイル(トランス、電磁石)、モーターなどの誘導性の機器を単体で接続しないこと。

- 本機が故障、または発煙・発火のおそれがあります。



注意(設置・接続時)

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。
設置作業は安定した平らな場所で行うこと。

作業は2人以上で行うこと。

なお、19インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようにご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BU75RW、BU100RW：約20kg、BU200RW、BU300RW：約33kgです。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。
- 落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



本機の「AC入力」は必ず定格入力電圧(AC100V~AC120V)、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



異常(異音・異臭)時は本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。
BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、
背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。)

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



注意(設置・接続時)

BU75RWは10A以上、BU100RWは12A以上、BU200RWは24A以上、BU300RWは35A以上の電流容量のある商用電源に接続すること。

- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大でBU75RWは10A、BU100RWは12A、BU200RWは24A、BU300RWは35Aの入力電流が流れます。



BU200RWで出荷時接続されている15A用プラグ(NEMA5-15P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約1100VA/880Wまでです。

- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が15A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は20Aプラグもしくは30Aプラグに交換するか、24A以上の配電盤へ接続してください。



BU300RWで出荷時接続されている30A用プラグ(NEMA L5-30P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約2400VA/1920Wまでです。

- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が30A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は35A以上の配電盤へ接続してください。



BU200RW、BU300RWで入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。AC入力端子と線の色を間違えないこと。商用電源に接続されている状態で、本線のAC入力端子の接続作業を行わないこと。

- 感電、漏電の危険があります。



指定外の方向で設置しないこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。
- 縦置き時は同梱の縦置きスタンドを使用してください。



本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロードを検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。



変圧トランス、絶縁トランスなどを単体で出力側に接続しないこと。

- 過電流により本機が故障または動作異常となることがあります。
- 入力側に接続する場合には問題ありません。



ラックに設置する場合は、ラックの最下段に本製品を設置すること。

- 落下するとけがをすることがあります。



取り付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。



⚠ 注意(設置・接続時)

最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化します。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



⚠ 注意(使用時)

濡らしたり、水をかけないこと。

落下した場合は使用を中止すること。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合、落下した場合はすぐに本機の使用を中止し、AC入力プラグを電源コンセントから抜くか、BU200RW/BU300RWの場合は、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにして、点検、修理を依頼してください。
- 修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると液もれにより火災、感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
20℃	4～5年
30℃	2～2.5年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。



「AC入力」プラグ、入力端子台および電源出力コンセントのほこりは、ときどき乾いた布でふき取ること。

- 長期間ほこりが付着したままにしておくこと火災の原因となることがあります。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。



変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。)

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センターに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は異常発生時にすぐに「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜ける状態またはBU200RW/BU300RWの場合は背面の入力電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにできる状態にしておいてください。



内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



上に25kg以上のものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。



⚠ 注意(保守時)

本機やバッテリーを火の中に投棄しないこと。

- バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



⚠ 注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどのおそれがあります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。



バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどのおそれがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

購入されましたら、早目に充電(8時間以上)してください。

- ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- BU75RW/BU100RWの場合:本機「AC入力」プラグを商用電源に接続、
BU200RW/BU300RWの場合:本機「AC入力」プラグを商用電源に接続し背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーを充電できます。
- 増設バッテリーを接続している場合は24時間以上充電を行ってください。

本機を保管される場合は8時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

保管温度25℃以下の場合6か月以内、保管温度40℃以下の場合2か月以内に再充電してください。

- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は25℃以下の環境を推奨します。
- 増設バッテリーを保管する場合は24時間以上充電してから保管してください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

バックアップ運転中に本機の「AC入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- 商用運転時に、接続容量オーバーを頻繁に繰り返し、入力電源をそのまま出力する状態(バイパス運転)となる可能性があります。
- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を自家発電装置などの電源周波数が大きく変動する機器と組合せて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 本機は入力電源が供給された時に入力電源周波数を自動認識しています。入力電源周波数が規定値でない状態で本機を接続すると、電源周波数の誤認識を起こし正常に動作しない場合があります。(本機が起動している状態で商用電源から発電装置などの電源に切り替わる場合には、問題ありません。ただし、発電機の周波数は商用電源と一致させてください。)

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験・絶縁抵抗試験をするときには、背面の「入力サージ保護GND」のねじをはずして実施すること。

使用中は必ず「入力サージ保護GND」のねじを取り付けてしっかり締めること。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、アース線を接続したまま耐電圧試験をされると吸収素子が破壊されます。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

本機を第三者に譲渡・売却する場合は、本機に添付されている書類などすべてのものを本機に添付のうえ譲渡してください。

本機は添付書類など記載の条件に従うものとさせていただきます。

- 本説明書には、安全に関わる内容などが記載されています。内容をご確認の上、ご使用ください。また、本説明書を紛失された場合は、販売店までご連絡ください。

お願い

同梱されているすべての付属品は、本機を使用する場合に限り使用できるものです。他の機器には使用しないでください。

- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

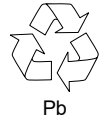
- 本機は「電源」スイッチ投入時および機器に異常が発生した場合は、バイパス運転を行い、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 本機は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

この製品には、鉛バッテリーを使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



解説

日常の運用方法について

- 本機の「電源」スイッチは 入れたまま（運転状態）でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用を行ってください。長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。
- BU75RW/BU100RWの場合：本機「AC入力」プラグを商用電源に接続、BU200RW/BU300RWの場合：本機「AC入力」プラグを接続し背面の入力電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーを充電できます。

バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了（データをセーブするなどの処置）するようにしてください。

再起動について

- 停電中にバッテリーが放電してしまうと、出力を停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、出力を開始します。接続機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

【参照】設定スイッチ②で自動再起動させる／させないの選択ができます。
→「4-4-1. 設定スイッチによる機能選択」

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時に、ブレーカーなどを使用し商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。またこの期間はバッテリーが寿命になると約半分になります。3か月を超えた場合、商用電源を供給し、「運転」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが寿命となった場合、運転を開始できないことがあります。この場合は、「6-2 バッテリーの交換」に従い、バッテリー交換を行ってください。

1 準備

1-1 製品を取り出す

1 準備

1-1 製品を取り出す

注意(設置・接続時)

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

設置作業は安定した平らな場所で行うこと。

作業は2人以上で行うこと。

なお、19インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BU75RW、BU100RW:約20kg、BU200RW、BU300RW:約33kgです。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。
落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



梱包箱をあけ、本機と付属品を取り出してください。

1-2 付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

付属品名称	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
使用上の注意事項(日本語、英語)	各 1 枚			
保証書	1 枚			
ご愛用者登録はがき	1 枚			
動作状態の見方ラベル	1 枚			
リモート ON/OFF 専用コネクタ	1 個			
縦置きスタンド	2 個 1 組			
EIA/JIS19インチラック対応 サポートアングル	1 セット			
オムロン連絡先シール	1 枚			
バッテリー交換日シール	1 枚			
操作パネル英文版ラベル	1 枚			
横置きゴム足(14.5mm 厚)	4 個 1 組			
縦置きゴム足(1.7mm 厚)	6 個 1 組			
3P-2P 変換アダプタ	1 個			—
端子台カバー(ケーブルクランプ付き)	—	1 個		
接続ケーブル(RS-232C)	1 本			
接続ケーブル(USB)	1 本			
自動シャットダウンソフト PowerAct Pro ご利用にあたって	1 枚			
QRコード対応 Web サイトのご案内/付 属品(紙媒体)の変更について	1 枚			



※1 本機を UL 規格適合品としてご使用される場合は、3P-2P 変換アダプタは使用しないでください。

1 準備

1-3 各部の名称

1-3 各部の名称

本機の各部の名称を説明します。

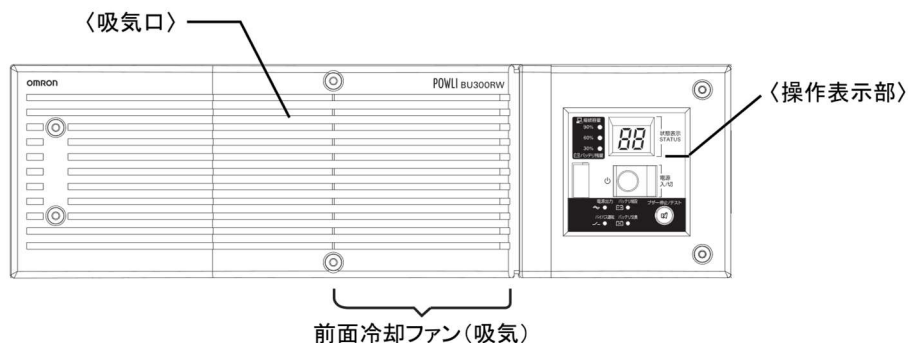
各部の機能については、「2 設置・接続をする」、「3 本機の操作について」などで詳しく説明していますので、あわせてご覧ください。

●前面

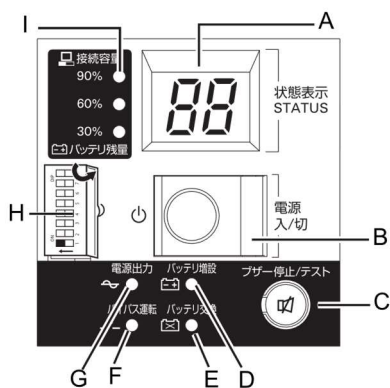
< BU75RW/BU100RW >



< BU200RW/BU300RW >



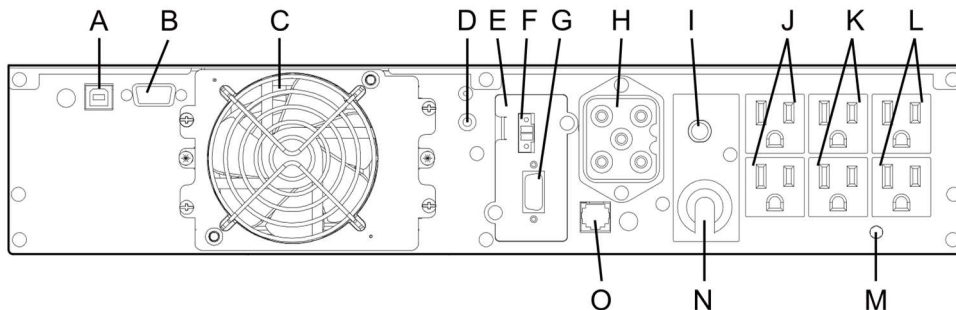
< 操作部拡大 >



- A. 「状態表示」デジタル表示器
- B. 「電源」スイッチ
- C. 「ブザー停止 / テスト」スイッチ
- D. 「バッテリー増設」ランプ
- E. 「バッテリー交換」ランプ
- F. 「バイパス運転」ランプ
(入力電源をそのまま出力している状態)
- G. 「電源出力」ランプ
- H. 「設定」スイッチカバー / 「設定」スイッチ
- I. 「接続容量 / バッテリー残量」レベルメーター

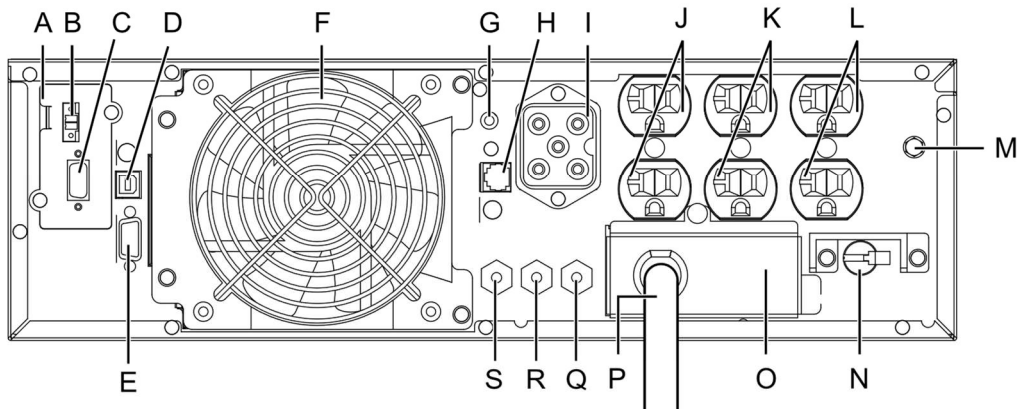
● 背面

< BU75RW/BU100RW >



- | | | | |
|----|--------------------|----|---|
| A. | USB コネクタ | I. | AC 入力過電流保護スイッチ
「INPUT PROTECTION」15A |
| B. | RS-232C コネクタ | J. | 電源出力コンセント A |
| C. | 冷却ファン | K. | 電源出力コンセント B |
| D. | 入力サージ保護 GND | L. | 電源出力コンセント C |
| E. | 接点信号入出力カード | M. | 接地端子 |
| F. | リモート ON/OFF 専用コネクタ | N. | AC 入力ケーブル |
| G. | 接点信号入出力コネクタ | O. | バッテリー増設信号コネクタ |
| H. | バッテリー増設コネクタ | | |

< BU200RW/BU300RW >



- | | | | |
|----|--------------------|----|---|
| A. | 接点信号入出力カード | K. | 電源出力コンセント B |
| B. | リモート ON/OFF 専用コネクタ | L. | 電源出力コンセント C |
| C. | 接点信号入出力コネクタ | M. | 接地端子 |
| D. | USB コネクタ | N. | AC 入力過電流保護スイッチ
「INPUT PROTECTION」45A |
| E. | RS-232C コネクタ | O. | 端子カバー |
| F. | 背面冷却ファン(排気) | P. | AC 入力ケーブル |
| G. | 入力サージ保護 GND | Q. | 電源出力コンセント C 過電流ブレーカ(20A) |
| H. | バッテリー増設信号コネクタ | R. | 電源出力コンセント B 過電流ブレーカ(20A) |
| I. | バッテリー増設コネクタ | S. | 電源出力コンセント A 過電流ブレーカ(20A) |
| J. | 電源出力コンセント A | | |

2 設置・接続をする

2-1 設置・接続時のご注意、お願い

2 設置・接続をする

2-1 設置・接続時のご注意、お願い

以下に安全上のご注意を記載しています。必ずお読み頂き正しく使用してください。



警告

ドライヤー、一部の電磁弁など、交流電源の半サイクルのみで電流が流れる半波整流機器を接続しないこと。

- 本機が故障または発煙、発火のおそれがあります。



アース接続(接地)を確実に実施すること。

- 電源コンセントのプラグ形状を確認の上、本機の「AC 入力」プラグをそのまま差し込んでください。
アース接続を実施しないと、故障や漏電があった場合に感電することがあります。



分解、修理、改造をしないこと。

- 感電したり、火災を起こすおそれがあります。



使用保管環境は仕様範囲を超えないこと。

次のような場所で設置や保管をしないこと。

- a. 温度が -15°C よりも低い／温度が 50°C よりも高い場所、湿度が $10\% \text{RH}$ よりも低い／湿度が $90\% \text{RH}$ よりも高い場所で保管しないこと。
- b. 温度が 0°C よりも低い／温度が 40°C よりも高い場所、湿度が $25\% \text{RH}$ よりも低い／湿度が $85\% \text{RH}$ よりも高い場所で使用しないこと。
- c. 隙間のないキャビネットなど密閉した場所／可燃性ガスや腐食性ガスがある場所／塩分、水滴がある場所／極端にほこりの多い場所／導電性のほこりがある場所／直射日光が当たる場所／振動や衝撃が加わる場所／屋外など。

- 発煙、発火のおそれがあります。



ケーブルをはさんだり、無理に折り曲げて使用しないこと。

束ねた状態で使用しないこと。

- ケーブルの損傷や発熱により、感電したり、火災を起こす危険があります。
- ケーブルに傷がある場合はすぐに本機の使用を中止し、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センタへご相談ください。



吸排気口は塞がないこと。(前面および背面)

- 内部温度が上昇し、本機の故障、バッテリーの劣化の原因となります。
- 壁から 5cm 以上離して設置してください。



コイル(トランス、電磁石)、モーターなどの誘導性の機器を単体で接続しないこと。

- 本機が故障、または発煙・発火のおそれがあります。



**注意(設置・接続時)**

重量・バランスに注意して運搬し、安定のよい頑丈な場所に置いて使用すること。

設置作業は安定した平らな場所で行うこと。

作業は2人以上で行うこと。

なお、19インチラックなどに組み込んだ状態での運搬はしないこと。

- 製品の重心が偏っています。取り出し時、運搬時に落下させないようにご注意ください。
- 重量物のため2人以上で運搬してください。
- 転倒させたり落下させると、けがをすることがあります。
- サポートアングルなどが曲がって使用できなくなることがあります。
- 本機の質量は、BU75RW、BU100RW:約20kg、BU200RW、BU300RW:約33kgです。
- 設置面と本機の底面での指はさみに注意してください。
- 移動する際はバッテリーを外してから移動してください。



落下させた場合はすぐに本機の使用を中止し、点検、修理を依頼してください。

修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。

梱包のポリ袋は幼児の手の届かない場所に移すこと。

- 小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。



本機の「AC入力」は必ず定格入力電圧(AC100~120V)、周波数50/60Hzの商用電源に接続すること。

- 電圧、周波数の違う商用電源に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



異常(異音・異臭)の際は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

**BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。
BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、
背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。
「AC入力」プラグは電源コンセントからすぐに抜ける状態で設置すること。**

- 接続機器の保守時なども、安全のため上記に準じて実施してください。



**BU75RWは10A以上、BU100RWは12A以上、BU200RWは24A以上、
BU300RWは35Aの電流容量のある商用電源に接続すること。**

- 電源配線が発熱することがあります。
- 出力容量最大限の機器を接続した場合、最大でBU75RWは10A、BU100RWは12A、BU200RWは24A、BU300RWは35Aの入力電流が流れます。



BU200RWで出荷時接続されている15A用プラグ(NEMA5-15P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約1100VA/880Wまでです。

- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が15A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は20Aプラグもしくは30Aプラグに交換するか、24A以上の配電盤へ接続してください。



2 設置・接続をする

2-1 設置・接続時のご注意、お願い

注意(設置・接続時)

BU300RW で出荷時接続されている 30A 用プラグ(NEMA L5-30P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約 2400VA/1920W までです。

- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が 30A 以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- 「オーバーロード」の表示が出る場合は 35A 以上の配電盤へ接続してください。



指定外の方向で設置しないこと。

- 転倒や落下するとけがをすることがあります。
- 指定方向以外で設置されると、バッテリーが液漏れしたときの保護ができません。



本機の出力容量を超える機器を接続しないこと。
テーブルタップなどで接続機器の増設を行えますが、この場合はテーブルタップなどの電流容量を超える機器を接続しないこと。

- 本機がオーバーロードを検出し、出力を停止します。
- テーブルタップの配線が発熱し、火災を起こすことがあります。



変圧トランス、絶縁トランスなどを単体で出力側に接続しないこと。

- 過電流により本機が故障することがあります。
- 入力側に接続する場合には問題ありません。



ラックに設置する場合は、ラックの最下段に本機を設置すること。

- 落下するとけがをすることがあります。



取り付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- ケース取り付けに付属品以外の長いねじを使用すると、内部を損傷することがあります。
- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。



最高気温が 40℃を超える場所で使用しないこと。

- バッテリーが急速に劣化し、火災などを起こすことがあります。
- 本機が故障したり、誤動作を起こすことがあります。



フロントパネルの側面に手を掛けて持ち上げないこと。

- パネルがはずれて落下するとけがなどの危険があります。



発火の危険性を減らすために。

- NEC(National Electric Code)、ANSI/NFPA70 および Canadian Electric Code、Part I、C22.1 に適合した電源システムに接続してください。



お願い

寒い場所から暖かい所へ移動された直後は、数時間放置してから使用開始してください。

- 急に暖かい所へ移動すると水分が付着し(結露)、そのまま通電すると故障することがあります。

お願い

購入されましたら、早目に充電(8時間以上)してください。

- ご購入後長期間使用しないでいると、バッテリーの特性が劣化し、使用できなくなることがあります。
- BU75RW/BU100RWの場合:本機「AC入力」プラグを商用電源に接続、
BU200RW/BU300RWの場合:本機「AC入力」プラグを接続し、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーを充電できます。
- 増設バッテリーを接続している場合は24時間以上充電を行ってください。

本機を保管される場合は8時間以上充電し、「電源」スイッチを切ってください。

保管温度25℃以下の場合6か月以内、保管温度40℃以下の場合2か月以内に再充電してください。

- バッテリーは使用しない場合でも自己放電し、長期間放置しますと過放電状態となります。
バックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- 長期間保管される場合は25℃以下の環境を推奨します。
- 増設バッテリーを保管する場合は24時間以上充電してから保管してください。

本機の出カライン間のショート(短絡)、および出カラインをアースにショート(地絡)しないように注意してください。

バックアップ運転中に本機の「AC入力」プラグを本機の「電源出力」コンセントに差し込まないでください。

- 本機が故障することがあります。

ページプリンタ(レーザプリンタなど)を本機に接続しないでください。

- 商用運転時に、接続容量オーバーを頻繁に繰り返し、入力電源をそのまま出力する状態(バイパス運転)となる可能性があります。
- ページプリンタはピーク時の電流が大きく、接続容量オーバーを検知することがあります。

本機を自家発電装置などの電源周波数が大きく変動する機器と組合せて使用する場合は、必ず事前に動作確認を行ってからご使用ください。

- 本機は入力電源が供給された時に入力電源周波数を自動認識しています。入力電源周波数が規定値でない状態で本機を接続すると、電源周波数の誤認識を起こし正常に動作しない場合があります。(本機が起動している状態で商用電源から発電装置などの電源に切り替わる場合には、問題ありません。ただし、発電機の周波数は商用電源と一致させてください。)

本機を直射日光の当たる場所に設置あるいは保管しないでください。

- 温度上昇により内蔵バッテリーが急速に劣化し、使用できなくなることがあります。

耐電圧試験・絶縁試験をするときは、背面の「入力サージ保護 GND」のねじをはずして実施すること。

使用中は必ず「入力サージ保護 GND」のねじを取り付けてしっかり締めること。

- 電源入力線にサージ吸収素子が入っており、アース線を接続したまま耐電圧試験をされると吸収素子が破壊されます。

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

同梱されているすべての付属品は、他の機器には使用しないこと。

- 本機を使用する場合に限り使用できるものです。
- 機器を安全にご使用いただくために必ずお守りください。

商用電源にて使用できない機器は接続しないこと。

- 本機は「電源」スイッチ投入時および機器に異常が発生した時は、バイパス運転を行い、商用電源がそのまま接続機器に供給されます。

2 設置・接続をする

2-2 設置する

2-2 設置する

本製品は以下の設置方法が可能です。ご使用になる環境に応じて選択してください。

2-2-1.ラックマウント設置

2-2-2.据置き設置

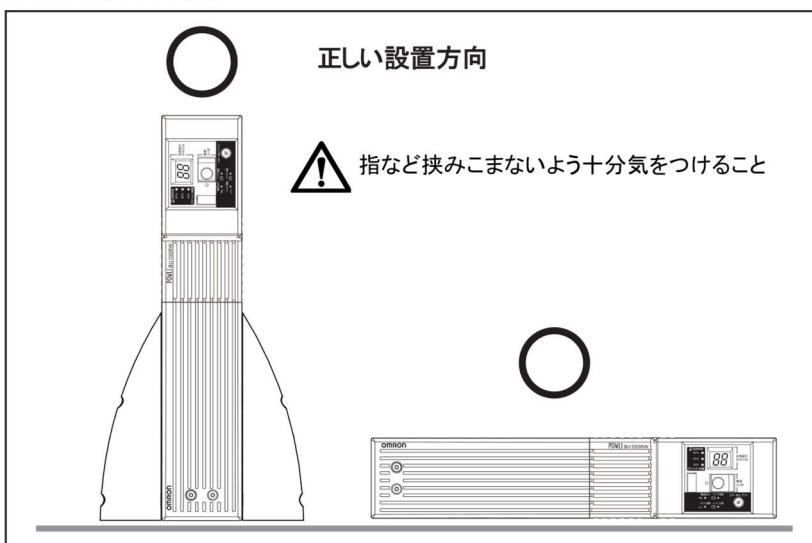
- ・横置き
- ・縦置き設置

下図で指定した正しい設置方向以外では使用しないでください。

お願い

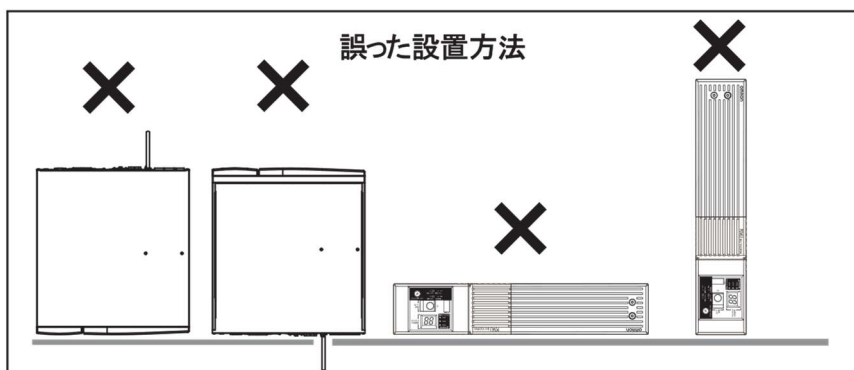
本機を設置する前に、本機の製品シリアル番号を控えておいてください。
当社へお問い合わせいただく際、製品シリアル番号が必要となります。
製品番号(S/N)は背面左下に記載しています。

●BU75RW/BU100RW

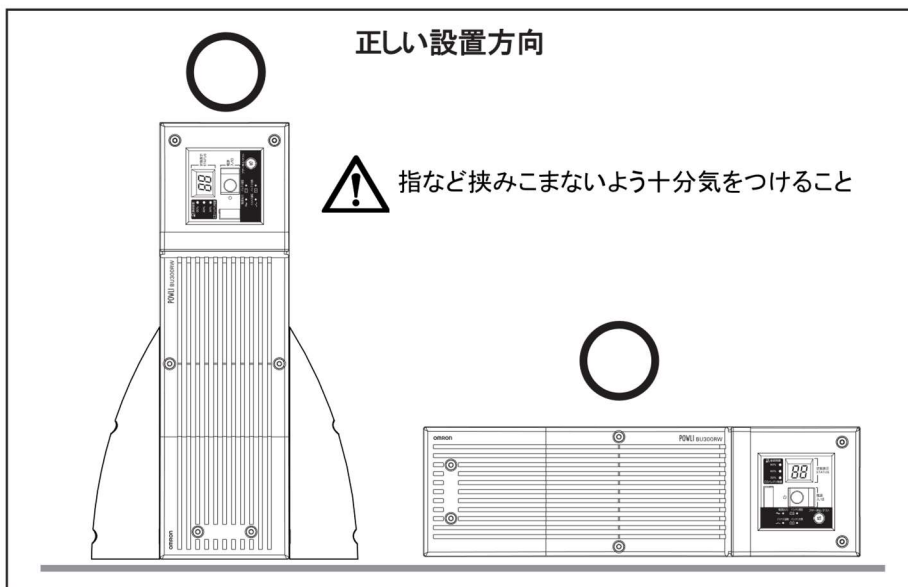


⚠ 注意

増設バッテリーユニット(BUM100R)を接続するときは、本機BU75RW/BU100RWの下になるように設置してください。

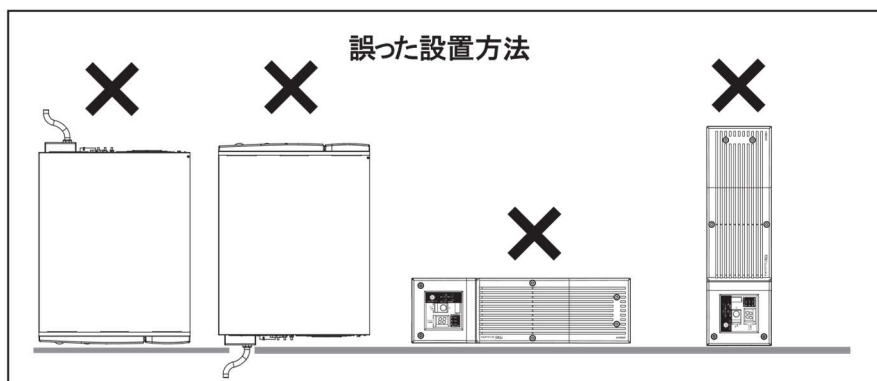


● BU200RW/BU300RW



⚠ 注意

増設バッテリーユニット(BUM300R)を接続するときは、本機 BU200RW/BU300RW の下になるように設置してください。



2 設置・接続をする

2-2 設置する

2-2-1 ラックマウント設置(EIA/JIS19インチラック・サーバラック)

⚠ 注意

ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具の両方を使用し、支持・固定すること

バッテリーユニット接続／増設時は必ずバッテリーユニットを本体ユニットよりも下に設置すること。

- ユニットごとに個別にサポートアングルで支持してください。
- ラックへの設置は必ず付属のサポートアングルと取付金具を使用してください。サポートアングルなしで前面金具だけでは重量を支えることができません。
- 本機の質量： BU75RW/BU100RW:約 20kg BUM100R:約 26kg
BU200RW/BU300RW:約 33kg BUM300R:約 42kg



ラックに設置する場合はラックの最下段に本製品を設定すること。

- 落下するとけがをすることがあります。



取付けねじは必ず付属のものを使用すること。

- 付属品以外のねじを使用すると強度不足により、落下事故などの原因になるおそれがあります。

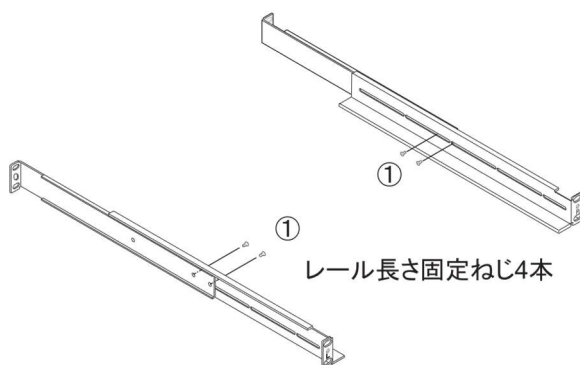


●19 インチラックサポートアングル取付金具セットの梱包内容

ラックレール(前)L	1	
ラックレール(前)R	1	
ラックレール(後)	2	
耳金具	2	
レール長さ固定ねじ(小)	4	🔩
耳金具取付け皿ねじ(M4)	8	🔩
ラック固定ねじ(M5)	8	🔩
ラック固定ナット(M5)	8	🔩
本体固定ねじ(M6)	2	🔩
本体固定ナット(M6)	2	🔩

●BU75RW/BU100RW/BU200RW/BU300RW のラック取付け方法

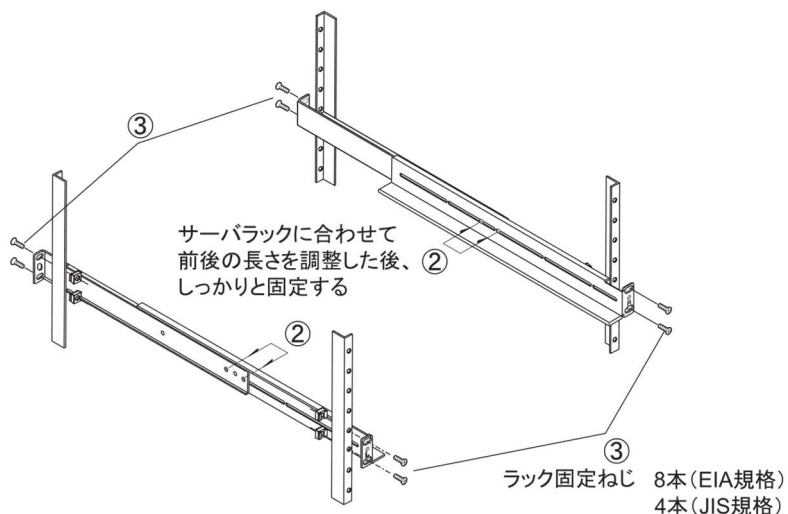
- (1) ラックレール(前)とラックレール(後)を付属のレール長さ固定ねじ4本で仮止めします。①
ラックレール(前)は、左(L)右(R)の2種類あります。
ラックレール(後)は、1種類です。



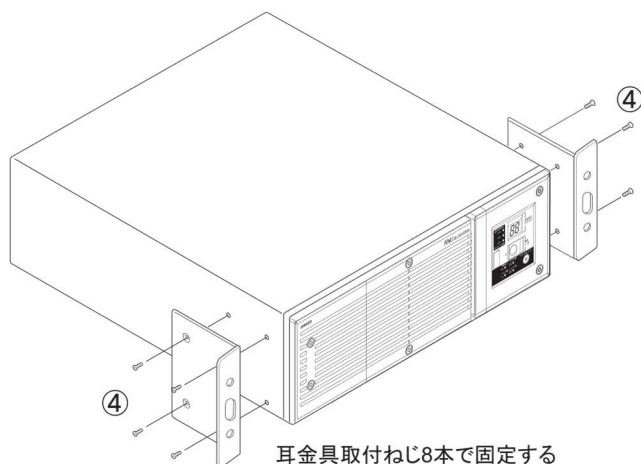
2 設置・接続をする

2-2 設置する

- (2) ご使用のサーバラックに合わせてサポートアングルの長さを調整し、(1)で仮止めしたねじをしっかりと固定します。②
- (3) EIA規格に準拠した設置をする場合は、サポートアングルの前面(LもしくはRと表示)、および背面を付属のラック固定ナット(M5)8個と固定ねじ(M5)8本でサーバラックにしっかりと固定します。③
JIS規格の場合では、左右のサポートアングルの前後各1か所(真ん中のねじ穴)を、計4セットのねじとナットで固定してください。③



- (4) 耳金具を本機の左右側面に付属の耳金具取付ねじ 8本(4本×2)でしっかりと固定します。④

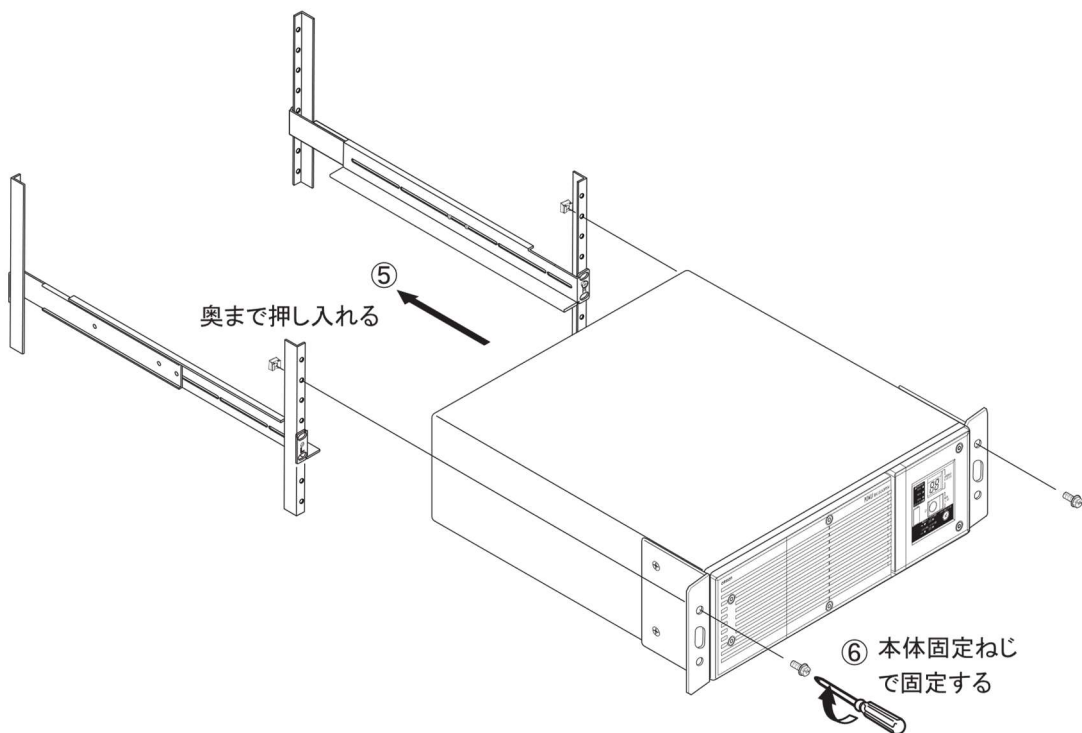


特殊仕様の EIA/JIS ラックには、サポートアングルを取り付けることができません。

2 設置・接続をする

2-2 設置する

- (5) 本機をサポートアングルに乗せて奥までしっかり押し入れ⑤、耳金具を付属の本体固定ねじ2本でサーバーラックにしっかり固定します。⑥
JIS規格ラックにて耳金具とラックのねじ穴の位置が合わない場合は、耳金具真ん中の長穴とラックのねじ穴を使用して、左右各1か所ずつで固定してください。



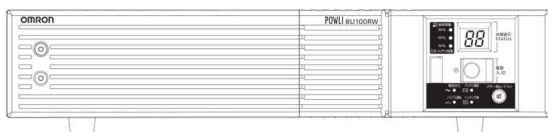
⚠ 必ず支持金具(サポートアングル)を使用してください。

2-2-2 据置き設置

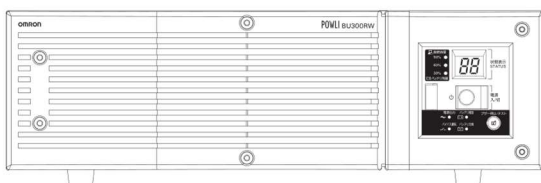
下図以外の設置は行わないでください。

●横置き

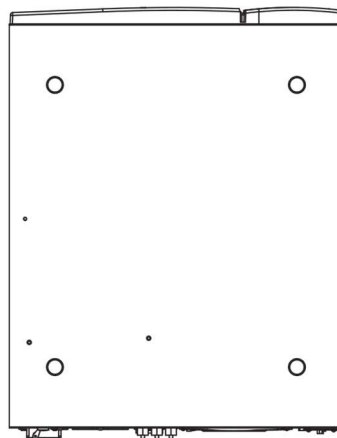
付属の横置きゴム足(高さ 14.5mm)を底面の丸シールの上(4 か所)に貼って横置きにしてください。
横置きで据置きされる場合は、スベリ、落下などのないようご注意ください。



BU75RW/BU100RW



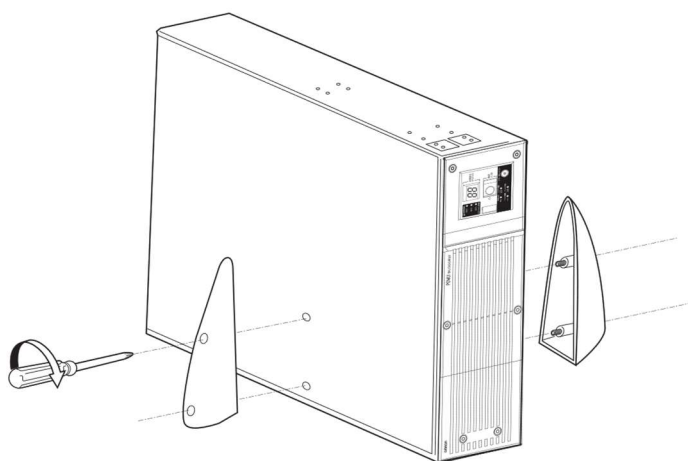
BU200RW/BU300RW



●縦置き

製品付属のスタンドを使用してください。

縦置きゴム足(高さ 1.7mm)6 個を本機の底面 4 か所(下図)とスタンドの底面に 1 個ずつ貼り付けてください。



BU200RW/BU300RW

2 設置・接続をする

2-3 機器の接続方法

2-3 機器の接続方法

⚠ 注意(設置・接続時)

定格電圧が AC100V~120V 以外の機器を接続しないこと。

- 本機の定格出力電圧はAC100V,AC110V,AC115V,AC120Vの4種類です。
- 過電圧により、接続機器が故障することがあります。

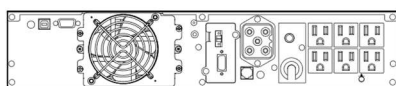


BU200RW、BU300RW は商用電源に接続する前に入力端子台のカバーを必ず取り付けること。また、外した状態で使用しないこと。

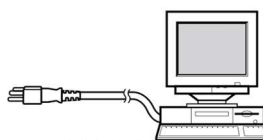
- 商用電源に接続すると入力端子台に電圧が印加され、感電することがあります。



BU75RW/BU100RW

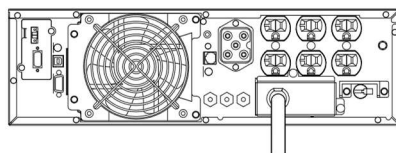


パソコン

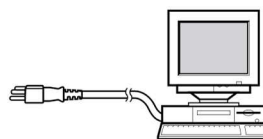


電源出力
コンセントへ

BU200RW/BU300RW



パソコン



電源出力
コンセントへ

●「電源出力」のグループ別制御

シャットダウンソフトの使用により本機能をご利用いただけます。

本機の出カコンセントは A、B、C の 3 グループに分かれています。

- 「電源出力」グループ B と C は、「電源出力」グループ A に対してそれぞれ独立して出力開始の時間を遅延、出力停止の時間を早くすることができます。
- 出力開始、停止の時間制御機能は、自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」、 「UPS Power Manager」および「SNMP/Web カード」使用時に利用できます。
- 本機の運転中、シャットダウンソフトから出力の ON/OFF 制御ができます。
- 「電源出力」グループ B と「電源出力」グループ C はそれぞれ独立して上記の遅延設定、ON/OFF 制御可能です。


この機能を利用すれば、サーバ、周辺機器などの起動の順序を設定できます。

また、リモートで強制的に出力コンセントの ON/OFF 制御ができます。



2-3-1 「電源出力」への機器の接続(BU75RW/BU100RW)

(1)バックアップが必要な機器(パソコン、サーバ、周辺機器など)を本機背面「電源出力」コンセントに接続します。

! 出力コンセントに接続される機器の合計の容量値が BU75RW/BU100RW の定格出力容量を超えないようにしてください。オーバーロード表示()が出る場合は接続機器を減らしてください。

BU75RW(定格出力容量最大 750VA/600W)

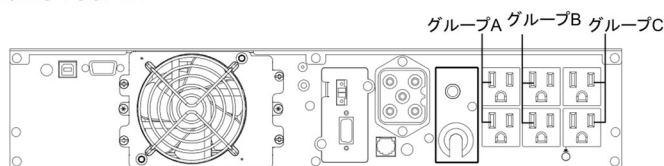
「電源出力」グループ	出力コンセント
グループ A	NEMA5-15R 2個(定格容量 7.5A)
グループ B	NEMA5-15R 2個(定格容量 7.5A)
グループ C	NEMA5-15R 2個(定格容量 7.5A)

BU100RW(定格出力容量最大 1kVA/800W)

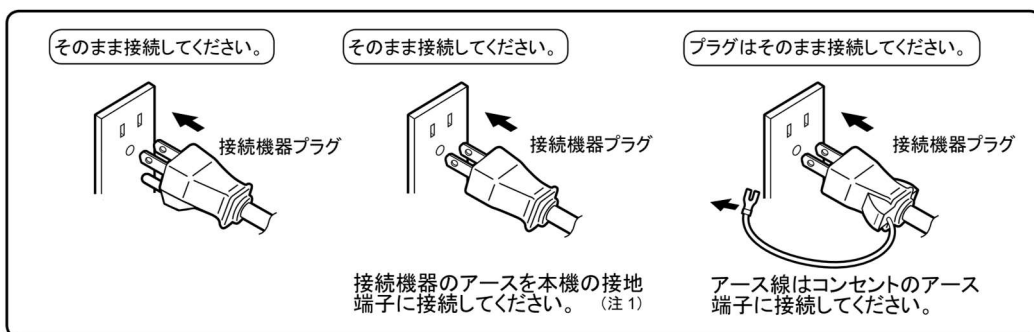
「電源出力」グループ	出力コンセント
グループ A	NEMA5-15R 2個(定格容量 10A)
グループ B	NEMA5-15R 2個(定格容量 10A)
グループ C	NEMA5-15R 2個(定格容量 10A)

参照▶「2-3 機器の接続方法」の●「電源出力」のグループ別制御

BU75RW/BU100RW



- 接続機器の入カプラグ形状が2Pの場合でもそのまま本機の「電源出力」コンセントに接続できます。
(注1)ただし、入カプラグ形状が2Pでアース線が付属しているプラグの場合は、アース線をコンセントのアース線に接続してください。
- ACアダプタを接続される場合は接続できるスペースのある「電源出力」コンセントに接続してください。



(注1)UL 規格適合品として使用する場合は、この接続はできません。

(2) 自動シャットダウンソフト、Windows の標準 UPS サービスを使用される場合、本機とパソコンを接続ケーブルで接続します。

参照▶「7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する」


※自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用されない場合は本項は不要です。

2 設置・接続をする

2-3 機器の接続方法

2-3-2 「電源出力」への機器の接続(BU200RW/BU300RW)

(1)バックアップが必要な機器(パソコン、サーバ、周辺機器)を本機背面「電源出力」コンセントに接続します。

⚠ 出力コンセントに接続される機器の合計の容量値が BU200RW/BU300RW の定格出力容量を超えないようにしてください。オーバーロード表示() が出る場合は接続機器を減らしてください。

BU200RW(定格出力容量最大 2kVA/1600W)

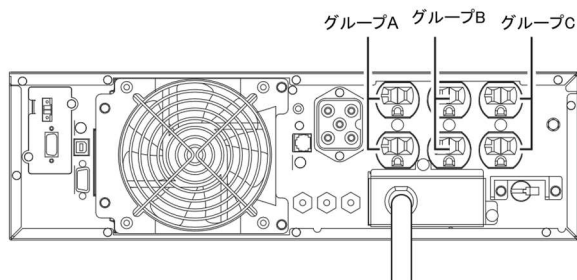
「電源出力」グループ	出力コンセント
グループ A	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)
グループ B	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)
グループ C	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)

BU300RW(定格出力容量最大 3kVA/2400W)

「電源出力」グループ	出力コンセント
グループ A	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)
グループ B	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)
グループ C	NEMA5-20R 2 個(定格容量 20A)

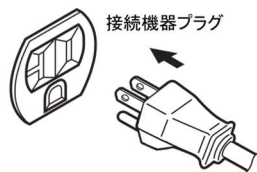
参照▶ 「2-3 機器の接続方法」の●「電源出力」のグループ別制御

BU200RW/BU300RW



●電源出力コンセントへの接続方法

そのまま接続してください。



(2) 自動シャットダウンソフト、Windows の標準 UPS サービスを使用される場合、本機とパソコンを接続ケーブルで接続します。

参照▶ 「7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する」

※自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用されない場合は本項は不要です。

2-4 AC 入力接続

設置、接続が完了したら本機の AC 入力を商用電源に接続してください。

注意

本機の「AC入力」プラグは必ず定格入力電圧（AC100V～120V）の電源コンセント（商用電源）に接続すること。

- 定格電圧の違う電源コンセント（商用電源）に接続すると、火災を起こすことがあります。
- 本機が故障することがあります。



- ・BU75RW/BU100RW の AC 入力プラグは変更できません。
AC入力プラグの選択 設定スイッチ7、8も出荷時設置のOFF、OFFのままご使用ください。
- ・BU200RW、BU300RWのAC入力接続方法は使用環境に応じて変更可能です。
- ・製品出荷時の状態と接続変更方法、接続可能な容量の関係は以下になります。
ご使用になる接続容量に応じて商用電源との接続方法を変更してください。

型式	入力電源容量 (プラグ容量)	本機の UL 規格に 適合する推奨 AC 入力プラグ	最大出力容量 (接続可能な容量)	AC 入力プラグの選択 (設定スイッチ)	
				設定スイッチ 7	設定スイッチ 8
BU75RW	15A(出荷時装着済み)	NEMA 5-15P	750VA/600W	OFF	OFF
BU100RW	15A(出荷時装着済み)	NEMA 5-15P	1000VA/800W	OFF	OFF
BU200RW	15A(出荷時装着済み)	NEMA 5-15P	1100VA/880W	OFF	OFF
	20A	NEMA 5-20P NEMA L5-20P	1600VA/1280W	ON	OFF
	30A	NEMA L5-30P	2000VA/1600W	OFF	ON
BU300RW	15A	NEMA 5-15P	100VA/880W	OFF	OFF
	20A	NEMA 5-20P NEMA L5-20P	1600VA/1280W	ON	OFF
	30A(出荷時装着済み)	NEMA L5-30P	2400VA/1920W	OFF	ON
	35A 以上	配電盤接続	3000VA/2400W	ON	ON

※太字は出荷時設定

2-4-1 AC 入力プラグの接続

BU75RW/BU100RWの接続方法

- 製品出荷時の15A用コンセントでご使用ください。
商用電源側コンセントは15A用(NEMA 5-15R)の形状のものをご用意ください。
- 付属の3P-2P変換アダプタを使用して2Pタイプのコンセントに接続できます。

BU200RWの接続方法

- 15A用プラグでのご使用(製品出荷時に接続済み)
商用電源側コンセントは15A用(NEMA 5-15R)の形状のものをご用意ください。
- BU200RWの入力プラグは製品出荷時には15A用(NEMA 5-15P)が装着されています。
このプラグのまま使用される場合は、接続機器の容量を上記表の容量以下に低減してください。
- 商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をON側にしてください。
- オーバーロードの表示(状態表示に「OL」「EQ」が表示される。)が出る場合は15A用プラグのままでは使用できません。

2 設置・接続をする

2-4 AC 入力接続

⚠ 注意

BU200RWで15A用プラグ(NEMA 5-15P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約1100VA/880Wまでです。

- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が15A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- オーバーロードの表示が出る(状態表示に「OL」「EQ」が表示される。)場合、配電盤に接続するか、30Aプラグに交換する必要があります。以降の「AC入力ケーブルの変更」にしたがって対応してください。



BU300RW の接続方法

- 30A用プラグでのご使用(製品出荷時に接続済み)
商用電源側コンセントは30A用(NEMA L5-30P)の形状のものをご用意ください。
- BU300RWの入力プラグは製品出荷時には、30A用プラグ(NEMA L5-30P)が装着されています。このプラグのままで使用される場合は、接続機器の容量を前項表の容量以下に低減してください。
- 商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をON側にしてください。
- オーバーロードの表示(状態表示に「OL」「EQ」が表示される。)がでる場合は30A用プラグのままでは使用できません。

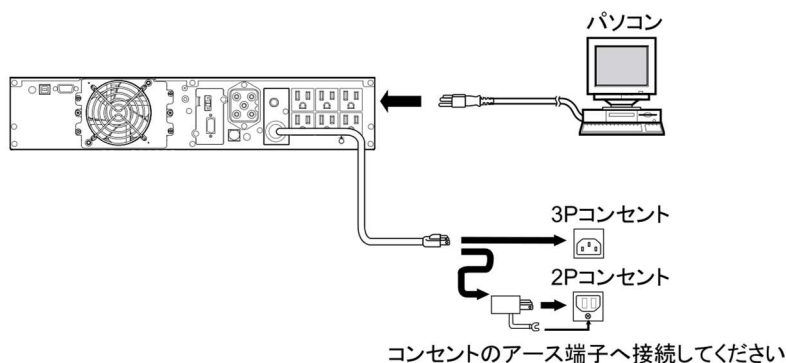
⚠ 注意

BU300RWで30A用プラグ(NEMA L5-30P)を使用される場合、出力に接続できる最大容量は約2400VA/1920Wまでです。

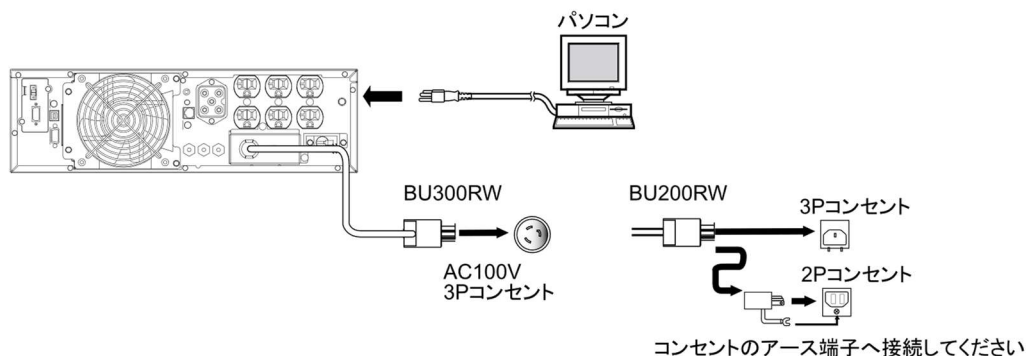
- 上記を超える消費電力でのご使用は入力電流が30A以上となり、発熱、火災などの危険があります。
- オーバーロードの表示が出る(状態表示に「OL」「EQ」が表示される)場合、AC入力ケーブルを変更して35A以上の電流容量のある商用電源ラインへの接続が必要です。以降の「AC入力ケーブルの変更」にしたがって対応してください。



< BU75RW/BU100RW >



<BU200RW/BU300RW>



BU300RW

入力プラグ(L5-30P)

(刃の方向より見て)

**⚠ 注意**

交流入力電源が一線接地されている場合は、必ず本装置の N 端子(相)側を接地相としてください。

- 誤接続されますと、誤動作の原因となるおそれがあります。



2-4-2 BU200RW/BU300RW AC入力ケーブルの変更

⚠ 注意

BU200RW/BU300RWのAC入力を配電盤から直接接続される場合は、配線工事を電気工事業者(第二種電気工事士以上の有資格者)に依頼して行ってください。

- BU200RW で 2000VA/1600W までご利用の場合、配線容量は 24A 以上必要です。
- BU300RW で 3000VA/2400W までご利用の場合、配線容量は 35A 以上必要です。

**⚠ 注意**

BU200RW/BU300RWで入力ケーブル変更時は必ず指定通りの接続をすること。
AC入力端子と線の色を間違えないこと。
商用電源に接続されている状態で、本機のAC入力端子の接続作業を行わないこと。

- 感電、漏電の危険があります。

**⚠ 注意**

入力電源容量に合わせて必ず AC 入力プラグの選択スイッチ⑦、⑧(参照)4-4-1設定スイッチの変更)の設定を変更してください。

- 正しく設定されていないと入力電流が過大になっても警告が出ません。
過電流により発煙、発火などの原因となることがあります。

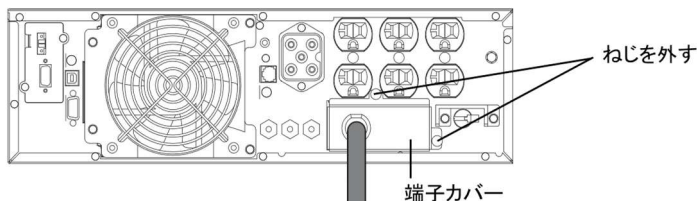


2 設置・接続をする

2-4 AC 入力接続

BU200RW/BU300RW の AC 入力ケーブルの変更方法

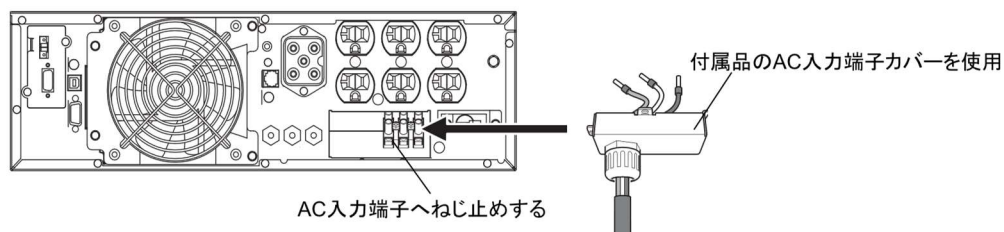
- (1) AC入力部の端子カバーを外す。(ねじ2本)



- (2) ケーブルを接続している端子(L,N,G)のねじを外し、ケーブルを取り外す。

- (3) 付属品のAC入力端子カバーに新たに接続するケーブルを通す。

- (4) 新しいケーブルをAC入力端子にねじ止める。



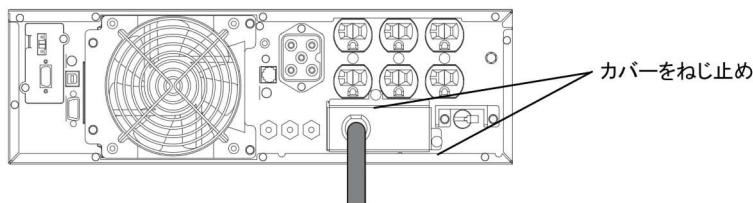
接続可能電線サイズ	5.0~8.0mm ²
電線被覆剥き量	8mm
締め付けトルク	2.5Nm(22 Lb-in)
ケーブル推奨サイズ	8mm ² (AWG 8)

ねじ止め

・ねじの締め付けは、2.5Nm(22 Lb-in)のトルクでしっかり固定してください。

G N L
AC100-120V

- (5) AC入力端子カバーを本体にねじ止める。



- (6) 商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をON側にする。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。
BU75RW/BU100RWの場合:「AC入力」プラグを商用電源に接続、
BU200RW/BU300RWの場合:「AC入力」プラグを商用電源に接続し背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることでバッテリーの充電が開始され、最長8時間(増設バッテリーユニット接続時は24時間)で充電が完了します。
- 「2-5 動作の確認をする」はバッテリーの充電をする前に行うことも可能です。

2-5 動作の確認をする

本機の接続が終わりましたら、バックアップが正常に動作するかを確認します。

下記手順にてバックアップ運転が正常におこなわれることを確認してください。

(この動作確認は「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くあるいは、BU200RW/BU300RWの場合、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすることで、停電が発生した場合を模擬したものです。)

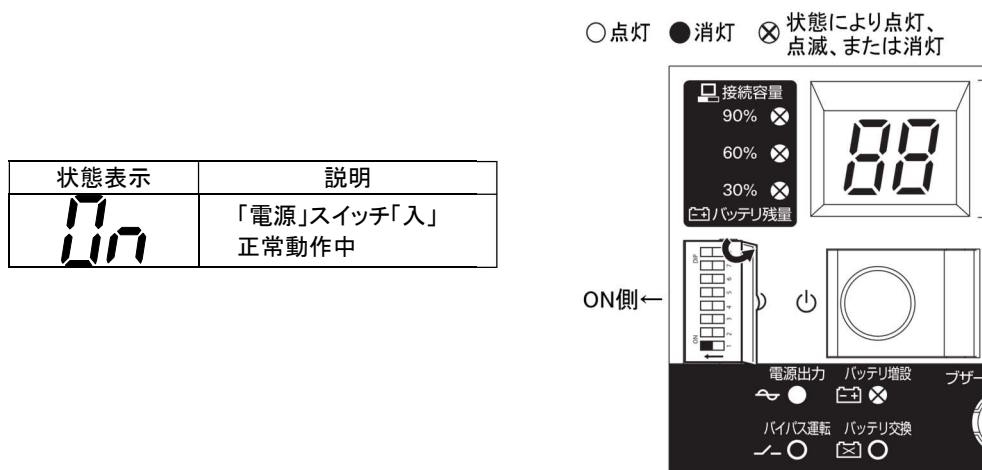
(1) 本機の「電源」スイッチを入れます。

ブザーが鳴り、現在の設定がLED表示されます。

約5秒後に、10秒間バックアップ運転になり自己診断テストをします。

自己診断テストが正常に終了すれば商用電源による運転に切り替わり、下記の表示状態になります。

(バッテリー電圧が低い時は自己診断テストを実施せず、ただちに商用電源による運転で出力開始します。)



(2) 接続されている機器をすべて動作状態にしてください。

(パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む)

ただし、接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。

本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。

(3) この状態で本機のLED表示、ブザー音を確認してください。

下記と同じ状態ですか。

状態表示	
ブザー音	なし
電源出力コンセント	電源出力する(接続機器通電状態)

上記の表示になる → 動作は正常です。(4)項へ進んでください。

上記表示にならない → 異常です。「3-3 ブザー音・表示の見方」の「4. 機器に異常がある時の表示・ブザー」のいずれかの表示になります。

対処方法にしたがって処置を行ってから(4)項へ進んでください。

(4) 本機の「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜くかあるいは、BU200RW/BU300RW の場合は、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。

バックアップ運転状態になります。

2 設置・接続をする

2-5 動作の確認をする

(5) バックアップ運転状態で本機の LED 表示、ブザー音を確認してください。

下記の状態表示のいずれかになりますか？

() 点滅表示を意味する

状態表示	ブザー	出力	充電	説明
	断続 4 秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいは AC 入力異常のため、バックアップ 運転中。このままバックアップ運転を続けると出力 が停止します。
	断続 1 秒間隔	ON	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止 します。
	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しま した(数秒間のみ表示されます)。

(5) の表示にならない→異常です。表示とブザーの状態を確認して、一度電源スイッチを切ってください。

- ・「3-3 ブザー・表示の見方」の「4. 機器に異常がある時の表示・ブザー」の表示
の場合は、対処方法にしたがって処置を行ってから再度(1)項へ戻ってください。
- ・まったくバックアップせずに本機と接続機器が停止した場合はバッテリーの充電不
足が考えられます。
BU75RW/BU100RWの場合:「AC入力」プラグを商用電源に接続し、8時間(増
設用バッテリーユニット接続時は24時間)以上バッテリーの充電を行ってから、再度(4)
項へ戻ってください。
BU200RW/BU300RWの場合:「AC入力」プラグを接続、背面の入力過電流保
護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにし、8時間(増設用バッテリーユニット接
続時は24時間)以上バッテリーの充電を行ってから、再度(4)項へ戻ってください。
- ・上記2点を確認しても解決しない場合はオムロン電子機器カスタマサポートセンタ
にご相談ください。

参照 設定スイッチ①でブザー:ON/OFF の選択ができます。
→「4-4-1 設定スイッチの変更」

(6) 「AC入力」プラグを、再び電源コンセント(商用電源)に接続してください。

BU200RW/BU300RWは背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を
ON にしてください。

状態表示が元の状態に戻り、ブザー音が消えます。

(下図の状態になります)

状態表示	説明
	「電源」スイッチ「入」 正常動作中

以上で動作の確認は終了です。

以上で設置・接続はすべて完了しました。

2-6 バッテリーの充電

BU75RW/BU100RWの場合:「AC入力」プラグを商用電源に接続することにより自動的にバッテリーの充電が開始されます。

(「電源」スイッチが「入」「切」どちらの状態でも充電します。)

8時間で(増設用バッテリーユニット接続時は24時間)充電が完了します。

BU200RW/BU300RWの場合:「AC入力」プラグを接続、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすることにより自動的にバッテリーの充電が開始されます。

(「電源」スイッチが「入」「切」どちらの状態でも充電します。)

8時間で(増設用バッテリーユニット接続時は24時間)充電が完了します。

- 本機は充電して出荷していますがはじめてご使用になる場合は自己放電によりバックアップ時間が短くなっている場合があります。本機を充電してからお使いいただくことをお勧めします。
- 次の「2-7 バックアップ時間の初期値測定」を実施されない場合は、このまま「3 本機の操作について」に移っていただけます。

2-7 バックアップ時間の初期値測定

- お客様のご使用環境で本機のバックアップ時間初期値を測定しておく、バッテリーの点検を行ったり自動シャットダウンソフトの設定値を決める際の目安になります。

参照 ▶ 「5 バックアップ時間を測定する」

2-8 バッテリーの再充電

バックアップ時間を測定された後は、バッテリーが完全に放電していますのでご使用開始に際し再充電が必要です。

- 充電しながら接続機器を使用することも可能ですが、充電完了するまでは停電発生時のバックアップ時間が短くなります。

(充電開始直後に停電発生の場合ではすぐにバックアップが停止してしまいます。)

参照 ▶ 「2-6 バッテリーの充電」の要領で充電を行ってください。

以上で運転開始前の準備がすべて完了しました。

3 本機の操作について

3-1 運転時のご注意、お願い

3 本機の操作について

3-1 運転時のご注意、お願い

運転時には下記の点にご注意ください。

警告

本機は内部の制御回路機能が故障あるいは誤動作により停止した場合でも、接続機器へ電力を供給できるバイパス出力回路を装備しています。

- 前面パネルの表示がすべて消えていても出力は継続します。
- 前面の電源スイッチで出力のON/OFF操作は、できなくなります。
出力を停止したい場合は、商用電源の供給元を停止するか、AC入力プラグを電源コンセントから抜く、またはBU200RW/BU300RWの場合は、本機背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。



注意(使用時)

濡らしたり、水をかけないこと。

- 感電したり、火災を起こすことがあります。
- 水に濡らした場合はすぐに本機の使用を中止し、AC入力ケーブルを電源コンセントから抜くか、BU200RW/BU300RWの場合は背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにして点検、修理を依頼してください。
修理についてはオムロン電子機器修理センターへご相談ください。



寿命が尽きたバッテリーはすぐに交換するか、本機の使用を中止すること。

- 使用を続けると液もれにより火災、感電の原因になることがあります。

周囲温度	期待寿命
20℃	4～5年
30℃	2～2.5年

※ 左の表は標準的な使用条件での期待寿命であり、保証値ではありません。



「AC入力」プラグ、「電源出力」コンセントのほこりは、ときどき乾いた布でふき取ること。

- 長期間ほこりが付着したままにしておくと火災の原因となることがあります。



密閉した場所で使用したり、カバーを掛けたりしないこと。

- 異常な発熱や火災を起こすことがあります。



⚠ 注意 (使用時)

変な音や臭いがした、煙が出た、内部から液体が漏れた時は、本機の「電源」スイッチを切って出力を停止し、「商用電源」の供給を止めること。

(BU75RW/BU100RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くこと。BU200RW/BU300RWの場合はAC入力プラグを電源コンセントから抜くか、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにすること。)

- このような状態で使用すると火災を起こすことがあります。
- このような状態になったら必ず使用を中止し、お買い求めの販売店かオムロン電子機器修理センタに点検・修理を依頼してください。
- 使用時は異常発生時にすぐに「AC入力」プラグを電源コンセント(商用電源)から抜ける状態または、BU200RW/BU300RWの場合は入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにできる状態にしておいてください。



内部から液体が漏れたら、液体に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



上に 25kg以上のものを乗せたり、重量物を落下させないこと。

- ケースのゆがみや破損、内部回路の故障により火災を起こすことがあります。



お願い

商用電源を切る前に、本機の「電源」スイッチを切ってください。

- 商用電源を停止すると、バックアップ運転になります。バックアップ運転の頻度が高くなるとバッテリー寿命が著しく短くなる場合があります。

データの保護やシステム冗長化など不測の事態への対処を行ってください。

- 本機は内部回路の故障により出力が停止する場合があります。

解説

日常の運用方法について

- 本機の「電源」スイッチは入れたまま(運転状態)でも、接続されているシステムの停止のたびに切ってもどちらでも問題ありません。お客様のご都合の良い方法で運用を行ってください。
長期間接続機器を使用しないときは「電源」スイッチを切っておくことをお勧めします。
- BU75RW/BU100RW: 「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込むことで、バッテリーを充電できます。
BU200RW/BU300RW: 「AC 入力」プラグを電源コンセント(商用電源)に差し込み、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をON にすることでバッテリーを充電できます。

バックアップ運転終了について

- 停電時間が長くなるとバッテリーが放電し、本機からの電源出力が停止します。本機が電源供給している間にパソコンを正しい手続きで終了(データをセーブするなどの処置)するようにしてください。

再起動について

- 停電中にバッテリーが放電してしまうと、本機は停止します。その後停電などの電源異常が回復すると、本機は自動的に再起動し、電源供給します。接続機器を動作させたくないときは、本機の「電源」スイッチ、あるいは接続機器のスイッチを切っておいてください。

【参照】 設定スイッチ②で自動再起動させる/させないの選択ができます。

→「4-4-1. 設定スイッチの変更」

3 本機の操作について

3-1 運転時のご注意、お願い

解説

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時に、ブレーカーなどを使用し商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。
3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。
またこの期間はバッテリーが寿命末期になると約半分以下になります。
3か月を超えた場合、商用電源を供給し、「運転」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが劣化した場合、運転を開始できないことがあります。
この場合は、「6-2バッテリーの交換」に従い、バッテリー交換を行ってください。

3-2 運転・停止方法と基本的な動作

●「電源」スイッチが「切」の状態、商用電源に「AC入力」プラグが接続された時

(BU200RW/BU300RW は背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を ON にしてください。)

- ・過去に発生した最新の異常内容を表示します。(3-3 ブザー音・表示の見方 4 項参照)
- ・状態表示が「- -」となります。
- ・電源出力停止。
- ・バッテリーは自動充電を開始します。

●運転開始方法

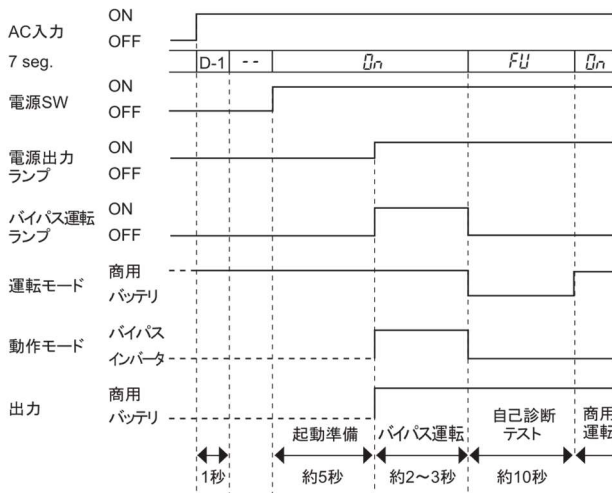
操作 本機の「電源」スイッチを入れます。

- ・スイッチを入れてから約 5 秒後にバイパス運転で出力を開始します。(状態表示「 $\bar{0}n$ 」)
ただし、コールドスタート時は「 $\bar{L}!$ 」表示になり、バックアップ運転で出力を開始します。
- ・状態表示が、「 $\bar{F}U$ 」となり約 10 秒間バックアップ運転に移行し自己診断テストを実行します。
 1. バッテリー電圧が低い時は自己診断テストをしません。バッテリーを充電した後に自動的に自己診断テストをします。
 2. コールドスタート時は自己診断テストをしません。
- ・自己診断テストが正常に終了すれば商用電源による AC 出力に切り替わり、インバータ運転による通常運転状態になります。
- ・自己診断テストを実行しなかった時は、すぐに商用電源からの AC 出力になります。

状態表示	$\bar{0}n$
ブザー音	なし
電源出力コンセント	電源出力する(接続機器通電状態)

参照 コールドスタートON/OFF設定→4-4-2 本機動作モード設定

- ・運転中は、バッテリーは自動充電されます。



<Note>

D-1: 最後に発生したエラーコードの表示(3-3 ブザー音・表示の見方 4 項参照)
(エラーコードが一度も発生していないときは「- -」表示)

3 本機の操作について




3-2 運転・停止方法と基本的な動作

●停電時の動作

- ・ 停電や入力電源異常が発生すると、自動的にバックアップ運転に切り替わりバッテリーからの電力で「電源出力」コンセントから電源出力を継続します。
- ・ 状態表示およびブザーが断続鳴動して知らせます。

参照 設定スイッチ①でブザー: ON/OFF の選択ができます。→4-4-1 設定スイッチの変更

()、点滅表示を意味する)

状態表示	ブザー	出力	充電	説明	対処方法
	断続 4 秒間隔	ON	OFF 放電中	停電あるいは AC 電力異常のため、バッテリーによるバックアップ運転中。	ご使用の接続機器を終了処理したあと、接続機器を停止してください。
	断続 1 秒間隔	ON	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止します。	(同上)
	なし	OFF	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しました。(数秒間のみ表示されます)	バッテリーを充電してください。

● 停電が回復した時

- ・ 本機から電源出力している間に停電／入力電源異常が回復した時は、自動的に商用電源による出力に戻ります。消費したバッテリーは充電が開始されます。
- ・ バッテリーの電力を使い切って電源出力が停止した後、停電／入力電源異常が回復した時は、本機は自動的に再起動し電源出力を再開します。消費したバッテリーは充電が開始されます。

【参照】 設定スイッチ②で自動再起動させる／させないの選択ができます。

→4-4-1 設定スイッチの変更

● 運転停止方法

【操作】 本機の「電源」スイッチを切ります。

- ・ 本機からの電源出力が停止します。

状態表示	ブザー	出力	充電	説明
- -	なし	OFF	ON	AC 入力あり 「電源」スイッチ「切」

- ・ 「電源」スイッチを切っても商用電源から AC が供給されていれば、バッテリーは自動充電されます。

● 「接続容量/バッテリー残量」レベルメータについて

商用運転中(通常時)は「接続容量/バッテリー残量」レベルメータは接続されている機器の消費電力をパーセントで表示します。

BU75RW: 750VA/600Wを100%とし、3段階で表示します。

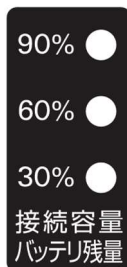
BU100RW: 1000VA/800Wを100%とし、3段階で表示します。

BU200RW: 2000VA/1600W(30Aプラグまたは配電盤接続時)、1600VA/1280W(20Aプラグ接続時)、1100VA/880W(15Aプラグ接続時)を100%とし、3段階で表示します。

BU300RW: 3000VA/2400W(配電盤接続時)、2400VA/1920W(30Aプラグ接続時)、1600VA/1280W(20Aプラグ接続時)、1100VA/880W(15Aプラグ接続時)を100%とし、3段階で表示します。

接続機器が 30%以下の場合、レベルメータは消灯します。

バックアップ運転中は、バッテリーの残量をパーセントで表示します。



	商用運転時 接続容量 点灯表示	バックアップ運転時 バッテリー容量 点減表示
90%ランプ	90%以上	60%以上
60%ランプ	60%以上	30~60%
30%ランプ	30%以上	0~30%
すべて消灯	30%以下	—

※商用運転中(通常時)でも、「ブザー停止/テスト」スイッチを押している間はバッテリー残量を表示します。
(5 秒以上押すと、ブザーが鳴動し自己診断テストを開始しますのでご注意ください。)

3 本機の操作について

3-3 ブザー音・表示の見方

3-3 ブザー音・表示の見方

1. 通常運転中の表示・ブザー

- 消灯表示を意味する
- 点灯表示を意味する
- ⋯ 点滅表示を意味する

(1) 電源スイッチ OFF 時

No.	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
1		○	○	○	なし	OFF	AC 入力なし 動作停止中	—
2		○	○	○	なし	ON	AC 入力あり 「電源」スイッチ「切」	—

(2) 電源スイッチ ON 時

3		●	○	○	なし	ON	「電源」スイッチ「入」 正常動作中	—
4		○	○	○	なし	ON	バッテリー充電不足で起動待機中	このまま充電を継続してください。充電されると出力が起動します。

2. テスト動作中の表示・ブザー

5		●	○	○	なし	OFF 放電中	自己診断テスト中	—
6		●	○	○	なし	OFF 放電中	バッテリー自動テスト中	—

3. 停電・AC入力異常が発生した時の表示・ブザー

(1) 電源スイッチ ON 時

7		●	○	○	断続 4 秒間隔	OFF 放電中	停電あるいは AC 入力異常のため、バックアップ運転中。このままバックアップ運転を続けると出力が停止します。	ご使用の接続器を終了処理した後、接続機器を停止してください。
8		●	○	○	断続 1 秒間隔	OFF 放電中	(同上) バッテリーの残量が少ないのでまもなく出力を停止します。	(同上)
9		○	○	○	なし	OFF 放電中	バッテリーの残量がなくなったため、出力を停止しました。(数秒間のみ表示されます)	バッテリーを充電してください。

(2) 電源スイッチ OFF 時

10		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧およびAC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	仕様に記載されているAC入力電圧・周波数の範囲にて使用してください。 →A 仕様
11		○	○	○	なし	(ON)	AC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	
12	LH display"/>	○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より低く、AC入力周波数が仕様の範囲より高い異常です。	
13		○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より高い異常です。	
14	L- display"/>	○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より低い異常です。	
15	Hl display"/>	○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧が仕様の範囲より高く、AC入力周波数が仕様の範囲より低い異常です。	
16	-L display"/>	○	○	○	なし	(ON)	AC入力周波数が仕様の範囲より低い異常です。	
17	Ll display"/>	○	○	○	なし	(ON)	AC入力電圧、AC入力周波数ともに仕様の範囲より低い異常です。	

3 本機の実操作について

3-3 ブザー音・表示の見方

4. 機器に異常がある時の表示・ブザー

- 消灯表示を意味する
- 点灯表示を意味する
- ⋯ 点滅表示を意味する

(1) 電源スイッチ ON 時

No	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
18		●	○	○	断続 0.5 秒 間隔	ON または 放電中	接続機器が多すぎ、定格容量を超えています。この状態が下記時間以上続くと、バイパス運転(注1)によって商用電源をそのまま供給します。	表示が、No.3 の状態になるまで、接続機器を減らしてください。
19	 交互に点滅	●	●	○	断続 0.5 秒 間隔	ON または 放電中	・接続 110%以上: 10 秒後にバイパス運転 ・接続 130%以上: 即時バイパス運転、 1分後に出力停止 (No.20 に移行) ・接続 150%以上: 即時バイパス運転、 10 秒後に出力停止 (No.20 に移行)	
20		○	○	○	連続	ON または 放電中	接続容量オーバーにより出力停止しました。	
21		○	○	○	連続	ON または 放電中	接続機器側の短絡、もしくは大幅な接続容量オーバーにより停止しました。	接続機器のAC入力力が短絡していないか、接続容量が定格容量を超えていないか、確認してください。
22	 交互に点滅	●	●	○	連続	—	冷却ファンが異常のためバイパス運転に移行しました。(注1)	異常のあるファンを交換してください。 参照>「6-3 ファンの交換」 (注2)
23		○	○	○	連続	OFF	故障発生しました。“ブザー停止”スイッチを押すと異常内容の詳細を表示します。 (No.25-No.30)	本機と接続機器の電源スイッチをすべて切り、接続機器の電源スイッチのみ再度入れてください。表示の内容が変わらない場合は、本機に異常がありますので販売店またはオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご連絡ください。
24	 交互に点滅	— (注3)	●	○	連続	— (注3)		No.24 の状態で“ブザー停止”スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします。
25		●	●	○	連続	—	出力電圧が異常(上昇)のためバイパス運転に移行しました。(注1)	(同上)
26		●	●	○	連続	—	出力電圧が異常(低下)のためバイパス運転に移行しました。(注1)	(同上)
27		●	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(上昇)のため充電停止しました。バッテリーが放電するとバイパス出力します。(表示はすべて消えます。)	No.23 の状態で“ブザー停止”スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします。
28		●	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(低下)のため充電停止しました。バッテリーが放電するとバイパス出力します。(表示はすべて消えます)	(同上)
29		●	●	○	連続	—	内部温度が異常のためバイパス運転に移行しました。(注1)	No.24 の状態で“ブザー停止”スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします。
30		●	●	○	連続	—	直流バス電圧エラーのためバイパス運転に移行しました。(注1)	(同上)

注1：バイパス運転中は、商用電源をそのまま出力します。バイパス運転中に停電(AC入力OFF)が発生すると出力は停止します。

注2：ユーザでのファン交換はUL規格に適合していません。

注3：状態によって表示、動作は異なります。

3 本機の操作について

3-3 ブザー音・表示の見方

4. 機器に異常がある時の表示・ブザー

- 消灯表示を意味する
- 点灯表示を意味する
- ⋯ 点滅表示を意味する

(2) 電源スイッチ OFF 時

No	状態表示	「電源出力」ランプ	「バイパス運転」ランプ	「バッテリー交換」ランプ	ブザー	充電	説明	対処方法
31		○	○	○	連続	OFF	故障が発生しました。 “ブザー停止”スイッチを押すと異常内容の詳細を表示します。	本機に異常がありますので販売店またはオムロン電子機器カスタマサポートセンターにご連絡ください。
32		○	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(上昇)のため充電停止しました。	No.31 の状態で“ブザー停止”スイッチを押している間のみ異常内容の詳細表示をします。
33		○	○	○	連続	OFF	バッテリーの充電電圧が異常(低下)のため充電停止しました。	(同上)

5. バッテリー交換表示・ブザー

34		●	○	●	断続 2 秒間隔	ON	バッテリーテストでバッテリーの劣化が検出されました。 (警報のみ・出力継続)	バッテリーを交換してください。 別売の交換バッテリーをお求めになればお客様で交換できます。 参照 6-2 バッテリーの交換
----	--	---	---	---	-------------	----	---	---

4 本機の機能について

4-1 ブザー音を一時停止する

ブザーが鳴動時に「ブザー停止/テスト」スイッチを 0.5 秒以上押すとブザーが一時的に停止します。



4-2 自己診断テストの説明

このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化の簡易テストを行います。
下記手順にて本機内部の回路故障、バッテリー交換の要否が確認できます。

バッテリーの充電が完了していない場合は、自己診断テストはすぐには実行されません。
充電完了後、自動的に実施します。

- (1) 本機にパソコンなどの機器を接続した後、本機の「電源」スイッチを入れます。
- (2) 自動で自己診断テストを開始します。(「FL」表示)
テストのためにバックアップ運転に移行します。(ブザーは鳴りません。)
約10秒間のテストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。
- (3) 「状態表示」が点滅表示／バッテリー交換ランプが点滅したり、ブザーが鳴動した場合
 参照 ▶ 「3-3 ブザー音・表示の味方」
 「4. 機器に異常がある時の表示・ブザー」、「5. バッテリー交換表示・ブザー」の対処方法にしたがって処置を行ってください。

※このテストは自動シャットダウンソフトからも行えます。
詳細の説明は自動シャットダウンソフトのオンラインヘルプをご覧ください。

※このテストは、手動でも行えます。
本機の「ブザー停止/テスト」スイッチを 5 秒以上押します。
ブザーがピッピッ(断続音)と鳴り始めたら、スイッチを離してください。



4 本機の機能について

4-3 バッテリ自動テストの説明

4-3 バッテリ自動テストの説明

このテストでは本機の故障診断、バッテリー劣化のテストを行います。

(自己診断テストよりも劣化の傾向を早めに検出します。)

このテストは自動で実施されます。(お客様で特別な操作は不要です)

テスト周期は「AC入力」を商用電源に接続し通電開始してから4週間に1回の間隔です。

「電源」スイッチが切られているもしくは、バッテリーがフル充電の状態でない場合は、テストを行いません。

- (1) バッテリ自動テストの開始によって、自動的にバックアップ運転を開始します。

(「h」表示)(ブザーは鳴りません。)

バッテリー自動テストが終了した後、自動的に通常運転状態に戻ります。

- (2) 「状態表示」が点滅表示／バッテリー交換ランプが点滅したり、ブザーが鳴動した場合

参照▶「3-3 ブザー音・表示の見方」

「4. 機器に異常がある時の表示・ブザー」、「5. バッテリ交換表示・ブザー」の対処方法にしたがって処置を行ってください。

本機前面の設定スイッチにより「バッテリー自動テストを禁止する」設定も可能です。

参照▶「4-4 機能の設定変更」

「バッテリーテストの自動可否設定」をご覧ください。

※このテストは、手動でも行えます。

本機の「ブザー停止/テスト」スイッチを10秒以上押します。

ブザーが「ピッピッ」(断続音)から「ピー」(連続音)に変わったならスイッチを離してください。

4-4 機能の設定変更

4-4-1 設定スイッチの変更

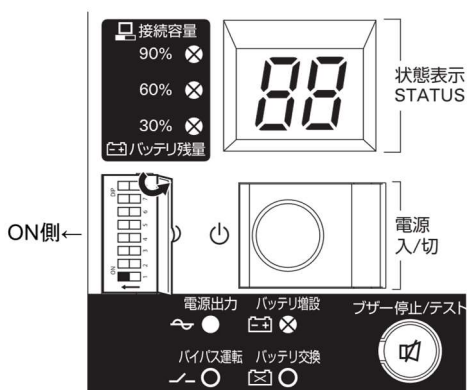
設定スイッチ変更後は下記の操作を実行してください

設定スイッチ変更後はUPSの「電源」スイッチを切り、「AC入力」プラグを抜いて「状態表示」が完全に消えたのを確認してから、再度「AC入力」プラグを挿入してください。
(なおBU200RW/BU300RWの場合は、「AC入力」プラグを抜き挿しする操作の代わりに、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFF→ONすることで、代用いただけます。)

●上記操作を行わないと設定の変更が有効になりません。

- ・精密ドライバのような先の細いものでスイッチのレバーを操作してください。

設定スイッチの機能一覧



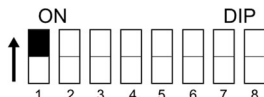
No.	設定する機能	OFF 側	ON 側
1	停電など発生時のブザー音設定	ブザーが鳴ります	ブザーが鳴りません
2	停電からの復帰時の自動起動設定	自動起動しません	自動起動します
3	バッテリーテストの実施可否設定	テストを行いません	テストを行います
4	自動起動モード設定	モード A	モード B
5	BS 信号の有効範囲設定	いつでも有効	バックアップ時のみ有効
6	—	—	—
7	—	「4-4-1 設定スイッチの変更」	
8	AC 入力の選択	●AC入力プラグの選択をご参照ください	

- ・BS 信号: バックアップ停止信号 参照 「7-4 接点信号入出力の詳細」

4 本機の機能について

4-4 機能の設定変更

●停電など発生時のブザー音設定(設定スイッチ①).....製品出荷時: OFF

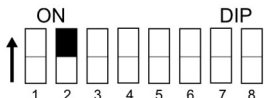


OFF: アラームが必要な時ブザーが鳴ります。

ON: バックアップ運転時、バッテリー交換時のブザーが鳴りません。

その他の異常状態時(接続容量オーバー、動作異常など)はブザーが鳴ります。

●停電からの復帰時の自動起動設定(設定スイッチ②).....製品出荷時: OFF



OFF: 復電時、自動起動させます。

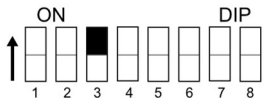
停電などが発生してシャットダウンソフト、または接点信号(BS信号)で本機を停止した後、商用電源が回復すると自動的に本機が起動し出力を開始します。

ON: 復電時、自動起動させません。

シャットダウンソフト、または接点信号(BS信号)で本機を停止した後、商用電源が回復しても本機は起動しません。

手で「電源」スイッチをいったんOFFし、再度ONさせることで起動します。

●バッテリーテストの実施可否設定(設定スイッチ③).....製品出荷時: OFF

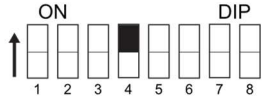


OFF: 4週間に1回、自動的にバッテリーテストを実施します。

ON: バッテリー自動テストを実施しません。

バッテリー自動テストのための定期的なバックアップ運転をさせたくない時はこの設定にします。

●自動起動モード設定(設定スイッチ④).....製品出荷時: OFF



OFF:(モードA)・・・UPS停止後、AC入力の”ON”を検知したら直ちにUPSを自動起動させます。

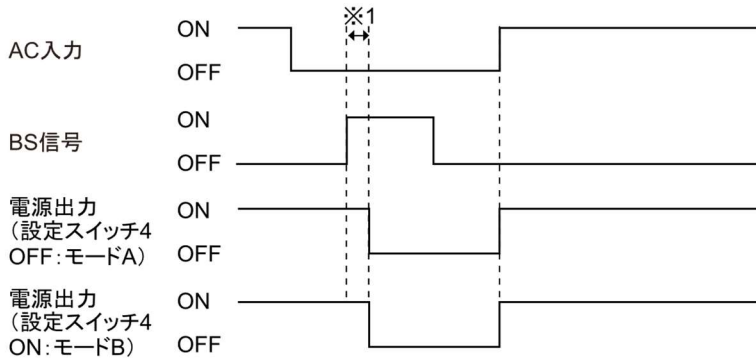
ON:(モードB)・・・UPS停止後、AC入力の”OFF”→”ON”を検知したタイミングでUPSを自動起動させます(AC入力のOFFの定義:AC入力1秒以上OFFした時)。

※設定スイッチ④は、停電からの復帰時の自動起動設定(設定スイッチ②)がOFF設定(自動起動させる)の時に有効です。

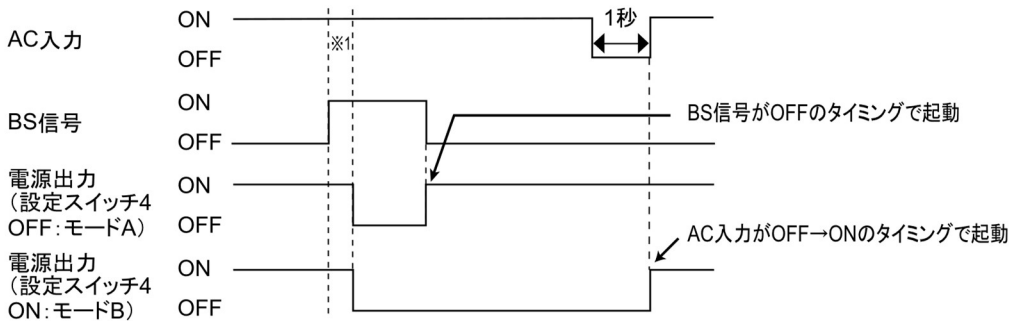
※この設定モードは、接点信号入出力のバックアップ停止信号(BS)にてUPSを停止させた後のみ有効です。

※RS-232Cコネクタにケーブルを接続して自動シャットダウンソフトを使用した場合には、この設定に関わらずモードAの動作をします。

① 停電発生後に、BS信号にてUPSを停止した場合

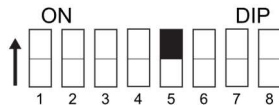


② AC入力がある時に、BS信号にてUPSをシャットダウンした場合



※1 BS 信号の受付時間は設定スイッチ⑤に関連します。

● BS 信号の有効範囲設定(設定スイッチ⑤).....製品出荷時: OFF



OFF: BS 信号はいつでも有効(受付可能)です。

バックアップ停止信号(BS)を 10 秒以上「ON」にすることで、本機の「電源出力」を停止できます。

ON: BS 信号はバックアップ運転時のみ有効(受付可能)です。(商用運転中は信号を受け付けません)

バックアップ停止信号(BS)を 0.01 秒(10 ミリ秒)以上「ON」にすることで、本機の電源出力を停止できます。

商用運転中にバックアップ停止信号(BS)が入っても停止させたくないときはこの設定にします。

・ 復帰時の自動起動動作について

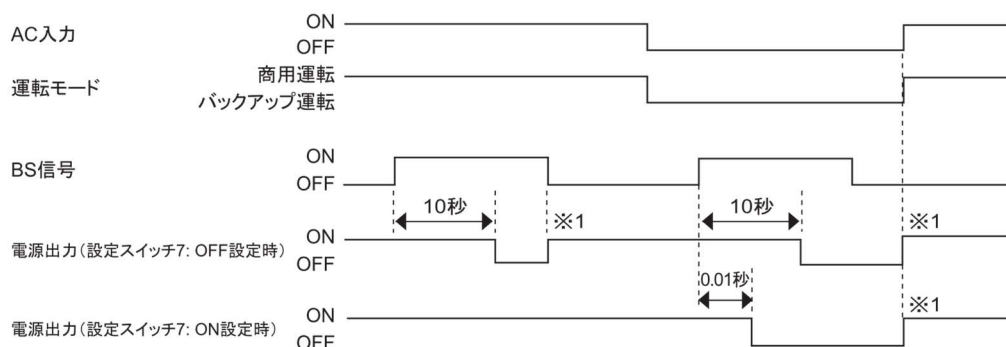
復電時、自動起動動作については、設定スイッチ②に関連します。

ただし、BS 信号を ON にしている間は、本機は起動しません。

4 本機の機能について

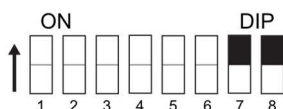
4-4 機能の設定変更

●BS 信号の有効範囲設定(設定スイッチ⑤)の動作説明タイムチャート



※1 設定スイッチ②が OFF (自動起動させる) の時の動作です。
ON 設定 (自動起動させない) の時は自動起動しません。

●AC 入力プラグの選択(設定スイッチ⑦、⑧)製品出荷時:下表参照



設定スイッチ⑦	設定スイッチ⑧	BU75RW	BU100RW	BU200RW	BU300RW
OFF	OFF	15A 出荷時設定	15A 出荷時設定	15A 出荷時設定	15A
ON	OFF	—	—	20A	20A
OFF	ON	—	—	30A または 配電盤接続	30A 出荷時設定
ON	ON	—	—	—	35A 以上 配電盤接続

BU75RW

出荷設定時の⑦OFF、⑧OFF のままご使用ください。
本機は 750VA/600W の定格出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

BU100RW

出荷設定時の⑦OFF、⑧OFF のままご使用ください。
本機は 1000VA/800W の定格出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

BU200RW

⑦OFF、⑧OFF: 出荷時接続されている15AのACプラグを使用するとき、この設定にしてください。
本機は1100VA/880Wの出力容量まで接続できます。(出荷時設定)

⑦ON、⑧OFF: 20AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。
本機は1600VA/1280Wの出力容量まで接続できます。

⑦OFF、⑧ON: 30AのAC入力プラグまたは配電盤接続に変更した場合、この設定にしてください。
本機は2000VA/1600Wの出力容量まで接続できます。

BU300RW

- ⑦OFF、⑧OFF: 15AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。
本機は1100VA/880Wの出力容量まで接続できます。
- ⑦ON、⑧OFF: 20AのAC入力プラグに変更した場合、この設定にしてください。
本機は1600VA/1280Wの出力容量まで接続できます。
- ⑦OFF、⑧ON: 出荷時接続されている30AのAC入力プラグを使用するとき、この設定にしてください。
本機は2400VA/1920Wの出力容量まで接続できます。(出荷時設定)
- ⑦ON、⑧ON: AC入力プラグを配電盤接続に変更した場合、この設定にしてください。
本機は3000VA/2400Wの出力容量まで接続できます。

4-4-2. 本機動作モード設定

1. 設定可能項目と説明

選択する項目は4つあります。

- 1) コールドスタート ON/OFF 設定
- 2) 出力電圧設定
- 3) 電源出力停止遅延時間設定
- 4) 信号入出力テスト

本操作にて以下の設定が可能です。

1) コールドスタート ON/OFF 設定

- ・コールドスタートOFFモード
AC入力がある時しか本機を起動できません。
- ・コールドスタートONモード
「AC入力」がなくても、本機を起動させることが可能です。
(ただし、リモートON/OFF信号での起動はできません)
AC入力がONすると通常運転になります。
出力周波数については最後に「AC入力」があった時の周波数で出力されます。

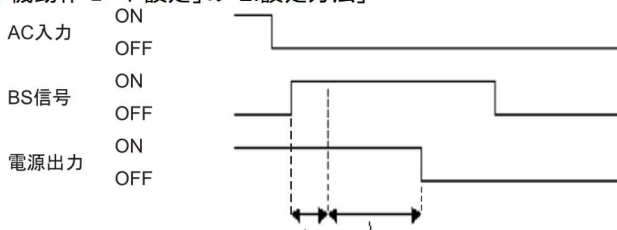
2) 出力電圧設定 (100V/110V/115V/120V)

4種類の出力電圧を設定することが可能です。(設定範囲: 100V/110V/115V/120V)
入力電圧に依存せずに設定された電圧で出力します。

3) 電源出力停止遅延時間設定

BS信号を受け付けてから電源出力を停止させるまでの遅延時間を設定できます。
(設定範囲 0~10分、6段階)

参照▶「4-4-2 本機動作モード設定」の「2. 設定方法」



このタイミングは10ミリ秒または10秒です。
タイミングは設定スイッチ⑤の設定に関連します。

参照▶ 4-4-1 設定スイッチの変更

<注>

「リモート ON/OFF」信号は、この設定とは無関係です。

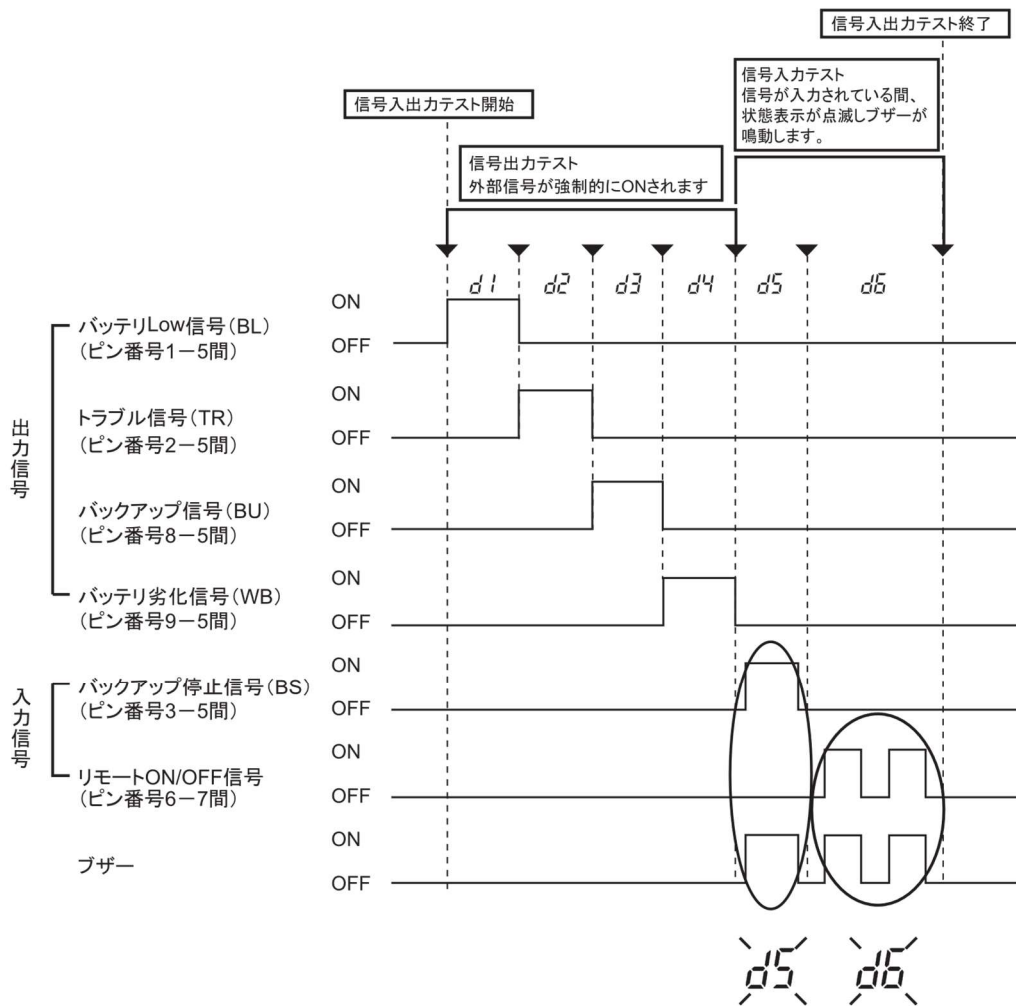
「リモート ON/OFF」信号が「High」になると、直ちに出力が停止されます。

4 本機の機能について

4-4 機能の設定変更

4) 信号入出力テスト(BL/TR/BU/WB/BS/リモート)

- 4 種類の出力信号を強制的に ON することが可能です。
- 2 種類の入力信号の ON/OFF 状態を状態表示とブザーで確認することが可能です。

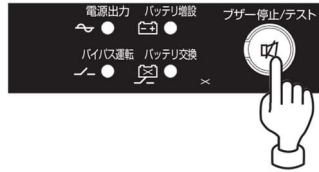


信号が入力されている間、上記の状態表示が点滅し、ブザーが鳴動します。

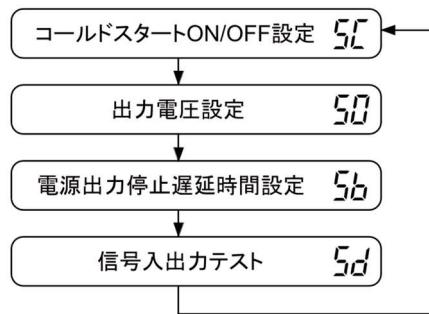
2. 設定方法

「ブザー停止スイッチ」を押した状態で「電源」スイッチをONすると、本機動作モード設定に遷移します。

注: 設定モードの間は、「電源」スイッチがONの状態でも、電源出力からの出力はOFFになります。



- (1) 「ブザー停止スイッチ」を短押し(1秒以下)すると次の項目を表示します。



- (2) 「ブザー停止スイッチ」を長押し(1秒以上)すると「各項目の設定モード」に進みます。
- (3) 「電源」スイッチをOFFにすると、設定モードが解除され電源スイッチ「切」状態(状態表示「●」)となります。

5 バックアップ時間を測定する

5-1 バックアップ時間の測定方法

- (1) BU75RW/BU100RWの場合:「AC入力」プラグを商用電源に接続、8時間(増設バッテリーユニット接続時は24時間)以上充電します。
BU200RW/BU300RWの場合:「AC入力」プラグを接続し背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにし、8時間(増設バッテリーユニット接続時は24時間)以上充電します。
- (2) すべての接続機器の電源を入れてください。
(パソコンのサービスコンセントに接続されている機器を含む)
ただし、接続機器の電源が途中で停止しても支障のない状態で運転してください。

ハードディスク(HD)が停止している状態で実施してください。

- (3) BU75RW/BU100RWの場合:「AC入力」プラグを抜き、バックアップ時間を測定してください。
BU200RW/BU300RWの場合:「AC入力」プラグを抜くか入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにし、バックアップ時間を測定してください。
バックアップ動作のまま本機が自動的に停止し、表示がすべて消えるまでの時間を測定します。

※ご購入後、はじめて測定したバックアップ時間が「バックアップ時間の初期値」となります。

5-2 バックアップ時間の目安

バックアップ時間は接続機器の容量により変化します。
接続機器の総容量を計算した後、バックアップ時間のグラフを参照し、バックアップ時間初期値の目安にしてください。(バッテリーの点検をする際も同様です)

- (1) 接続機器の総容量(消費電力)を、W(ワット)に統一します。
接続機器の表示はパソコン本体、ディスプレイ裏面を確認してください。
表示方法としては、VA(ボルト・アンペア)表示、A(アンペア)表示、W(ワット)表示の3種類があります。

- 例 1) AC100V, 50/60Hz, 145W
例 2) AC100V, 50/60Hz, 1.8A
例 3) AC100V, 50/60Hz, 150VA

表記	値
VA	$W=VA \times \text{力率}$
A	$W=A \times 100 \times \text{力率}$

VA、Aと表記されている機器の場合はWに換算してください。
換算方法は機器の表記に上表の値をかけてください。
(力率が不明な場合は“1”としてください。通常、力率は0.6~1の間の値です)

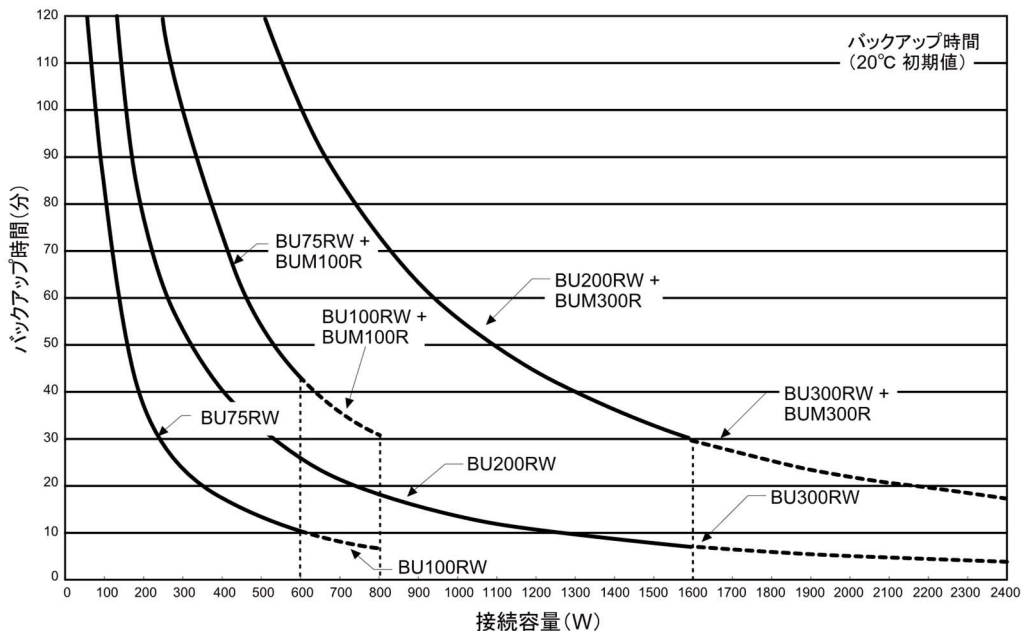
- (2) Wに換算した値を合計して、接続機器の総容量を求めてください。

5 バックアップ時間を測定する

5-2 バックアップ時間の目安

(3) 下記グラフから接続機器の総容量でのバックアップ時間初期値を算出してください。

- バックアップ時間グラフ(新品初期値 20°Cでの特性グラフです。)
 - 温度が低いとバックアップ時間は下記グラフ(表)の値より短くなります。
- バックアップ時間は、接続機器の容量が小さいと長くなります。



バックアップ時間表

時間単位:(分)

型式	接続容量(Watt)							
	20W	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W
BU75RW	250	150	85	36	23	18	13	10
BU75RW + BUM100R	860	520	320	170	100	75	50	44

型式	接続容量(Watt)									
	20W	50W	100W	200W	300W	400W	500W	600W	700W	800W
BU100RW	250	150	85	36	23	18	13	10	8.5	7
BU100RW + BUM100R	860	520	320	170	100	75	50	44	36	31

型式	接続容量(Watt)								
	100W	200W	400W	600W	800W	1000W	1200W	1400W	1600W
BU200RW	150	80	40	26	18	14	11	9	7
BU200RW + BUM300R	500	240	150	100	75	55	44	35	30

型式	接続容量(Watt)											
	200W	400W	600W	800W	1000W	1200W	1400W	1600W	1800W	2000W	2200W	2400W
BU300RW	80	40	26	18	14	11	9	7	6	5.3	4.5	4
BU300RW + BUM300R	240	150	100	75	55	44	35	30	26	23	20	18

※本バックアップ時間は、あくまでも参考値となります。バッテリーの寿命および外部環境(温度など)によって変わります。

6 保守・点検について

⚠ 警告

分解、修理、改造しないこと。

- 感電したり、火災を起こす危険があります。



接続機器の保守を行う場合は、BU75RW/BU100RWは必ず「電源」スイッチを切り「AC入力」プラグを抜いた状態で行うこと。

BU200RW/BU300RWは必ず「電源」スイッチを切り「AC入力」プラグを抜くか入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにした状態で行うこと。

- 本機の電源出力は、本機が運転状態のとき商用入力を停止しても出力は停止せず、コンセントから電力が供給されます。



バッテリー接続コネクタ、増設コネクタに金属物を挿入しないこと。

コネクタの端子間をショートしないこと。

- 感電するおそれがあります。



⚠ 注意（保守時）

本機を火の中に投棄しないこと。

- バッテリーを内蔵していますので、バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



本機の「電源出力」コンセントに金属物を挿入しないこと。

- 感電するおそれがあります。



内部から液体が漏れたら、液体にさわらないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



6-1 バッテリーの点検

本機に使用しているバッテリーは寿命があります。

（保存／使用環境・バックアップの頻度によって寿命は変わります。）

寿命末期に近づくほど急速に劣化が進みますのでご注意ください。

1. バッテリーの寿命（交換時期の目安）

周囲温度	バッテリー寿命	交換の目安
20℃	4～5年	使用開始から4～5年後
30℃	2～2.5年	使用開始から2年後

6 保守・点検について

6-2 バッテリーの交換

2. バッテリーの点検方法

バッテリーの点検方法は3種類あります。

- ・自己診断テストを行う。(「4-2 自己診断テストの説明」参照)
 - ・バッテリー自動テスト機能を使う。(「4-3 バッテリー自動テストの説明」参照)
 - ・バックアップ時間を測定する。(「5 バックアップ時間を測定する」参照)
- バックアップ時間を測定すると、より正確にバッテリー寿命を判定することができます。

参照▶ 「5-1 バックアップ時間の測定方法」に従いバックアップ時間を測定してください。

測定した値が「バックアップ時間の初期値」あるいは「5-2 バックアップ時間の目安」のグラフで求められる値の半分以下になった場合はバッテリーを交換してください。

- ・お客様で測定された「バックアップ時間の初期値」と現在のバックアップ時間を比較される場合、本機に接続する機器を初期値を測定した時と同一の容量にしないと正確に判定できません。

3. バッテリー点検(バックアップ時間の測定)の目安、頻度

周囲温度	6 か月ごとの点検	1 か月ごとの点検
20℃	購入から3年まで	3年以降
30℃	購入時から1.5年まで	1.5年以降

※ バッテリーは保管状態でも劣化が進行します。高温になるほど寿命は急速に短くなります。

6-2 バッテリーの交換

本機が運転停止(電源出力停止)状態や、運転中(電源出力中)のどちらでもバッテリーの交換ができます。

注意

本機をUL規格適合品としてご使用される場合は、運転(電源出力中)状態でのバッテリーの交換はしないでください。運転状態でのバッテリーの交換機能はUL規格に適合していません。かならず本機の運転を停止してバッテリーを交換してください。

※ 停止状態で交換される場合

BU75RW/BU100RW: 接続機器を停止後、本機の「電源」スイッチを切り「AC入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。

BU200RW/BU300RW: 接続機器を停止後、本機の「電源」スイッチを切り「AC入力」プラグを電源コンセントから抜くか入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにしてください。

※ 運転状態でのバッテリー交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。

※ バックアップ運転中にバッテリー交換をしないでください。出力が停止します。

警告

当社指定の交換バッテリー以外は使用しないこと。

- 指定以外の交換バッテリーの使用は、本機の故障、または発煙・発火のおそれがあります。
- 同じ種類、同じ数のバッテリーパックに交換してください。
- 商品型式: BU75RW/BU100RW 交換用バッテリーパック: BUB100R 1個
BU200RW/BU300RW 交換用バッテリーパック: BUB300R 1個



⚠ 注意(バッテリー交換時)

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、しっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ(酸)によるやけどなどの危険があります。



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になるおそれがあります。



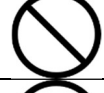
バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



新しいバッテリーと古いバッテリーを同時に使用しないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどのおそれがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- 感電、発火、やけどのおそれがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



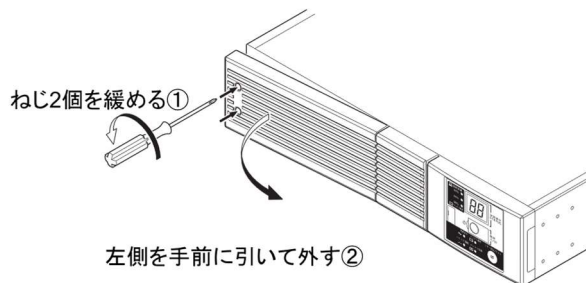
- この製品には、鉛バッテリーを使用しています。鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



■ バッテリーの交換方法

<BU75RW/BU100RW>

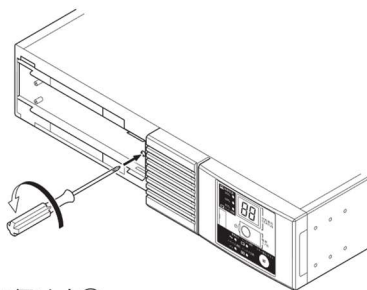
1. 本機のフロントパネル上側にあるねじ2個をドライバで反時計回りにねじが空回りするまで緩めます。(ねじはフロントパネルから外れない構造になっています。)①
フロントパネルを手前に引いて外します。②



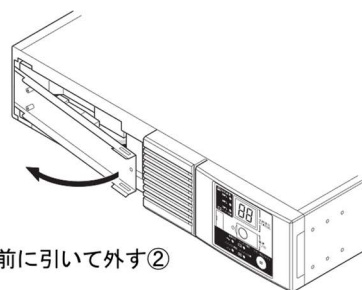
6 保守・点検について

6-2 バッテリーの交換

2. 板金カバーを止めてあるねじ1個を反時計回りに回して外します。①
板金カバーの右側を手前に引いて外します。②

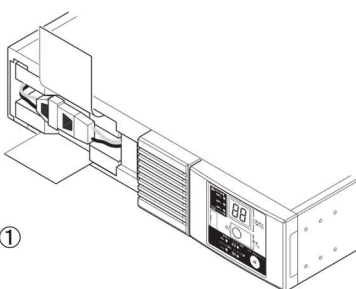


ねじ1個外す①

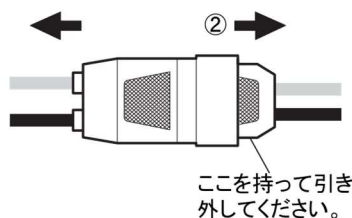


右手前に引いて外す②

3. バッテリーコネクタを取り①、コネクタの接続を外します。②



①



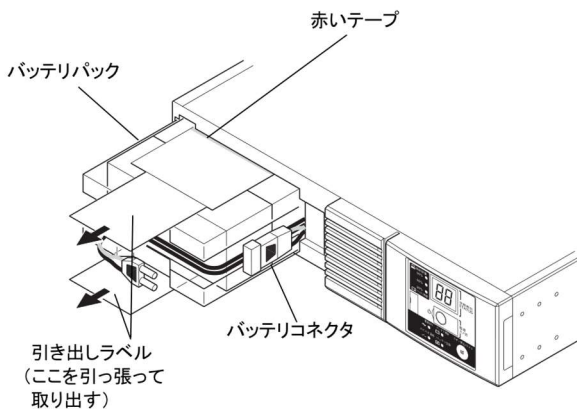
4. バッテリーパック上下の引き出しラベルを持って、バッテリーパックを取り出します。



注意

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと 10cm でバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーをしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。

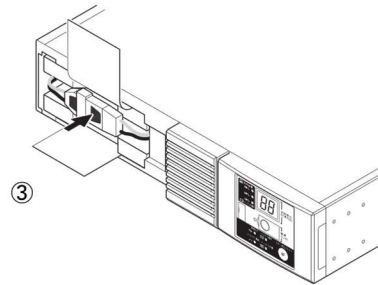
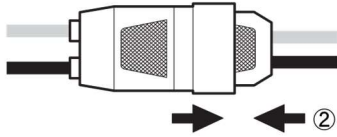


5. 新しいバッテリーを傾けないように真っ直ぐ本機の奥まで挿入し、収納します。①

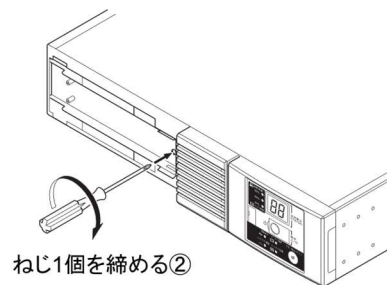
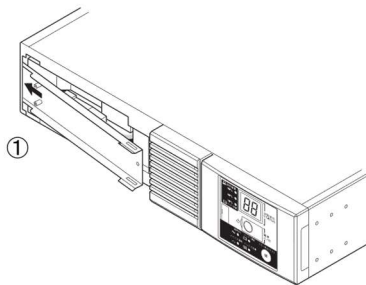
●交換用バッテリーパック

BU75RW/BU100RW 用： 型式名 BUB100R

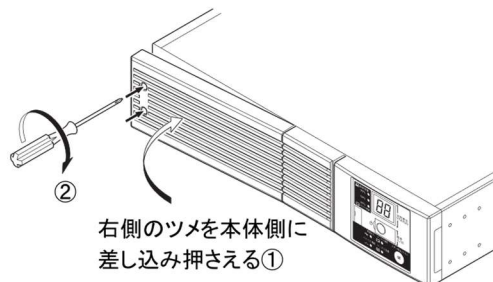
コネクタを止まるまで差し込みます。②
本体に収納します。③



6. 板金カバーを取り付けます。
板金カバー左側のツメを BU75RW/BU100RW 内側の穴に差し込んだ後①、
BU75RW/BU100RW 側へ押さえます。
板金カバー右側を外したねじ 1 個でしっかりと締め付けます。



7. フロントパネルを取り付けます。
フロントパネル右側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。①
フロントパネル左側にあるねじ 2 個をドライバで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



以上でバッテリー交換は完了です。

6 保守・点検について

6-2 バッテリーの交換

<運転状態のまま交換した後は…>

交換前に「バッテリー交換」表示、ブザーが鳴動していた場合は、「ブザー停止/テスト」スイッチをまず一回押し、ブザー音を停止させ、さらにスイッチを 5 秒～9 秒間押し、自己診断テストを実施してください。約 10 秒のテスト完了後に表示・ブザーが停止し、正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は…>

「AC入力」プラグを商用電源に接続し、本機の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。



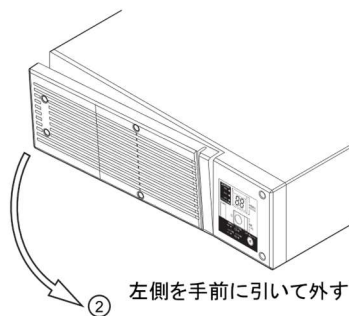
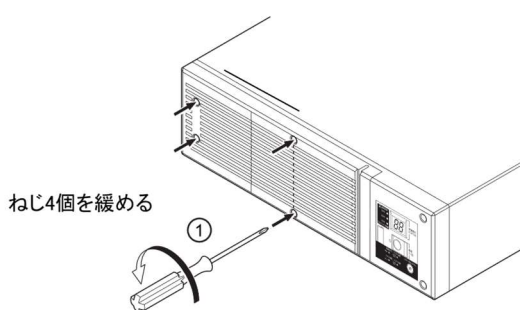
付属のバッテリー使用開始日シールに使用開始時期を記入し、本体に貼付してください。
なお、自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

- 交換済みの不要バッテリーはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。ホームページのリプレイスサービスをご参照ください。
https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/accountportal.html

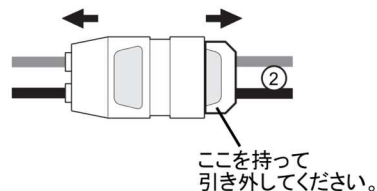
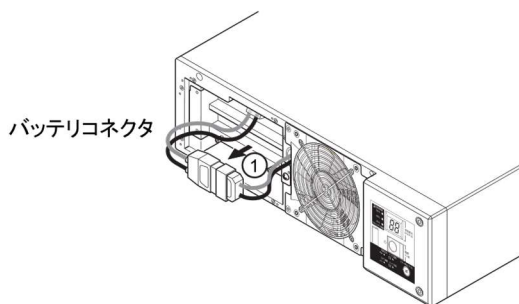
■ バッテリーの交換方法

<BU200RWBU300RW>

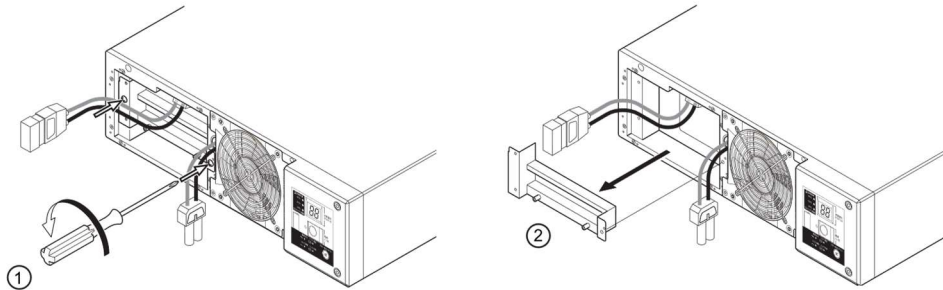
1. 本機のフロントパネル上側にあるねじ 4 個をドライバで反時計回りにねじが空回りするまで緩めます。(ねじはフロントパネルから外れない構造になっています。)①
フロントパネルの左側を手前に外します。②



2. 板金カバーからバッテリーコネクタを取り①、コネクタの接続を引き外します。②



3. 板金カバーを止めてある左右のねじ2個を反時計回りに回して外します。①
板金カバーの右側を手前に引きながら外します。②



①

ねじ2個を外す

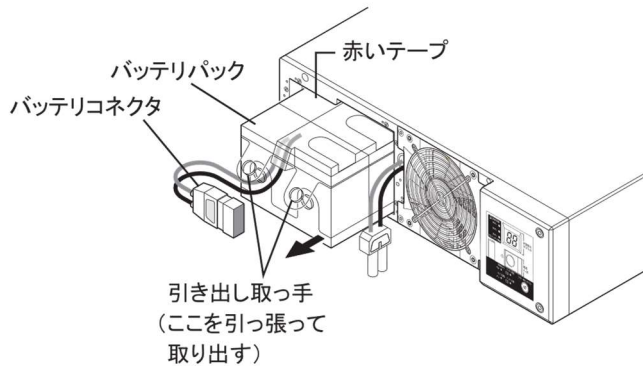
②

4. バッテリーパック下段の引き出しラベルを持って、バッテリーパックを取り出します。

**注意**

バッテリーパックのコネクタ、ケーブルを持たないこと。

バッテリーパック天面に貼ってある赤いテープが見えたら、あと10cmでバッテリーが完全に取り出せます。バッテリーを両手でしっかりと持ち、バッテリーを落とさないよう注意してください。



6 保守・点検について

6-2 バッテリーの交換

5. 新しいバッテリーを本機の奥まで挿入し、収納します。①

●交換用バッテリーパック

BU200RW BU300RW 用:型式名 BUB300R

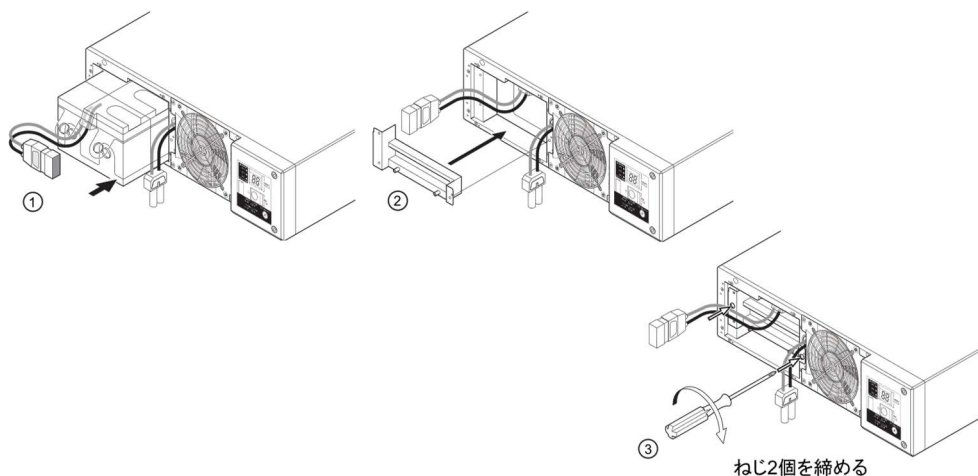
板金カバーを取り付けます。②

外したねじ 2 個をドライバで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。③

右側のねじから先に固定してください。

左側のねじが締めやすくなります。

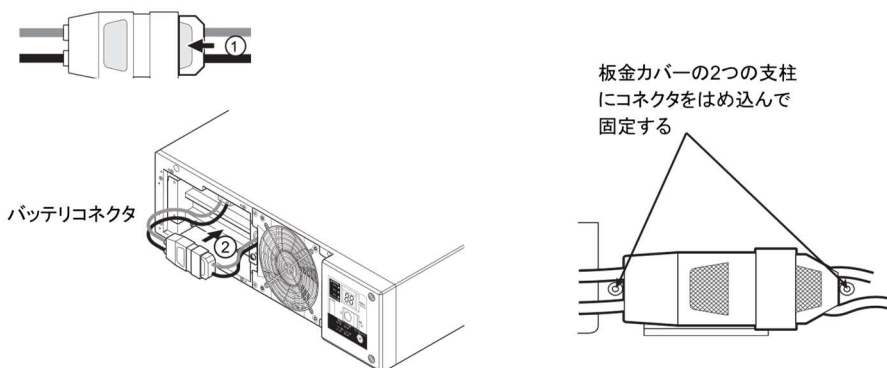
このとき、板金カバーでケーブルを挟まないように注意してください。



6. コネクタを止まるまで差し込みます。①

コネクタを板金カバーに固定します。②

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“パチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

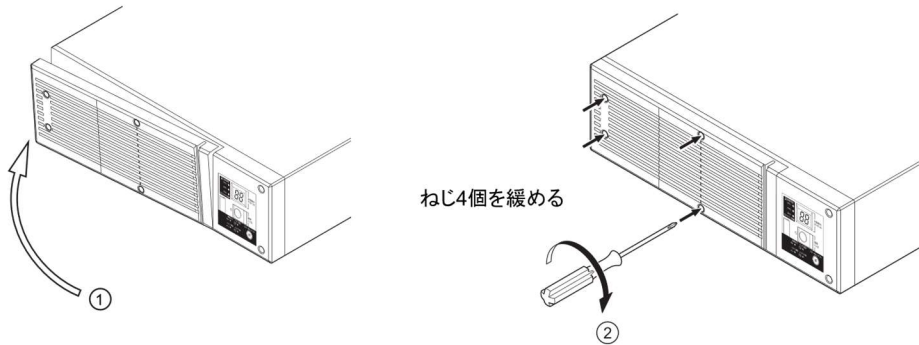


板金カバーに固定できない場合はコネクタが完全に差し込まれていません。再度、コネクタを差し込みなおしてください。

7. フロントパネルを取り付けます。

フロントパネル右側のツメを本体側の穴に差し込んだ後、本体側へ押さえます。①

フロントパネル上側にあるねじ4個をドライバで時計回りに回し、しっかりと締め付けます。②



以上でバッテリー交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

交換前に「バッテリー交換」表示、ブザーが鳴動していた場合は、「ブザー停止／テスト」スイッチをまず一回押してブザー音を停止させ、さらにスイッチを5~9秒間押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト完了後に表示・ブザーが停止し、正常運転に戻ります。

<運転を停止して交換した後は・・・>

「AC入力」プラグを商用電源に接続し、本機の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。



付属のバッテリー使用開始日シールに使用開始時期を記入し、本体に貼付してください。なお、自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

- 交換済みの不要バッテリーはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。ホームページのリプレイスサービスをご参照ください。
https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/accountportal.html

6 保守・点検について

6-3 ファンの交換

6-3 ファンの交換

本機に使用しているファンには寿命があります。ファンの期待寿命は約5年です。
状態表示「EF」が点滅しファンが停止している場合は、ファンの交換を行ってください。

⚠ 注意

本製品を UL 規格適合品としてご使用になる場合は、ファン交換を行わないこと。

- ファン交換機能は UL 規格に適合していません。

本製品は運転中(電源出力中)の状態でもファン交換できます。

停止(電源出力停止)状態でも交換できます。お客様のご都合の良い方法で交換を行ってください。

- * 運転状態でファンが停止している、または外された場合、状態表示「EF」ランプが点滅し、ブザーが連続で鳴り、バイパス運転にて出力を供給します。
この状態で停電など入力電源に異常が発生した場合、バックアップ運転をせずに停止します。
- * バックアップ中にファンの交換を行わないでください。
本機が停止します。

■ファン交換時のご注意

⚠ 警告

ファンの収納口から金属物を入れないこと。

- 感電、ショートのおそれがあります。



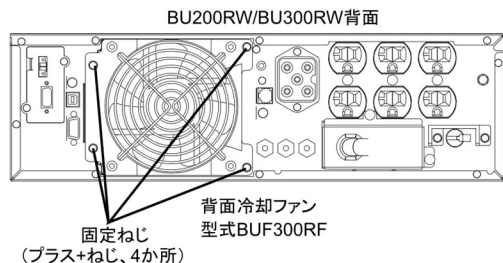
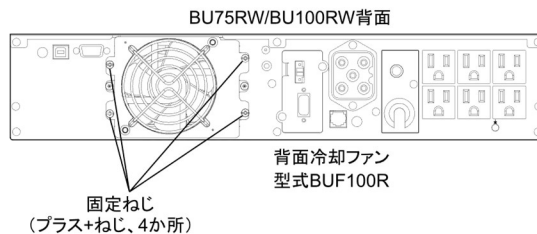
ファンに指を入れないこと。

- 商用電源を接続すると、「電源」スイッチが OFF でもファンが回転します。
- けがををするおそれがあります。

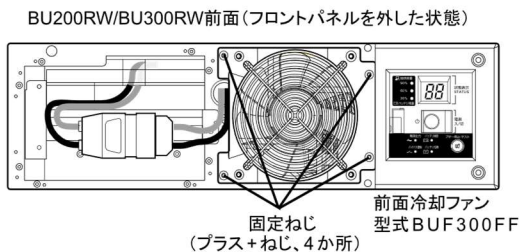


異常が発生しているファンを確認してください。

(ファンが回転していない、異音がする、振動している、ファンがカバーと接触しているなど)



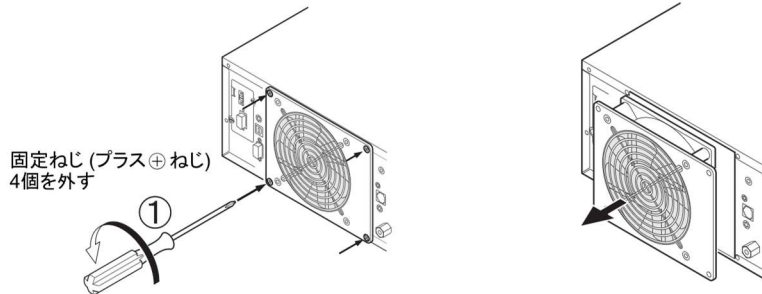
- BU75RW/BU100RW:
背面ファンのみ。前面ファンはありません。
- BU200RW/BU300RW:
前面と背面にファンがあります。



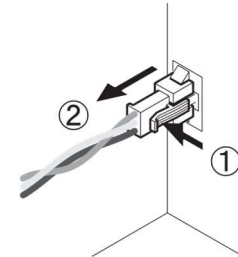
■ファンの交換方法

1. 「冷却ファン」を固定しているねじ 4 個をドライバで反時計回りに回し、外します。①
(図は BU200RW/BU300RW 背面ファン)

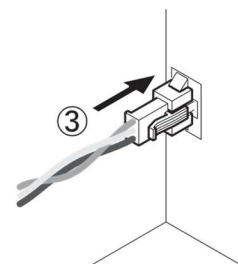
参照 6-3 ファンの交換 ■ファン交換時のご注意



2. ファンのコネクタにある爪を押しながら①、手前へ引き外します。②
ブザーが鳴り、バイパス運転に切り替わります。



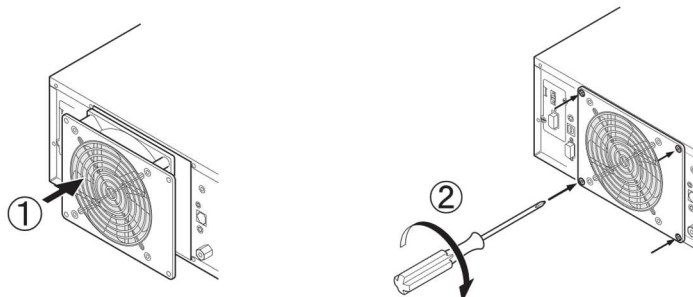
3. 新しいファンのコネクタを「カチッ」と止まるまで差し込んでください。③
ブザーが止まり、状態表示「EF」ランプが消灯します。



●交換用ファン

- ・BU75RW/BU100RW 背面用: 型式名 BUF100R
- BU200RW/BU300RW 背面用: 型式名 BUF300RF
- BU200RW/BU300RW 前面用: 型式名 BUF300FF

4. ファンを本体の収納口に装着します。①
外したねじ(前面、背面ファンともに 4 個)をドライバで時計回りに回し、しっかり締め付けてください。②
この時、ケーブルをファンのカバーで挟まないように注意してください。



以上でファン交換は完了です。

6 保守・点検について

6-4 本体のお手入れ方法

6-4 本体のお手入れ方法

1. 本機の汚れを落とす

柔らかい布に水または洗剤を含ませ固く絞り、軽く拭いてください。

シンナー、ベンジンなどの薬品は使用しないでください。(変形、変色の原因になります)

2. 本機の「AC入力」プラグ、「電源出力」コンセントのほこりを取り除く

接続機器および本機をすべて停止し「AC入力」プラグを、電源コンセント(商用電源)から抜いてください。

その後乾いた布でほこりをはらい、再度接続を行ってください。

(接続方法が分からなくなった時)

参照 「2-3 機器の接続方法」

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

※自動シャットダウンソフト、信号入出力を使用されない場合は本項は不要です。

■自動シャットダウンソフト

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro(Windows/Linux 用)」、「UPS サービスドライバ(Windows 用)」および「UPS Power Manager(Mac 用)」を用途に応じていずれかをお選びください。OS の対応状況は、下表をご参照ください。

●自動シャットダウンソフト対応状況

型式	使用 OS	通信方式	シャットダウンソフト	必要な別売オプション	参照
BU75RW BU100RW BU200RW BU300RW	Windows Vista	シリアル (RS-232C または USB1.1)	PowerAct Pro(注 1)	-	⇒7-1 項参照
	Windows server2003 X64 Edition Windows XP/2000 X64 Edition	シリアル (RS-232C または USB1.1)	PowerAct Pro(注 1)	-	⇒7-1 項参照
			UPS サービス (OS 標準) + UPS サービスドライバ	-	⇒7-2 項参照
		接点信号(注 2)(注 4)	UPS サービス (OS 標準)	BUC26	⇒7-3 項参照
		LAN	SNMP/Web カード用 シャットダウンソフト	SC20G2	⇒8-1 項参照
	Windows server2003 Windows XP/2000	シリアル (RS-232C または USB1.1)	PowerAct Pro(注 1)	-	⇒7-1 項参照
			UPS サービス (OS 標準) + UPS サービスドライバ	-	⇒7-2 項参照
		接点信号(注 2)(注 4)	UPS サービス (OS 標準)	BUC26	⇒7-3 項参照
		LAN	SNMP/Web カード用 シャットダウンソフト	SC20G2	⇒8-1 項参照
	Windows NT 4.0	接点信号(注 2)(注 3)	UPS サービス (OS 標準)	BUC26	⇒7-3 項参照
		LAN	SNMP/Web カード用 シャットダウンソフト	SC20G2	⇒8-1 項参照
	Windows Me/98	シリアル (RS-232C または USB1.1)	PowerAct Pro(注 1)	-	⇒7-1 項参照
Linux(注 2)	シリアル (RS-232C または USB1.1)	PowerAct Pro(注 1)	-	⇒7-1 項参照	
	LAN	SNMP/Web カード用 シャットダウンソフト	SC20G2	⇒8-1 項参照	
Mac OS X (10.3、10.4) Mac OS X Server (10.3、10.4)	シリアル (USB1.1)	UPS Power Manager (注 5)	-	⇒7-1 項参照	
	LAN	SNMP/Web カード用 シャットダウンソフト	SC20G2	⇒8-1 項参照	

注 1 最新版は当社ホームページ (https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/) からダウンロードすることが可能です。

注 2 ファイルの自動保存は出来ません。

注 3 本機を自動停止させるには、パソコンの BIOS 設定変更が必要な場合があります。

OS シャットダウン後パソコンの電源が切れてしまわないように、パソコンの BIOS 設定をしてください。

注 4 本機は、バッテリーがなくなった時に自動停止します。

注 5 Power PC CPU 搭載の Macintosh コンピュータにのみ対応しています。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

●自動シャットダウンソフト機能一覧表

●標準対応 ○オプション対応 ▲一部制限あり

機能	ソフト名称	一般用途 (単機能、スタンドアロン)			ネットワーク管理用途 (高機能、ネットワーク 対応)	SNMP 管理用途 (高機能、ネットワ ーク対応)
		UPS サービス ドライバ	OS 標準 UPS サービス	UPS Power Manager(*5)	PowerAct Pro	SNMP/Web カード
	必要な別売オプション	—	接続ケーブル BUC26	—	—	SNMP/Web カード SC20G2
対応 OS	Windows Vista	—	—	—	●	—
	Windows Server 2003 x64 Edition	●	○	—	●	—
	Windows XP x64 Edition	—	—	—	—	—
	Windows Server 2003 Windows XP/2000	●	○	—	●	○
	Windows NT4.0	—	○	—	—	○
	Windows Me/98	—	—	—	●	○
	Linux	—	—	—	●	○
	Mac OS X v10.4/Server V10.4 Mac OS X v10.3/Server v10.3	—	—	●	—	○
ソフト 機能	自動シャットダウン	●	▲(*1)	●	●	○
	UPS モニタリング(動作状態)	●	○	●	●	○
	UPS モニタリング(データ)	▲(*2)	—	●	●	○
	ポップアップ通知	●	○	●	●	○
	OS を休止状態で終了(*3)	●	—	—	●	—
	自動ファイル保存(*3)	●	—	—	●	—
	スケジュール運転	—	—	●	●	○
	UPS の設定変更	—	—	●	●	○
	外部コマンド実行	●	○	●	●	○
	イベントログ保存	—	—	●	●	○
	データログ保存	—	—	●	●	○
	連携シャットダウン	—	—	—	●	○
	出力コンセント制御	—	—	●	●	○
	冗長電源対応	—	—	—	●	—
	リモートでの UPS 管理	—	—	—	●	○
	メール送信	—	—	—	●	○
	SNMP 管理	—	—	—	—	○
	Telnet 接続	—	—	—	—	○
SYSLOG 対応	—	—	—	●	○	

*1) 最新情報は当社のホームページをご覧ください。

https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/

*2) ファイルの自動保存は出来ません。

*3) 本機を自動停止させるには、パソコンの BIOS 設定変更が必要な場合があります。

OS シャットダウン後パソコンの電源が切れてしまわないように、パソコンの BIOS 設定をしてください。

*4) 本機は、バッテリーがなくなった時に自動停止します。

*5) PowerPC CPU 搭載の Macintosh コンピュータのみ対応しています。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

【ソフト機能の解説】

1	自動シャットダウン	電源異常発生時、コンピュータを自動シャットダウンできます。
2	UPSモニタリング (動作状態)	UPSの動作状態(商用運転中/バックアップ運転中)をモニタリングできます。
3	UPSモニタリング (データ)	入出力電圧値、接続容量、バッテリー容量などのデータをモニタリングできます。
4	ポップアップ通知	停電などの異常発生時、ポップアップウィンドウで異常内容を通知させることができます。
5	OSを休止状態で終了	コンピュータを休止状態で終了できます。休止状態では終了時の作業状態を保持するため、作業内容が失われません。
6	自動ファイル保存	シャットダウン時に、作業中のワード、エクセルなどのファイルを自動保存します。
7	スケジュール運転	UPSの停止/起動をスケジュール設定できます。
8	UPSの設定変更	UPSの設定(ブザーON/OFF設定など)を変更することができます。 (設定可能項目はUPSにより異なります)
9	外部コマンド実行	シャットダウン時にコマンドを実行することで、アプリケーションプログラムなどを起動させることができます。
10	イベントログ保存	UPSで発生したイベント情報(電源異常、設定変更、故障発生など)をログ保存します。
11	データログ保存	入出力電圧値、接続容量などのデータを一定間隔(設定可能)でログ保存します。
12	連携シャットダウン	電源異常発生時、UPSに接続された複数台のコンピュータを連携してシャットダウンできます。
13	出力コンセント制御	UPSの出力コンセントを個別にON/OFFすることが可能。
14	冗長電源対応	冗長電源を搭載したコンピュータに2台以上のUPSを接続することができます。 電源異常が片方のみの時はシャットダウンを行わず、両方のUPSで電源異常が発生した時のみシャットダウンさせるので、システムの稼働率を高めます。
15	リモートでの UPS管理	ネットワーク上のコンピュータからリモートでUPSを管理することができます。
16	メール送信	停電などの異常発生時、システム管理者にメールで異常内容を通知させることができます。
17	SNMP管理	UPSの管理情報をSNMPマネージャに送信することができます。
18	Telnet接続	Telnet接続でシャットダウンパラメータなどの設定を行うことができます。
19	SYSLOG対応	UPSの管理情報をSYSLOGで記録することができます。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

●PowerAct Pro【Windows/Linux 用自動シャットダウンソフト】を利用する場合

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」について

自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご利用になると、停電時に自動的にファイルの保存、コンピュータの終了処理を行うことができます。

(ネットワーク上の複数台のコンピュータの終了処理が可能です。)

またスケジュール設定によるバックアップ運転の自動起動、停止など、お客様のご要望にあわせた運用を行うことができます。

*ただし停電発生からコンピュータの終了までの時間は「5-1 バックアップ時間の測定方法」で測定したバックアップ時間内に完了するようにしてください。

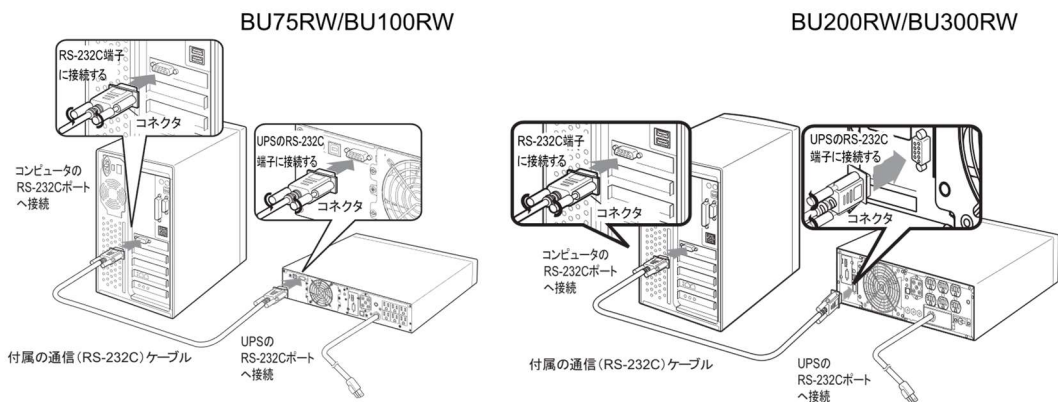
詳細の説明および動作は自動シャットダウンソフトの取扱説明書、オンラインヘルプをご覧ください。

7-1-1 本機とコンピュータを接続する。

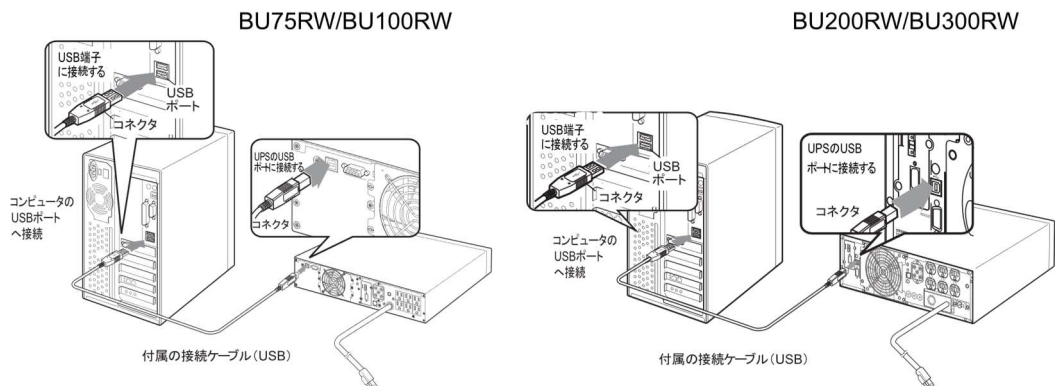
使用ケーブル: 付属の接続ケーブル (RS-232C または USB)

※RS-232C と USB の同時使用はできません。

<RS-232C 接続>



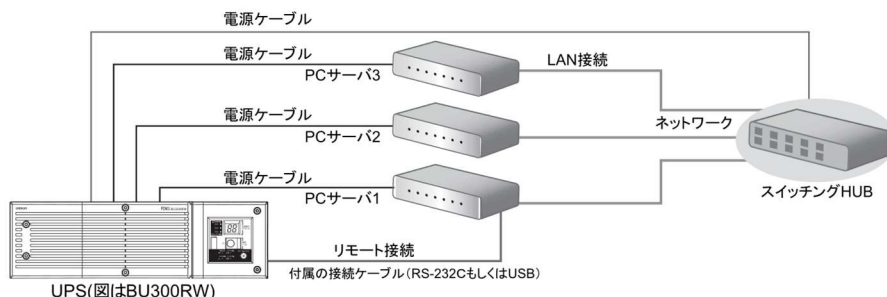
<USB 接続>



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

※本機に2台以上のコンピュータを接続する場合



7-1-2 シャットダウンさせたいすべてのコンピュータに自動シャットダウンソフトをインストールする。

インストールソフト:「PowerAct Pro」

インストール方法: 詳細は以下のホームページからダウンロードしてご使用ください。

最新の対応状況につきましては、以下のホームページをご参照ください。

URL: https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html

●UPS Power Manager [Mac用シャットダウンソフト]を利用する場合

Mac対応自動シャットダウンソフト「UPS Power Manager」について

自動シャットダウンソフト「UPS Power Manager」をご利用になると、Macintoshコンピュータをご使用の場合でも、停電などの入力電源異常時にシステムの終了処理を自動で行うことができます。

1. 本機とコンピュータを接続する。

使用ケーブル: 付属の USB 通信ケーブル

※本機にコンピュータ1台のみ接続可能です。

2. 自動シャットダウンソフトをコンピュータにインストールする。

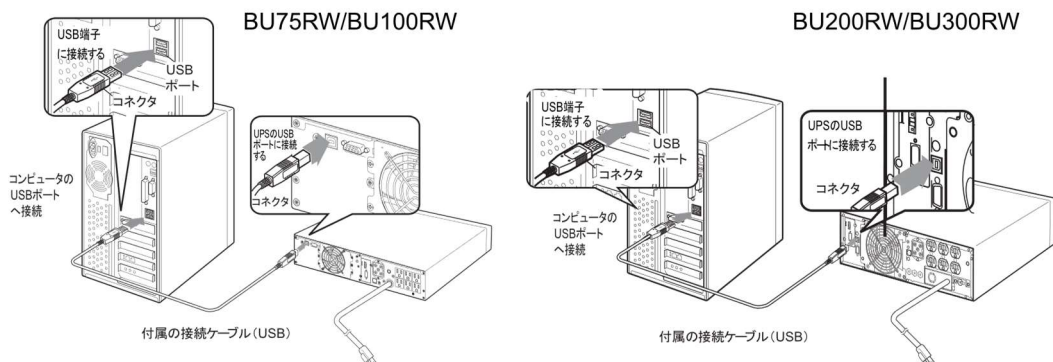
インストールソフト:「UPS Power Manager」

インストール方法: 詳細は以下のホームページからダウンロードしてご使用ください。

最新の対応状況につきましては、以下のホームページをご参照ください。

URL: https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html

<USB 接続>



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-1 自動シャットダウンソフトを利用する場合

解説

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転について

- 本機を停止すると同時にブレーカーなどを使用し、商用電源を停止するスケジュール運転を行う場合、次の運転開始までの期間を3か月以内に設定してください。
3か月を超える場合、内部のタイマーがリセットされ、スケジュールによる運転開始は行いません。
またこの期間はバッテリーが寿命になると約半分になります。
3か月を超えた場合、商用電源を供給し、「運転」スイッチを押すことで運転を開始しますが、バッテリーが寿命となった場合、運転を開始できないことがあります。
この場合は、「6-2 バッテリーの交換」に従いバッテリー交換を行ってください。

自動シャットダウンソフトによるスケジュール運転時の運転開始について

- スケジュール運転によって本機が停止している状態で本機を手動で起動する場合には、「電源」スイッチをいったんOFFして、再度ONしてください。
また運転中の本機を停止する場合は、「電源」スイッチをOFFすることにより、停止します。

自動シャットダウンソフトによるOS終了処理後の自動再起動について

- 特定のパソコン*1にて、停電時に自動シャットダウンによるOSの終了処理完了直後にパソコンが自動的に再起動する現象が発生します。
この場合、パソコンの再起動中または起動後に本機が停止し、ファイルやハードディスクを破壊するおそれがあります。
この現象は、パソコンのBIOS設定内のPOWER MANAGEMENTをDisable(無効)にすることにより回避できます。

*1) 特定のパソコン: MICRON 製 Millennia Mmeにてこの現象が確認されています。

OSのシャットダウン後、“本機を自動停止させる設定”にしている場合の注意事項

- 停電が発生し自動シャットダウン処理実行中に復電した場合でも、設定時間経過後に本機の出力は一旦停止してしまいます。シャットダウン処理終了後、本機の再起動が完了するまでパソコンの電源を入れないでください。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-2 Windows Server2003/XP/2000のUPSサービス+UPSサービスドライバによる自動退避処理をする場合

7-2 Windows Server2003/XP/2000のUPSサービス+UPSサービスドライバによる自動退避処理をする場合

「UPSサービスドライバ」をご利用になると、Windows Server2003/XP/2000のOS標準UPSサービスをご利用いただけます。停電時に自動的にファイルの保存、コンピュータの終了処理を行うことができます。

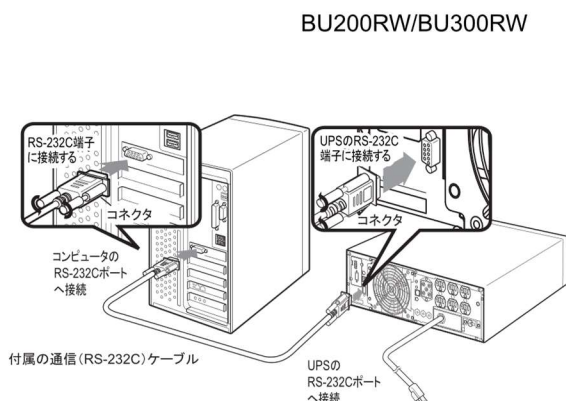
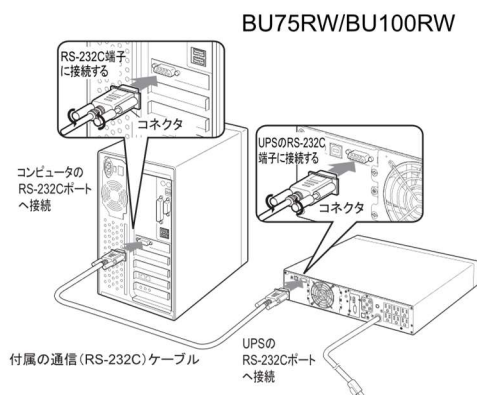
7-2-1 本機とコンピュータを接続する。

※本機にコンピュータ1台のみ接続可能です。

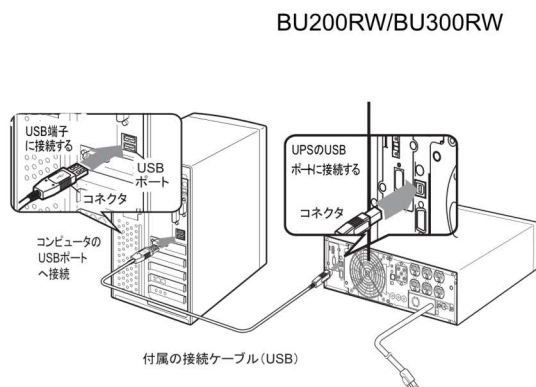
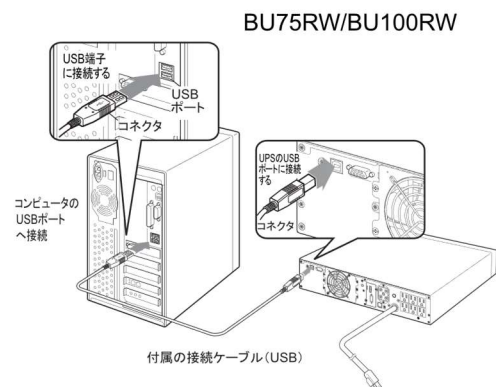
使用ケーブル: 付属の接続ケーブル (RS-232CまたはUSB)

※RS-232CとUSBの同時使用はできません。

<RS-232C 接続>



<USB 接続>



7-2-2 「UPS サービスドライバ」をコンピュータにインストールする。

インストールソフト: 「UPS サービスドライバ」

インストール方法: 以下のホームページからダウンロードしてご使用ください。

最新の対応状況につきましては、以下のホームページをご参照ください。

URL: https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/product/soft/soft.html

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

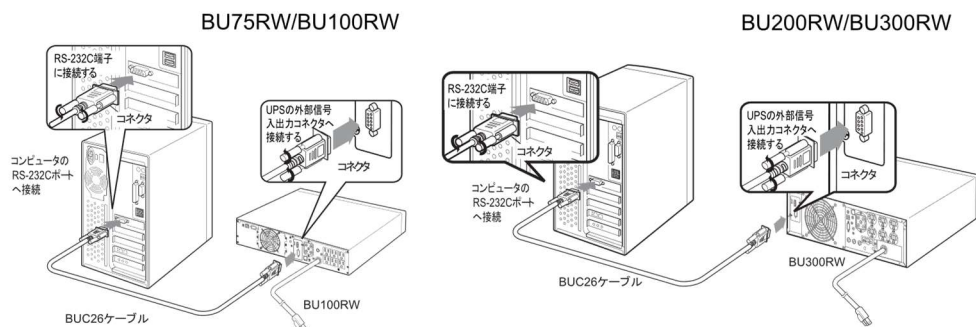
7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT標準の UPSサービスによる自動退避処理をする場合

別売ケーブルBUC26をあわせてご使用になると、Windows Server2003/XP/2000/NTのOS標準UPSサービスをご利用いただけます。停電時にコンピュータの終了処理を行うことができます。

7-3-1 本機とコンピュータを接続する。

使用ケーブル: 別売の接続ケーブル(BUC26)

※本機にコンピュータ 1 台のみ接続可能です。



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

7-3-2 UPSサービスのセットアップを行う。

自動シャットダウンさせるにはWindowsの設定を行う必要があります。
ソフトのインストール作業は必要ありません。

<Windows Server2003/XP/2000標準UPSサービスを使用したい場合>

パソコンと本機を接続後、パソコンを起動します。

“Windowsへのログオン”はAdministratorで行ってください。

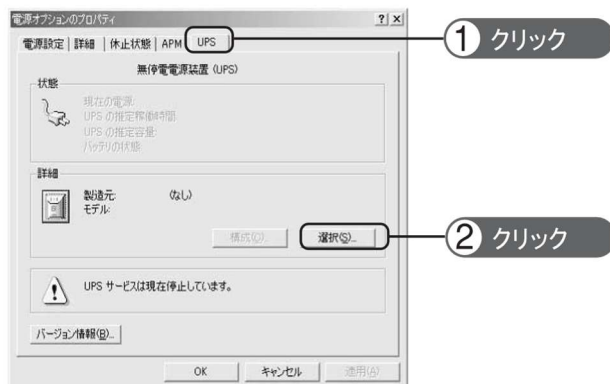
ログオン完了後、以下の手順にしたがってUPSサービスのセットアップを行ってください。

●UPSサービスのセットアップ方法(バッテリーの容量低下を検出し、Windowsをシャットダウンする場合)

1) コントロールパネル内の“電源オプション”アイコンをダブルクリックします。

2) 電源オプションのウインドウ内の“UPS”タブをクリックします。

“選択(S)”ボタンをクリックします。

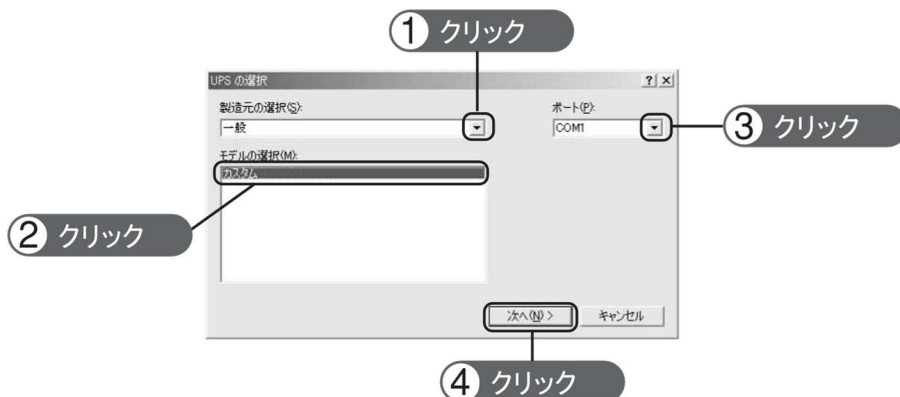


3) “製造元の選択(S)”ウインドウの右横のボタンをクリックし、一覧の中から“一般”をクリックします。

“モデルの選択(M)”ウインドウ内の“カスタム”をクリックします。

“ポート(P)”ウインドウの右横のボタンをクリックし、一覧の中から本機を接続されているポートをクリックします。(画面例は COM1 に本機を接続している場合です。)

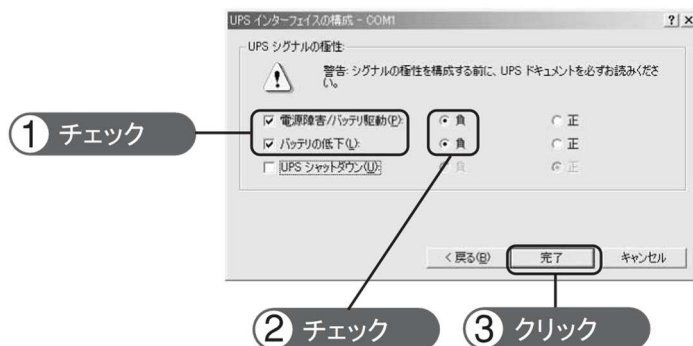
“次へ(N)>”ボタンをクリックします。



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

- 4) UPS シグナルの極性枠内の“電源障害/バッテリー駆動(P)”、“バッテリーの低下(L)”の各信号項目の左の欄をクリックしチェックマークをつけます。
各信号の極性を“負”に設定します。“完了”ボタンをクリックします。



- 5) 電源オプションのウィンドウ内の“OK”ボタンをクリックします。
これでセットアップは完了です。



停電が発生した場合、本機のバッテリー容量低下信号を検出してから、Windowsのシャットダウンを開始します。

なお、本機のバッテリー容量低下信号を検出する前に停電が回復した場合には、Windowsのシャットダウンは開始されず、通常の監視状態に戻ります。

本機の停止

Windows Vista/Windows Server2003/XP/2000のUPSサービスでは本機を停止する機能はありません。Windowsシャットダウン後に本機の「電源」スイッチを手動で切ってください。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

●UPS サービスのセットアップ方法(時間を設定し、Windows をシャットダウンする場合)

1) 前項のセットアップ完了後、電源オプションのウインドウ内の“構成(C)”ボタンをクリックします。



2) 警告枠内の“バッテリー駆動開始から警告を発生するまでの時間(M)”の左欄をクリックしチェックマークをつけます。

左端ウインドウ内に停電が発生してから Windows のシャットダウンを開始するまでの時間を設定します。(設定範囲 2~720 分)

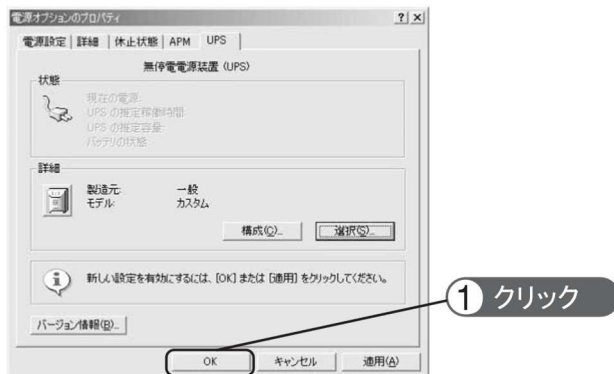
“OK”ボタンをクリックします。



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

- 3) 電源オプションのウィンドウ内の“OK”ボタンをクリックします。
これでセットアップは完了です。



停電が発生した場合、設定した時間経過後、または本機のバッテリー電圧低下信号を検出してから、Windows のシャットダウンを開始します。
設定時間を経過する前に停電が回復した場合には、Windows のシャットダウンは開始されず、通常の監視状態に戻ります。

<WindowsNT 標準 UPS サービスを使用したい場合>

●UPS サービスのセットアップ方法

- 1) コントロールパネル内の“UPS”アイコンをダブルクリックします。
- 2) UPS がインストールされているポート(U)…の左のチェック欄をクリックしチェックマークをつけます。
設定欄は本機を接続したシリアルポート(COM1~4)の番号を選択してください。
- 3) バッテリーの容量低下を検出し、Windows をシャットダウンする場合、無停電電源の構成枠内の電源障害信号(P)、バッテリー容量低下信号(L)、リモート無停電電源シャットダウン(R)の各信号項目左のチェック欄をクリックし、チェックマークをつけます。

バッテリー容量低下を検出し、Windows をシャットダウンする場合の設定



各信号のインタフェース電圧の設定を下記の通り設定します。

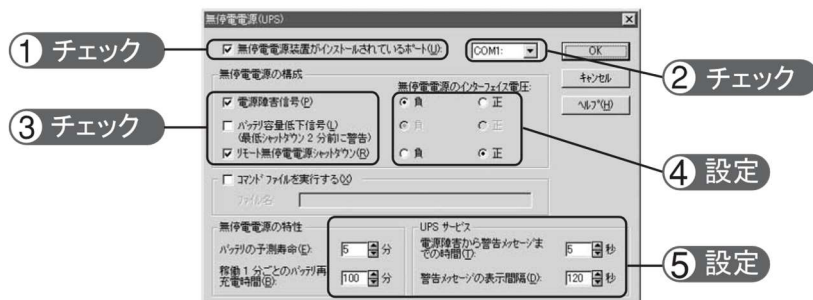
- ・電源障害信号(P)..... 負
- ・バッテリー容量低下信号(L)..... 負
- ・リモート無停電電源シャットダウン(R)..... 正

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-3 Windows Server2003/XP/2000/NT 標準の UPS サービスによる自動退避処理をする場合

4) 時間を設定し、Windows をシャットダウンする場合、電源障害信号(P)、リモート無停電電源シャットダウン(R)の各信号項目左側のチェック欄をクリックし、チェックマークをつけます。

時間を設定し、量低下を検出し、Windows をシャットダウンする場合の設定



各信号のインターフェイス電圧の設定を下記の通り設定します。

- ・電源障害信号(P)..... 負
- ・リモート無停電電源シャットダウン(R)..... 正

お願い

インターフェイス電圧の信号設定を間違えると WindowsNT が本機からの信号を受け取れない、または停電時に本機が停止しなくなりますのでご注意ください。
チェックマークをチェックしていない場合も同様です。

5) 設定後コントロールパネル内の“サービス”アイコンをダブルクリックします。

6) UPS サービスを指定し「開始」ボタンをクリックしてください。



UPSサービスは、Alerterサービス、Messengerサービスをあらかじめ開始しておくことで、停電などのイベント発生時にユーザ警告メッセージ、およびその履歴の記録を行えます。

停電が発生した時、バッテリー容量低下信号を検知してから、Windowsのシャットダウンが実行されます。バッテリー容量低下信号を検知する前に、停電が回復した場合は、Windowsのシャットダウンは実行されず、通常の監視状態に戻ります。

7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-4 接点信号入出力の詳細

7-4 接点信号入出力の詳細

接点信号入出力について

下記仕様にあわせてお客様が独自にシステムを開発されることで、停電時の処理を自動化できます。バックアップ信号をシステムで検知し、停電処理や、バッテリー容量低下信号をシステムで検知してシステムの終了処理をおこなえます。また、システムからバックアップ停止信号を入力することにより、バッテリーに余力を残した状態で本機を停止し、次の停電発生に備えることができます。

7-4-1 信号出力の種類

本機は4種類の信号出力を持っています。出力回路はフォトカプラを使用した無電圧出力のオープンコレクタ回路(一種の電子スイッチ)になっています。

●バックアップ信号出力(BU)

停電中に継続して BU は ON になります。

BU-COM	停電時 ON
--------	--------

●バッテリー容量低下信号出力(BL)

バックアップ運転時でバッテリーの残量が少なくなった時に ON になります。

BL-COM	バッテリー Low 時 ON
--------	----------------

●トラブル信号出力(TR)

本機の内部異常発生時に ON になります。

TR-COM	異常時 ON
--------	--------

●バッテリー交換信号出力(WB)

バッテリーが劣化し、交換が必要なことをテストで検出した時に ON になります。

WB-COM	バッテリー劣化検出時 ON
--------	---------------

7-4-2 信号入力の種類

●バックアップ停止信号(BS)

「電源出力停止遅延時間設定」で設定された時間を経過した後、本機の出力を停止します。

BS-COM	UPS 停止
--------	--------

- (1)「BS 信号の有効範囲設定」(設定スイッチ S_5)を OFF に設定している時
外部から 10 秒以上継続する電圧信号(High)を入力することで、本機の出力を停止できます。
- (2)「BS 信号の有効範囲設定」(設定スイッチ S_5)を ON に設定している時
外部から 0.01 秒(10 ミリ秒)以上継続する電圧信号(High)を入力することで、バックアップ中のみ停止信号を受け付け電源出力を停止できます。
参照 ▶ 「4-4-1 設定スイッチの変更」
「4-4-2 本機動作モード設定」

●リモート ON/OFF 信号

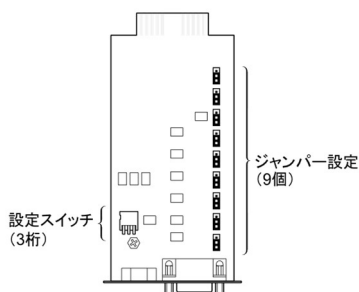
外部に接続した接点、あるいはオープンコレクタ回路の ON/OFF の状態より、本機の運転、停止が行えます。この機能を使用するには本機の「電源」スイッチを入れておく必要があります。

外部接点	動作
オープン	運転
クローズ	停止

(注:コールドスタートが ON 設定であっても、AC 入力電源が無い状態ではリモート ON/OFF 信号で本機を起動することはできません。)

接続端子は接点信号入出力コネクタのピン番号 6-7 とリモート ON/OFF 専用コネクタの 2 か所あります。用途に応じてどちらかご使用ください。

7-4-3 接点信号入出力カードで設定できる項目



■設定スイッチ

設定スイッチ変更後は下記の操作を実行してください

設定スイッチ変更後は、UPSの「電源」スイッチを切り、「AC入力」プラグを抜いて、「状態表示」が完全に消えたのを確認してから、再度「AC入力」プラグを挿入してください。(なおBU200RWBU300RWの場合は、「AC入力」プラグを抜き挿しする操作の代わりに、背面の入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFF→ONすることで、代用いただけます。)

●上記操作を行わないと設定の変更が有効になりません。

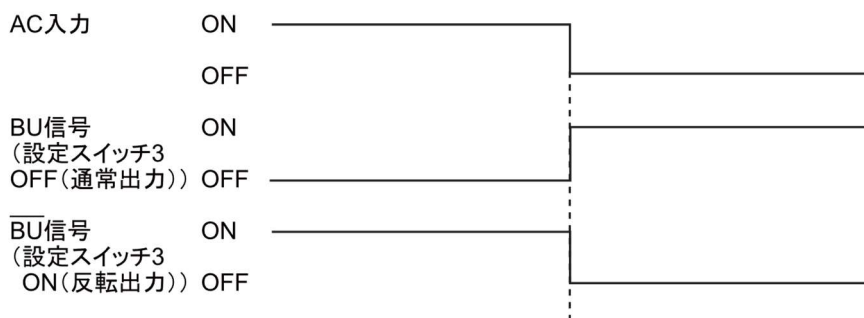
接点信号入出力カードの設定スイッチにより、下記の設定が行えます。

●BU 信号、BL 信号反転出力設定

BU、BL 信号を反転出力します。



設定スイッチ 3	バックアップ信号出力 (BU)
OFF	通常出力 (工場出荷設定)
ON	反転出力



7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

7-4 接点信号入出力の詳細

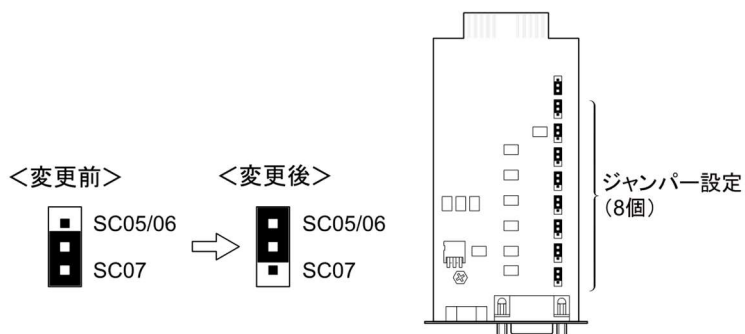
■ジャンパー設定

ジャンパー設定をすることにより接点信号入出力カード「SC05/SC06」のネクタピン配置に変更することができます。

接点信号入出力カードの JP2～JP9 のジャンパー設定 (8 個) を「SC05/06」側へ変更してください。

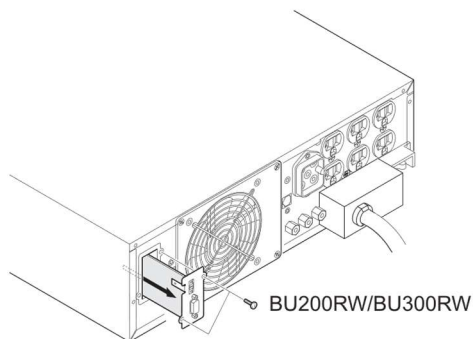
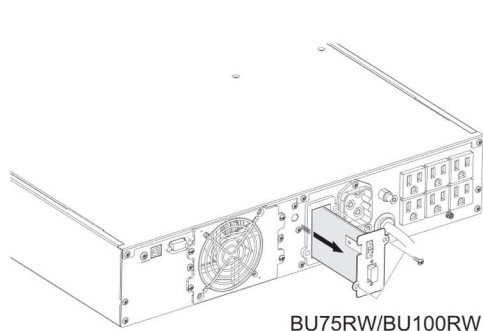
※ JP10 は「SC05/06/07」側のままご使用ください。

※ 出荷時設定: JP2～JP9 SC07 側, JP10 SC05/06/07 側

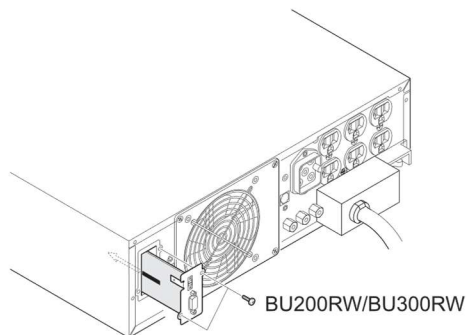
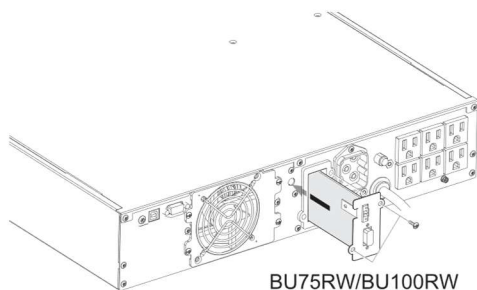


■接点信号入出力カードの挿抜方法

(1) 「電源」スイッチを切り、AC 入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」を OFF にしてから本機背面「接点信号入出力カード」上下のねじ 2 本を外し、ゆっくり引き抜いてください。



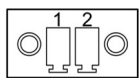
(2) 設定を変更し終わったら、接点信号入出力カードを元の向きにゆっくり差し込み、ねじ 2 本でしっかり固定してください。

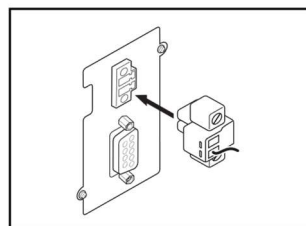


7-4-4 信号入出力コネクタ(DSUB9P メス)

ピン配置	ピン番号	ジャンパー設定「SC07」時 ※工場出荷設定	ジャンパー設定「SC05/06」時
 <p>フロントビュー ねじサイズ：インチねじ #4-40 UNC</p>	1	バッテリー LOW 信号出力 (BL)	NC
	2	トラブル信号出力 (TR)	バックアップ信号出力 (BU)
	3	バックアップ停止信号入力 (BS)	バックアップ反転信号出力 (BU)
	4	NC	COMMON (COM)
	5	COMMON (COM)	バッテリー LOW 信号出力 (BL)
	6	リモート ON/OFF 入力 (-)	バックアップ停止信号入力 (BS)
	7	リモート ON/OFF 入力 (+)	リモート ON/OFF 入力 (-)
	8	バックアップ信号出力 (BU)	トラブル信号出力 (TR)
	9	バッテリー交換信号出力 (WB)	リモート ON/OFF 入力 (+)

7-4-5 リモート ON/OFF 専用コネクタ

ピン配置	ピン番号	信号名
 <p>フロントビュー ねじサイズ：インチねじ #4-40 UNC</p>	1	リモート ON/OFF (+)
	2	リモート ON/OFF (-)



7-4-6 信号入出力定格

●信号出力 (BL、TR、BU、WB、BU)

フォトカプラ定格

印加可能電圧：DC35V 以下

最大電流：20mA

●リモート ON/OFF

端子間電圧：DC10V

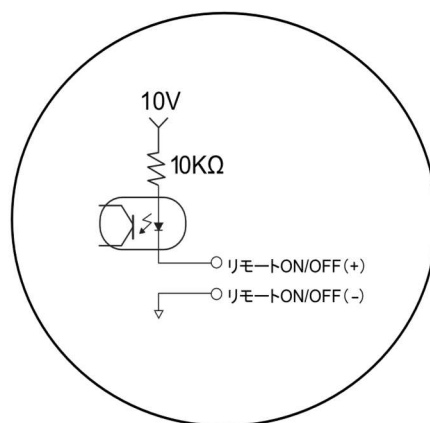
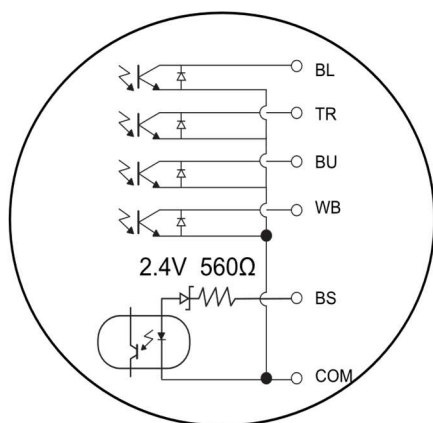
クローズ時電流：max.10mA

●バックアップ停止信号入力 (BS)

入力電圧 High (ON) DC5~12V

Low (OFF) DC0.7V 以下

7-4-7 本機内部の信号入出力回路

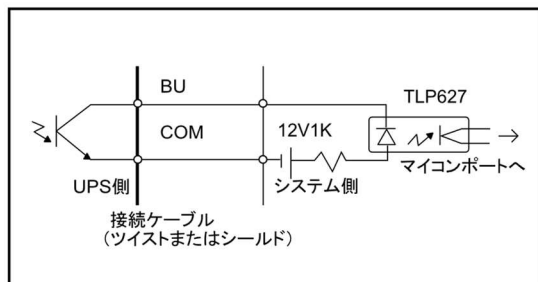


7 自動シャットダウンソフト、接点信号入出力を使用する

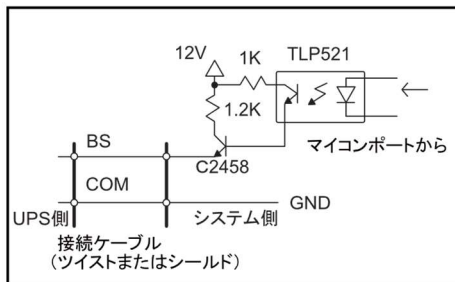
7-4 接点信号入出力の詳細

7-4-8 信号入出力回路使用例

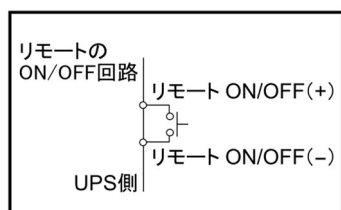
●BU 信号出力回路と接続回路例



●BS 信号入力回路の接続回路例



●リモート ON/OFF の例



7-4-9 信号入出力使用時のご注意、お願い

お願い

- 信号出力回路にリレーなど逆起電力の発生する機器を接続する場合は、逆起電力を防止するダイオードをリレーの両端に付けてください。
- プラスコモン接続で使用することはできません。本製品および接続機器が故障するおそれがあります。ご使用される場合、お客様にて交換ケーブルを作成してください。

解説

- 停電中に本機が自動停止した後に停電が回復した場合、本機は自動的に再起動し、電力を供給します。接続機器を動作させたくない時は、接続機器のスイッチを切るか、停電からの復帰時の自動起動設定(設定スイッチ②)をON設定(自動起動しない)にしてください。
→「4-4-1 設定スイッチの変更」参照

8 SNMP/Web カードを使用する

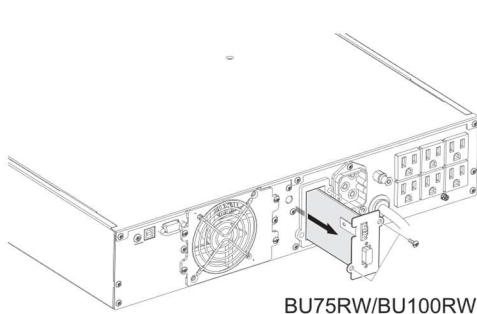
8-1 SNMP/Web カードの増設

本機の背面にあるカードスロットにSNMP/Webカードを増設できます。

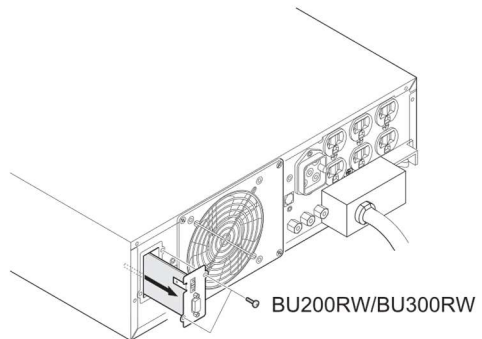
標準搭載されている接点信号入出力カードを取り外し、代わりにSNMP/Webカードを差し込んでください。取り外した接点信号入出力カードは大切に保管してください。

・SNMP/Webカード(型式名:SC20G2/SC21)別売品

- (1) 「電源」スイッチを切り、背面のAC入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をOFFにします。ねじを2本外し、接点信号入出力カードをゆっくり引き抜いてください。

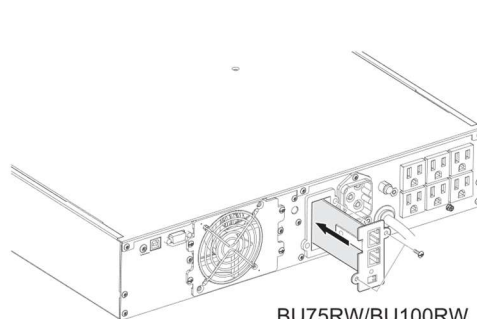


BU75RW/BU100RW

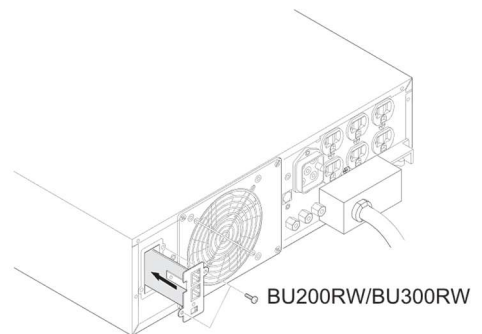


BU200RW/BU300RW

- (2) SNMP/Webカードをゆっくり差し込み、ねじ2本でしっかり固定してください。
※BU50SW/BU75SW/BU100SW/BU150SW/BU1002SW/BU3002SW用ブラケットに交換して 取り付けてください。



BU75RW/BU100RW



BU200RW/BU300RW

8 SNMP/Web カードを使用する

8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Web カード(SC20G2)の概要

8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Webカード(SC20G2)の概要

○UPS とネットワークの直接接続

LAN 接続が可能となり、シリアルポートを搭載しないコンピュータからでも UPS を管理できます。

○リモートでの UPS 管理

市販の SNMP マネジャや Web ブラウザを使って、ネットワークに接続されているコンピュータから UPS を管理することができます。

○ネットワーク上のコンピュータから UPS およびネットワークカードや SNMP/Web カードの機能設定が可能

UPS およびネットワークカードや SNMP/Web カードのパラメータ設定は、SNMP 管理ステーションのいずれか、あるいはインターネットブラウザやコンソール(TELNET など)経由で行うことができます。(SNMP エージェントとしての機能は Telnet およびシリアル接続で設定可能)

○セキュリティ機能を強化

HTTPS、SMTPS によるメール通信、アクセス制御をかけることができます。

○ログ機能

UPS の電源状態、バッテリー状態などをカード内のフラッシュメモリに保存できます。

○自動シャットダウン機能

電源異常時や事前に設定した時間のシャットダウンが自動的に実行されます。ネットワーク経由で、スケジュール運転(自動起動、自動停止)が可能です。

○UPS の標準 MIB(RFC1628)および独自 MIB(swc mib)を装備

○JAVA アプレットを使用し電源の状態をモニタ

○UPS エラー通知機能

詳細についてはネットワークカード、SNMP/Web カードに付属の取扱説明書をご参照ください。

当社ホームページ(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/support/download/ups.html)からダウンロードすることが可能です。

8 SNMP/Web カードを使用する

8-2 ネットワークカード(SC21)、SNMP/Web カード(SC20G2)の概要

●仕様

LAN ポート	10/100M ビット
ネットワークプロトコル	SNMP、HTTP、APR、RARP、TFTP、ICMP
その他の通信経路	シリアル接続 非同期方式(設定のみ)
制御可能なコンピュータ数	最大 32 台(連携シャットダウン有効時はスレーブ UPS も含む)
サポート MIB	UPSMIB(RFC1628) OMRON MIB
その他	リアルタイムクロック搭載
シャットダウンソフトウェア の対応 OS	WindowsNT4.0,Windows2000,WindowsXP,Windows Server2003 RedhatLinux7.2/7.3/8.0 Red Hat Enterprise Linux AS/ES/WS(Redhat Linux Advanced Server2.1) Mac OS X v10.3 / Server 10.3(注 1) Mac OS X v10.4 / Server 10.4 (注 1) PowerPC CPU 搭載の Macintosh コンピュータのみ対応していま す。 Solaris10

詳細については SNMP/Web カードに付属の取扱説明書をご参照ください。

最新ファームは当社ホームページ(https://socialsolution.omron.com/jp/ja/products_service/ups/)
からダウンロードすることが可能です。

9 バックアップ時間を延長する

9-1 増設用バッテリーユニットの接続

9 バックアップ時間を延長する

9-1 増設用バッテリーユニットの接続

本機に別売の増設用バッテリーユニットを接続することによりバックアップ時間を延長することができます。

増設できるバッテリーユニットは1台のみです。

UPS	増設用バッテリーユニット
BU75RW	BUM100R
BU100RW	
BU200RW	BUM300R
BU300RW	

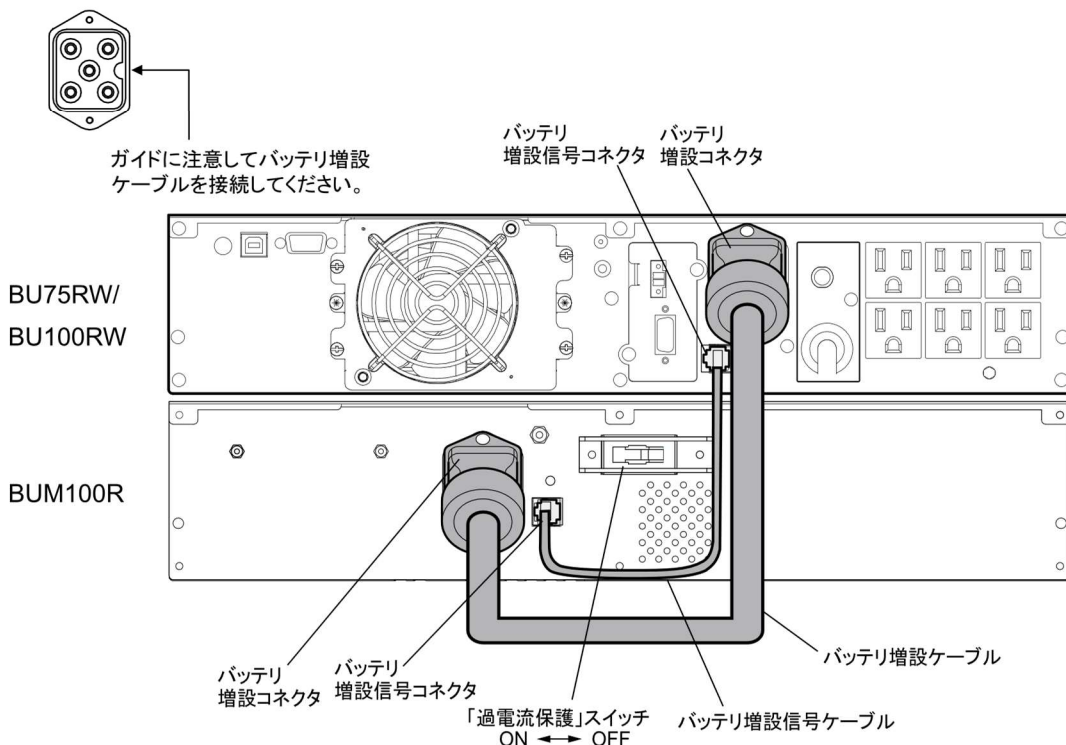
増設用バッテリーユニット接続時の充電時間は24時間です。

参照 ▶ バックアップ時間については「5-2 バックアップ時間の目安」のバックアップ時間表をご参照ください。

●BU75RW/BU100RW に BUM100R を増設する

- (1) 本機とバッテリーユニット背面のコネクタにバッテリー増設ケーブルのコネクタを接続します。
バッテリー増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。
- (2) BUM100R(増設バッテリーユニット)背面の「過電流保護」スイッチをON側に倒します。
本機の「AC入力」プラグを商用電源コンセントに接続後、本機操作部の「バッテリー増設」ランプが点灯します。

※BUM100R を取り外す際には、まずバッテリー増設信号ケーブルを外してから、バッテリー増設ケーブルを外してください。



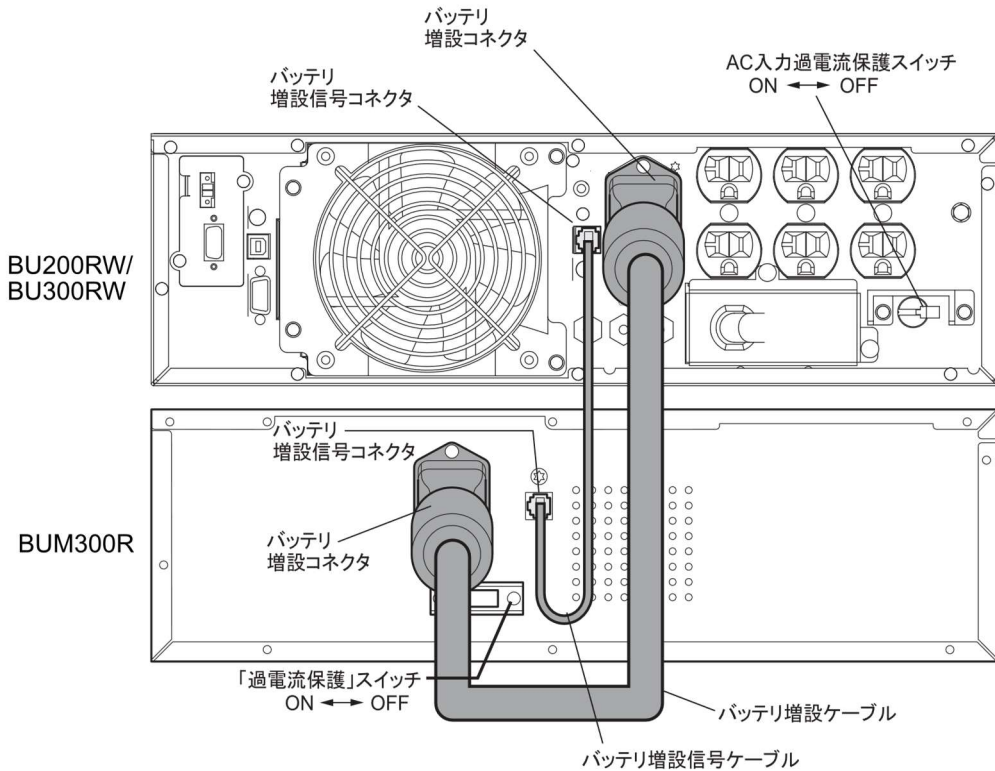
9 バックアップ時間を延長する

9-1 増設用バッテリーユニットの接続

●BU200RW/BU300RW に BUM300R を増設する

- (1) 本機とバッテリーユニット背面のコネクタにケーブルのコネクタを接続します。
バッテリー増設信号コネクタにもケーブルを接続してください。
- (2) バッテリーユニット背面の「過電流保護」スイッチをON側に倒します。
本機の「AC入力」プラグを電源コンセントに接続後、AC入力過電流保護スイッチ「INPUT PROTECTION」をONにすると、本機操作部の「バッテリー増設」ランプが点灯します。

※BUM300Rを取り外す際は、まずバッテリー増設信号ケーブルを外してから、バッテリー増設ケーブルを外してください。







10 おかしいな?と思ったら

本機の動作がおかしい時、以下の確認を行ってください。

それでも解決しない時は、オムロン電子機器カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象	確認・対策
<p>動作しない。 BU75RW/BU100RWのAC入力プラグを商用電源に接続し、「電源」スイッチを入れてもLED表示されない。 BU200RW/BU300RWを商用電源に接続後、背面の入力過電流保護スイッチをONにし、「電源」スイッチを入れてもLED表示されない。</p>	<p>①・BU75RW/BU100RW は「AC 入力」が商用電源に確実に接続されているか確認してください。 ・BU200RW/BU300RW は「AC 入力」が商用電源に確実に接続され、背面の過電流保護スイッチ「INPUT PROTECION」を ON 側にしているか確認してください。</p> <p>②「AC 入力過電流保護」が動作して切れている。 ・BU75RW/BU100RW:黒いボタン(INPUT PROTECTION)が飛び出しているときは接続機器が多すぎる、または接続機器側の短絡事故が考えられます。接続機器をすべて外し、過電流保護スイッチ「INPUT PROTECION」の黒いボタンを押し込んで、再度本機の「電源」スイッチを入れてください。 ・BU200RW/BU300RW:AC 過電流入力保護スイッチが OFF 状態に切れているときは、接続機器が多すぎる、または接続機器側の短絡事故が考えられます。背面の AC 入力過電流保護スイッチを ON にして、再度、本機の「電源」スイッチを入れてください。</p> <p>上記を行って正常な「状態表示」がされないときは故障です。 (「3-3 ブザー音・表示の見方」をご参照ください。)</p>
<p>バックアップできない。 停電すると接続機器も停止してしまう。</p>	<p>充電不足ではありませんか? 8時間(増設用バッテリーユニット接続時は24時間)以上充電してからテストしてください。 (BU75RW/BU100RW:「AC入力」プラグを電源コンセントに接続すれば充電できます。 BU200RW/BU300RW:「AC入力」を商用電源に接続し、AC過電流保護スイッチがONであれば充電できます。)</p>
<p>頻繁にバックアップする。 停電でもないのに、頻繁に切替をおこなっている。 カチャカチャ音がする。</p>	<p>入力電源の変動(低下)がひんぱんに発生しています。または、入力電源の電圧波形が極度に歪むような、ノイズが含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機を接続する商用電源コンセントを大電力を消費する機器から離れた商用電源コンセントに変えてみます。 ● 本機を接続するテーブルタップや延長コードなど、長いあるいは細いケーブルにたくさん機器が接続されていても発生することがあります。
<p>電源スイッチを押しても電源が入らない。</p>	<p>入力電源の電圧・周波数異常時は、本機を起動させることができません。 (状態表示が“H-”“-H”“-L-”“-L”“HH”“LL”と表示)入力電源の電圧値、周波数を確認してください。</p> <p>参照 A.仕様-入力-許容電圧範囲、周波数</p>
<p>ディスプレイ画面がおかしい。 ●画面がゆらぐ ●白線がはいる ●ノイズ音が大きくなる</p>	<p>本機の内部で発生するノイズが原因となっている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機と接続されているすべての機器のアースをとってください。3極の商用電源コンセントに接続するか、アース端子のあるコンセントにアース端子を接続します。 ● 電源コードが長い、近接している、本機とバックアップする機器が近接している、などが原因になることがあります。配置を入れ替えてみてください。 ● 本機や本機に接続されている機器が金属性のラックに収められているときは、ラック自体のアースをとってみてください。
<p>バッテリー交換ランプが点滅しブザーが継続2秒間隔で鳴動している。</p>	<p>バッテリー自動テストあるいは自己診断テストでバッテリーが劣化していると判定されました。 短時間のバックアップ運転しかできませんのでバッテリーを交換してください。 特に自己診断テストで劣化検出された場合は、老化がかなり進んでいますので至急交換が必要です。</p>

現象	確認・対策
状態表示が“  ”状態でブザーが継続 0.5 秒間隔で鳴動している。	接続機器が多すぎます。状態表示が“  ”になるまで、接続機器を減らしてご使用ください。
状態表示が“  ”状態で点滅し、ブザーが連続して鳴動している。	接続容量オーバーにより出力停止しました。本機と接続機器の電源をすべて切り、接続機器を減らした後、再度本機と接続器の電源を入れて、状態表示が“  ”と表示されるかどうか確認してください。

参考資料

A. 仕様

型式	BU75RW		BU100RW		BU200RW		BU300RW	
方式	運転方式	常時インバータ給電方式						
	冷却方式	強制空冷						
入力	接続可能機器	パソコン、ディスプレイ、および周辺機器						
	定格入力電圧	100V~120V						
	起動電圧範囲	AC70±4V~146±4V						
	入力電圧範囲	AC75±4~143±4V(90%未満の接続負荷時) AC85±4~143±4V(90%以上の接続負荷時)						
	周波数	50/60Hz±4Hz						
	最大電流	10A	12A	24A	35A			
	相数	単相2線						
	入力プラグ形状	NEMA 5-15P	NEMA 5-15P	NEMA 5-15P /端子台 ※1	NEMA L5-30P /端子台 ※2			
	入力保護	リセットタイプ過電流保護器						
	入力保護容量	15A			45A			
出力	出力容量※3	750VA/600W	1000VA/800W	2000VA/1600W ※4	3000VA/2400W (配電盤接続時)※5			
	出力電圧 (商用運転時、バックアップ時 ともに)			100V mode 110V mode 115V mode 120V mode	AC100V±3% AC110V±3% AC115V±3% AC120V±3%			
	出力周波数	入力周波数に同期(商用運転時) 50/60Hz±1%(バックアップ時)						
	相数	単相2線						
	出力波形 (商用時/バックアップ時)	正弦波/正弦波						
	波形歪率 (整流負荷、定格出力時)			商用運転時 バッテリー運転時	6%以下 100V mode : 6%以下 110V mode : 6%以下 115V mode : 8%以下 120V mode : 10%以下			
	出力コンセント数	NEMA5-15R×6 個			NEMA5-20R×6 個(15A 兼用)			
	停電切替時間	無瞬断						
	商用バイパス(切替時間)	4msec 以内						
	バックアップ時間※6	10分以上	7分以上	7分以上	7分以上		4分以上	
電池	種類	小型制御弁式(シール)鉛蓄電池						
	期待寿命	4~5年(長寿命) ※周囲温度20°Cの場合						
	バッテリー容量(V/Ah)/個数	DC12V/8Ah/3 個			DC12V/8Ah/6 個			
	充電時間	8時間 ※7						
環境	使用環境温度	0~40°C/25~85%RH ※結露なきこと						
	保管環境温度	-15~50°C(バッテリー満充電にて)/10~90%RH ※結露なきこと						
外形寸法※8(W×D×Hmm)	438×474×87			438×550×130				
本体質量	約20kg			約33kg				
内部消費電力	無負荷時 (通常時/最大時)	50W / 100W	50W / 100W	65W / 170W	65W / 170W			
	定格負荷時 (通常時/最大時)	110W / 170W	120W / 180W	280W / 390W	410W / 540W			
ノイズ規制(準拠基準)	VCCI クラス A							
安全規格適合	UL1778							
騒音	50dB 以下			56dB 以下				

※1 標準装備の入力プラグ(NEMA 5-15P)では最大出力までご使用できません。配電盤接続または 30A プラグにて使用可能です。

※2 標準装備の入力プラグ(NEMA L5-30P)では最大出力までご使用できません。配電盤接続にて使用可能です。

※3 本機に接続する負荷容量は、VA 値および W 値の両方が本規定を超えない範囲でご使用ください。

※4 30A プラグまたは配電盤接続時。

※5 配電盤接続時

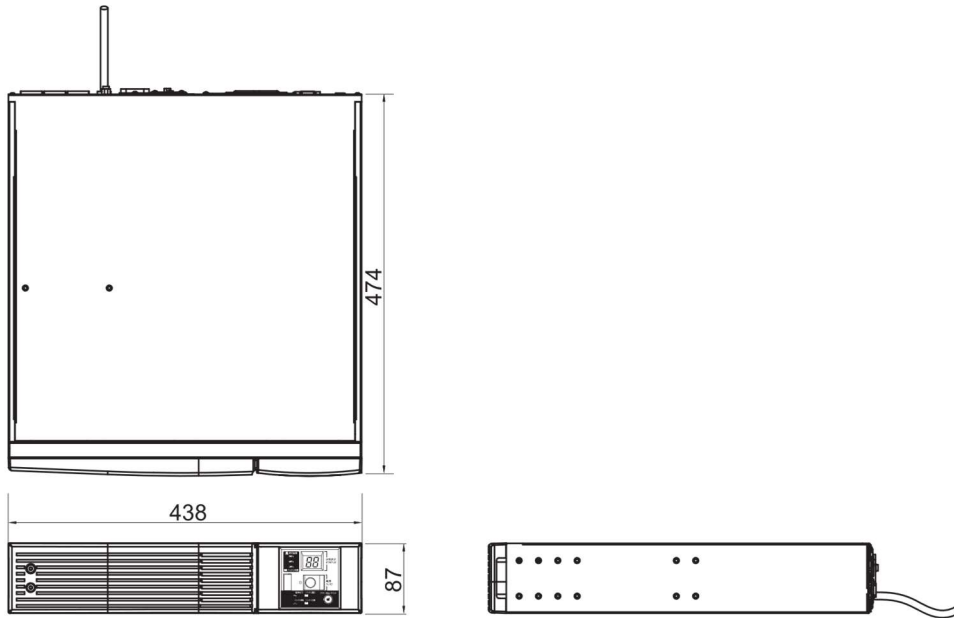
※6 定格負荷接続時、20°C、初期特性

※7 増設バッテリーユニット(別売オプション)接続時は24時間です。

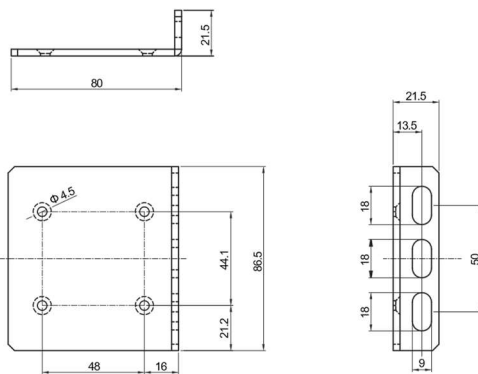
※8 突起部含まず

B. 外形寸法図

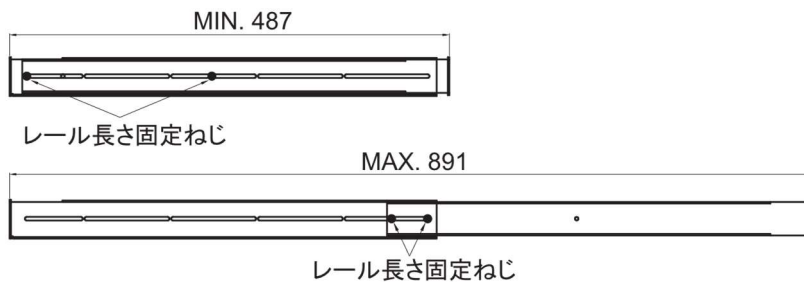
●BU75RW/BU100RV <単位:mm /公差:± 1mm>



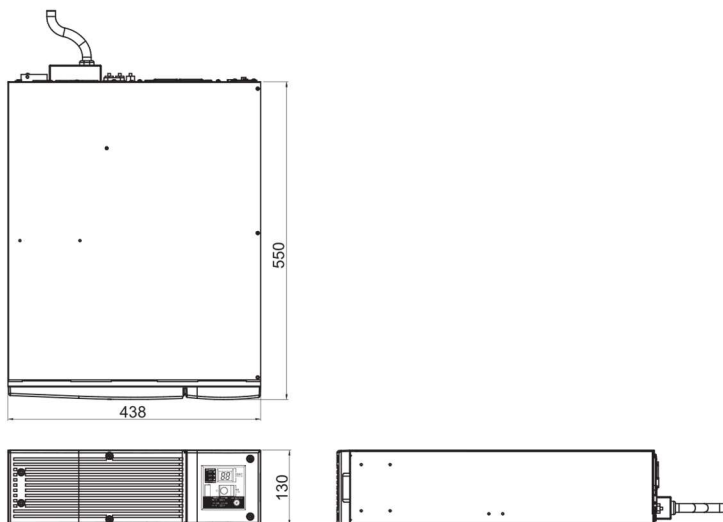
●耳金具



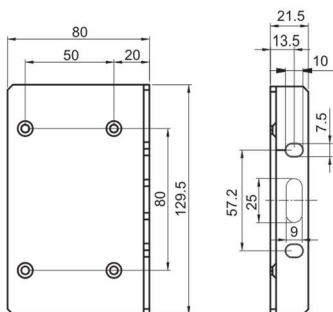
●サポートアングル



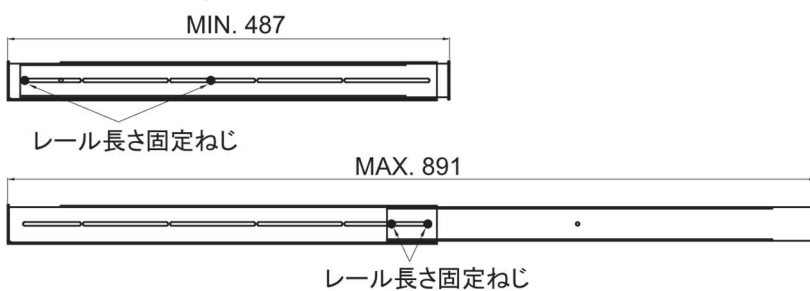
●BU200RW/BU300RW <単位:mm /公差:± 1mm>

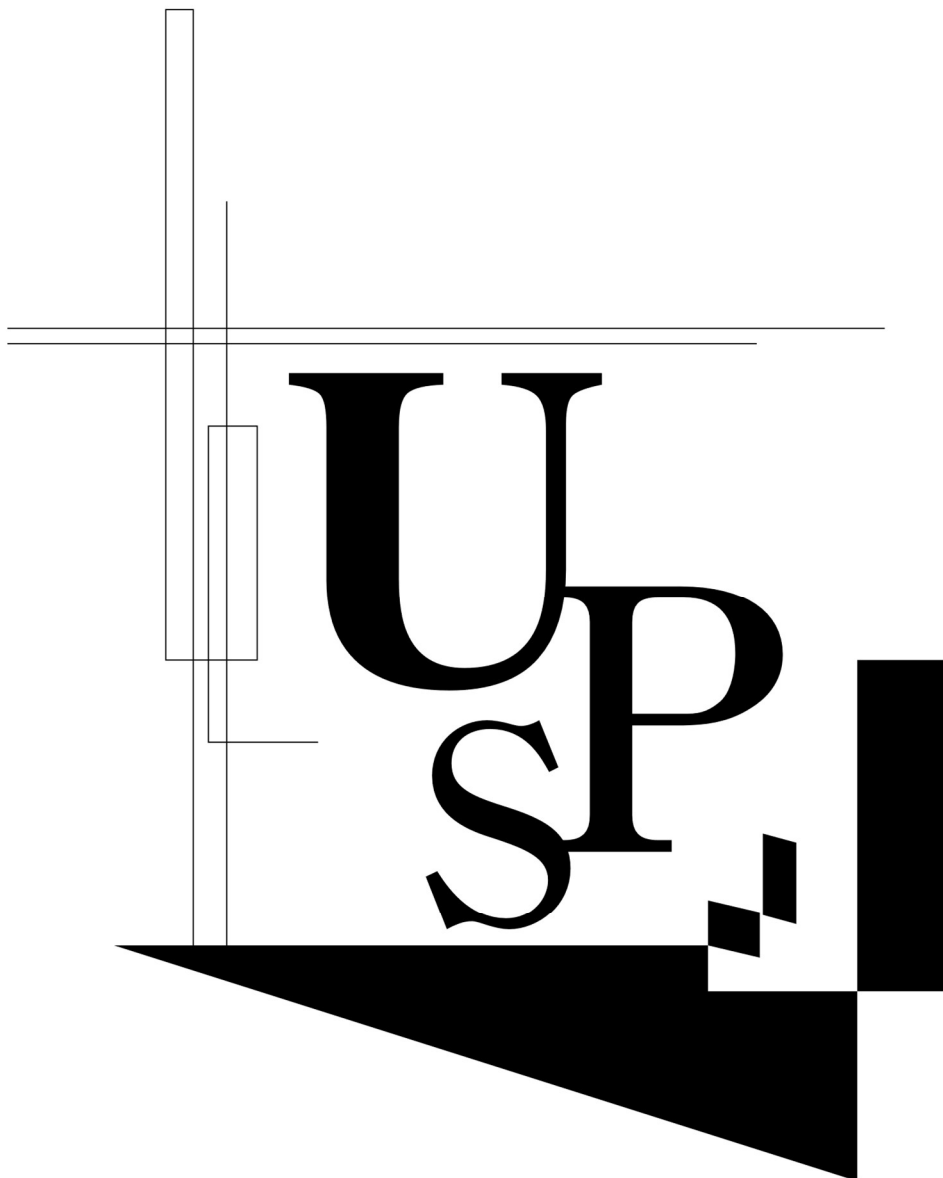


●耳金具



●サポートアングル





本取扱説明書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されております。
本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

オムロンソーシアルソリューションズ株式会社